センスプレーヤー/

センスプレーヤーライト

共通取扱説明書

開発元：

SELVAS Healthcare,Inc

日本語版開発・発売元：

有限会社エクストラ

* この取扱説明書と製品には印刷上の誤りあるいは技術的な誤りがある可能性があります。また、性能の改善などのために予告なしで変更される可能性があります。
* この取扱説明書と製品は著作権法によって保護されています。
* 記載の製品名、ソフトウェア名は、一般にその会社の登録商標または、商標です。

センスプレーヤーおよびセンスプレーヤーライトをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

センスプレーヤーは、DAISY図書の再生、DAISYオンラインを使ったDAISY図書の検索とダウンロード、OCR機能を使用した活字文書の読み上げ、スマートフォンやタブレットのBluetoothキーボードとして使用するスマートコネクト機能、音楽データの再生、録音、ポッドキャスト、FMラジオ、カラーリーダーなど多彩な機能を備えた携帯型OCRマルチプレーヤーです。

※センスプレーヤーライトはセンスプレーヤーからカメラ機能を除いた機種となります。センスプレーヤーのカメラを用いた機能は使用できません。

本機を使用する前に本書を読み、機能を理解することをお勧めします。本機には様々な機能が含まれており、取扱説明書を全て読むことで、機能を最大限に活用することができます。

取扱説明書を読んでも問題の解決策が見つからない場合やサポートが必要な場合は、センスプレーヤーまたはセンスプレーヤーライトを購入された販売店または有限会社エクストラにご連絡ください。問い合わせ先は18章に記載します。

**安全上のご注意**

センスプレーヤーおよびセンスプレーヤーライトを安全にお使いいただくために、以下の安全に関する注意事項をお読みください。

1. 製品付属ACアダプタの入力電圧は100V240V、出力はDC5V/2Aです。
2. バッテリーの取り扱いに関する安全上の注意事項

・極端な高温や低温にさらされる可能性のある場所で使用、保管、輸送は避けてください。

・高高度で気圧の低い場所での使用、保管、輸送は避けてください。

・安全装置を破壊する可能性のある不適切な種類のバッテリーと交換しないでください。

・バッテリーを火中や高温の炉の中に捨てたり、機械的に破砕・切断したりすると、爆発する可能性があり危険です。爆発や可燃性液体・気体の漏えいを引き起こす可能性のある極端に高温な周辺環境にバッテリーを放置することは危険です。

・極端に気圧が低いと、バッテリーは爆発や可燃性の液体・気体の漏えいを起こす可能性があります。

注意：付属品以外の不適切なバッテリーを使用した場合火災や爆発の危険性があります。

1. センスプレーヤーを出荷する際、破損を防ぐためにバッテリーを本体とは別に梱包している場合があります。初めてお使いになるときは、パッケージを開けてバッテリーを取り出し、本体背面のバッテリースロットに挿入してください。(バッテリーの入れ方については、「2.1バッテリーの取り付けと取り外し」をご覧ください）また、お買い上げいただいた販売店様でバッテリーを取り付けている場合もあります。出荷時に、十分に充電されていない可能性がありますのでセンスプレーヤーを使用する前に、バッテリーが完全に充電されていることを確認してください。
2. 初めてバッテリーでセンスプレーヤーを使用する場合、バッテリーの状態が正確に表示されないことがあります。改善するためには、センスプレーヤーをACアダプタに接続したまま、本体の電源を入れた状態で3時間程度放置してください。すぐに使用したい場合は、充電しながら使用することも可能です。
3. バッテリーの取り外しは、本体の電源を切ってから行ってください。
4. バッテリーの種類を間違えると、発熱、発火、爆発する危険があります。バッテリーは必ず開発元がセンスプレーヤー専用に製造したものをご使用ください。使用済みのバッテリーは、お住まいの自治体の廃棄方法に従って処分してください。
5. センスプレーヤーをバッテリーで使用している場合、バッテリーの充電量が少なくなるとバッテリー残量の状態をお知らせします。バッテリーの残量が10％以下になったら、本体にACアダプタを接続して充電してください。バッテリーの残量が3パーセントになり、ACアダプタを接続していない場合バッテリー状態をお知らせしてから1分後に電源が自動的にオフになります。1回のフル充電で連続使用できる時間は、設定したオプションや実行中のタスクの数や種類によって変わります。
6. センスプレーヤーは精密機器です。適切かつ慎重にお取り扱いください。センスプレーヤーは埃にとても敏感です。埃の多い環境から遠ざけてください。
7. センスプレーヤーは、浴室など湿気の多い環境では使用しないでください。水分がデバイスに入り込むことで故障の原因となります。また、濡れた手でACアダプタに触れないでください。
8. センスプレーヤーを夏の暑い日の車内など、閉め切った高温になる場所に長時間放置しないでください。
9. 聴力に悪影響を及ぼす可能性を防ぐため、大音量で長時間の使用はお控えください。
10. USBを長時間接続すると、バッテリーの連続使用時間が短くなることがあります。使用しない時はUSBを取り外してください。
11. ご自身でセンスプレーヤーを分解しないでください。また、SELVAS Healthcare社の許可を受けていない業者に本機を分解させないでください。資格のない人が分解することでセンスプレーヤーに重大な損傷を与える可能性があります。許可されていない人が分解した場合、無償メンテナンスの対象外となり、保証は無効となります。また、保証期間内であっても、水濡れや外的要因で破損した場合は、無償修理の対象から除外されることがあります。
12. 本機器は、FCC規則のパート15に従って、クラスBデジタルデバイスの制限に準拠することが試験により確認されています。これらの制限は、住宅での設置において、有害な干渉から合理的に保護するように設計されています。本機器は、無線周波数エネルギーを発生させ、放射する可能性があり、説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、これは説明に従うことで干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、それは装置の電源を切ったり入れたりすることで判断できますが、ユーザは以下の手段の1つ以上によって干渉を修正するよう試みることが推奨されます：

・受信アンテナの向きを変えたり、移動したりする。

・機器と受信機の間隔を広げる。

・受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに機器を接続する

・販売店またはラジオやテレビ技術者に相談する

**改造に関する注意事項**

注意：製造元が明示的に承認していない変更や改造を行うと、機器を操作するユーザの権限が無効になることがあります。

モバイル機器へのRF曝露に関する声明

RF曝露-このデバイスは、モバイルアプリケーションでの使用のみが許可されています。送信アンテナ装置とユーザの身体との間には、常に20cm以上の離隔距離を保つ必要があります。

モデル名：T90ET/T90EZ

製造工場：Shenzhen Moss Technology Co., Ltd. / China

S/N：

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。

操作は、次の 2 つの条件に従います。

1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさない可能性があります。

2) このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

目次

[1. はじめに 1](#_Toc193898451)

[1.1. 主な機能 1](#_Toc193898452)

[1.2. 内容物 3](#_Toc193898453)

[1.3. ハードウェア仕様 3](#_Toc193898454)

[1.4. センスプレーヤーの外観 5](#_Toc193898455)

[1.4.1. トップパネル 7](#_Toc193898456)

[1.4.2. 左側面 8](#_Toc193898457)

[1.4.3. 右側面 9](#_Toc193898458)

[1.4.4. 上側面 10](#_Toc193898459)

[1.4.5. 下側面 10](#_Toc193898460)

[1.4.6. 背面 11](#_Toc193898461)

[2. ご使用前の準備 12](#_Toc193898462)

[2.1. バッテリーの取り付けと取り外し 12](#_Toc193898463)

[2.2. 充電 12](#_Toc193898464)

[2.3. 電源のオンとオフ 14](#_Toc193898465)

[2.4. microSDカードの取り付けと取り外し 15](#_Toc193898466)

[2.5. コンピュータとの接続 15](#_Toc193898467)

[2.5.1. Windows PCと接続 15](#_Toc193898468)

[2.5.2. Macに接続する 16](#_Toc193898469)

[2.6. フォルダ 17](#_Toc193898470)

[3. 基本操作 20](#_Toc193898471)

[3.1. ホームメニューの構造 20](#_Toc193898472)

[3.2. 音量その他の設定 21](#_Toc193898473)

[3.3. 日付と時刻、バッテリー状態、ソフトウェア情報の確認 22](#_Toc193898474)

[3.4. ダブルアクションキー 23](#_Toc193898475)

[3.5. キーロック 24](#_Toc193898476)

[3.5.1. 数字キーロック 25](#_Toc193898477)

[3.5.2. ファンクションキーロック 25](#_Toc193898478)

[3.6. クイック起動コマンド 25](#_Toc193898479)

[3.7. メニュー・ダイアログボックス・エディットボックスについて 26](#_Toc193898480)

[3.7.1. メニュー 26](#_Toc193898481)

[3.7.2. ダイアログボックスの使い方 27](#_Toc193898482)

[3.7.3. エディットボックスの文字入力 28](#_Toc193898483)

[4. ファイル管理 39](#_Toc193898484)

[4.1. ファイル管理の実行と終了 39](#_Toc193898485)

[4.2. コンテンツの検索・選択・実行 40](#_Toc193898486)

[4.2.1. ファイル管理のコマンド 40](#_Toc193898487)

[4.2.2. よく使うナビゲーション操作 42](#_Toc193898488)

[4.2.3. ファイルやフォルダ情報 43](#_Toc193898489)

[4.2.4. 複数項目選択 44](#_Toc193898490)

[4.2.5. コンテンツ実行 45](#_Toc193898491)

[4.3. ファイルとフォルダの管理 46](#_Toc193898492)

[4.3.1. コピーと切り取り 46](#_Toc193898493)

[4.3.2. 削除 47](#_Toc193898494)

[4.3.3. ファイル・フォルダの名称変更 48](#_Toc193898495)

[4.3.4. フォルダ作成 49](#_Toc193898496)

[4.3.5. ファイルの圧縮 49](#_Toc193898497)

[4.3.6. 圧縮ファイルの展開 50](#_Toc193898498)

[5. DAISYプレーヤー 51](#_Toc193898499)

[5.1. コンテンツの選択と再生 51](#_Toc193898500)

[5.2. DAISYプレーヤーの終了 52](#_Toc193898501)

[5.3. ナビゲーション 52](#_Toc193898502)

[5.4. 指定移動 53](#_Toc193898503)

[5.4.1. 時間移動 53](#_Toc193898504)

[5.4.2. パーセント移動 54](#_Toc193898505)

[5.4.3. 見出し指定移動 54](#_Toc193898506)

[5.4.4. 指定ページ移動 55](#_Toc193898507)

[5.4.5. 追加移動機能 55](#_Toc193898508)

[5.5. 検索 56](#_Toc193898509)

[5.6. 閲覧中の図書の情報確認 57](#_Toc193898510)

[5.7. マーク 57](#_Toc193898511)

[5.7.1. マーク設定 58](#_Toc193898512)

[5.7.2. マークへ移動 58](#_Toc193898513)

[5.7.3. マーク削除 59](#_Toc193898514)

[5.8. 音量と速度の設定 59](#_Toc193898515)

[5.9. DAISYモードの切り替え 60](#_Toc193898516)

[5.10. エクスプローラー 60](#_Toc193898517)

[5.10.1. エクスプローラーの実行と終了 60](#_Toc193898518)

[5.10.2. エクスプローラーでの操作 61](#_Toc193898519)

[5.11. DAISY設定 61](#_Toc193898520)

[6. DAISYオンライン 64](#_Toc193898521)

[6.1. ログイン 64](#_Toc193898522)

[6.2. DAISYオンラインの検索メニュー 65](#_Toc193898523)

[6.2.1. 前回の検索結果一覧 65](#_Toc193898524)

[6.2.2. 図書検索 65](#_Toc193898525)

[6.2.3. 雑誌検索 66](#_Toc193898526)

[6.2.4. 雑誌の定期配信 66](#_Toc193898527)

[6.2.5. タイトル削除依頼 66](#_Toc193898528)

[6.3. 図書検索結果リストの操作 66](#_Toc193898529)

[6.4. ネット閲覧室 68](#_Toc193898530)

[6.4.1. ネット閲覧室を開く 69](#_Toc193898531)

[6.4.2. 新着リスト 69](#_Toc193898532)

[6.4.3. 閲覧リスト 69](#_Toc193898533)

[6.5. オプション 69](#_Toc193898534)

[6.5.1. 既定のダウンロード 70](#_Toc193898535)

[6.5.2. お知らせを表示する 70](#_Toc193898536)

[7. OCR 71](#_Toc193898537)

[7.1. OCRの開始と終了 71](#_Toc193898538)

[7.2. 写真を撮影する 72](#_Toc193898539)

[7.3. 撮影時のガイドオプション 73](#_Toc193898540)

[7.4. 連続スキャン 74](#_Toc193898541)

[7.5. OCR の認識結果 75](#_Toc193898542)

[7.6. 画像ファイルの取り込み 76](#_Toc193898543)

[7.7. その他のOCRメニューの設定 77](#_Toc193898544)

[7.7.1. フラッシュのオンとオフを切り替える 77](#_Toc193898545)

[7.7.2. 保存するファイル名の形式 77](#_Toc193898546)

[7.7.3. 画像ファイルの取り扱いを選択する 78](#_Toc193898547)

[7.7.4. ファイルを削除する 78](#_Toc193898548)

[7.8. OCRスタンドの組み立て 80](#_Toc193898549)

[8. メディアプレーヤー 81](#_Toc193898550)

[8.1. 対応するメディアファイル 81](#_Toc193898551)

[8.2. オーディオファイルの再生 81](#_Toc193898552)

[8.3. 再生中のファイル情報 82](#_Toc193898553)

[8.4. トラック・その他移動単位ごとの移動 82](#_Toc193898554)

[8.4.1. トラックやその他の移動単位で移動する 83](#_Toc193898555)

[8.5. 特定の場所へ移動 85](#_Toc193898556)

[8.5.1. 再生時間を指定して移動 85](#_Toc193898557)

[8.5.2. パーセントで移動 86](#_Toc193898558)

[8.5.3. 特定のトラックへの移動 87](#_Toc193898559)

[8.6. メディア再生設定 87](#_Toc193898560)

[8.6.1. 音量、速度、イコライザーの設定 87](#_Toc193898561)

[8.6.2. シャッフル再生のオン/オフとリピート再生 88](#_Toc193898562)

[8.6.3. エフェクト設定 89](#_Toc193898563)

[8.6.4. 環境設定 90](#_Toc193898564)

[8.7. マーク 91](#_Toc193898565)

[8.7.1. マークの挿入 91](#_Toc193898566)

[8.7.2. ハイライトマークの挿入 91](#_Toc193898567)

[8.7.3. マークへ移動する 92](#_Toc193898568)

[8.7.4. マークの削除 93](#_Toc193898569)

[8.8. エクスプローラーの使用 93](#_Toc193898570)

[8.8.1. 一般ナビゲーション 94](#_Toc193898571)

[8.9. プレイリストとオーディオブック 95](#_Toc193898572)

[9. 文書リーダー 98](#_Toc193898573)

[9.1. コンテンツの選択と再生 98](#_Toc193898574)

[9.2. ナビゲーション 99](#_Toc193898575)

[9.3. 指定移動 100](#_Toc193898576)

[9.4. 検索 101](#_Toc193898577)

[9.5. 閲覧中の文書の情報確認 102](#_Toc193898578)

[9.6. マーク 102](#_Toc193898579)

[9.6.1. マーク設定 103](#_Toc193898580)

[9.6.2. マークへ移動 103](#_Toc193898581)

[9.6.3. マーク削除 104](#_Toc193898582)

[9.7. 音量と速度の設定 104](#_Toc193898583)

[9.8. エクスプローラー 105](#_Toc193898584)

[9.8.1. エクスプローラーの実行と終了 105](#_Toc193898585)

[9.8.2. エクスプローラーの操作 105](#_Toc193898586)

[9.9. 文書設定 106](#_Toc193898587)

[10. ラジオ 108](#_Toc193898588)

[10.1. ラジオの再生 108](#_Toc193898589)

[10.2. 周波数の変更 109](#_Toc193898590)

[10.3. 放送局のチャンネル登録 109](#_Toc193898591)

[10.3.1. 放送局の自動スキャン 109](#_Toc193898592)

[10.3.2. 周波数を指定して移動 110](#_Toc193898593)

[10.4. 内蔵スピーカーの使用 110](#_Toc193898594)

[10.5. ラジオ放送の録音 110](#_Toc193898595)

[11. ウェブラジオ 113](#_Toc193898596)

[11.1. ウェブラジオの実行と終了 113](#_Toc193898597)

[11.2. チャンネルの移動 114](#_Toc193898598)

[11.3. ウェブラジオチャンネルの検索 115](#_Toc193898599)

[11.4. らじるらじる 118](#_Toc193898600)

[11.5. チャンネルリストの整理 118](#_Toc193898601)

[11.6. ウェブラジオの録音 119](#_Toc193898602)

[12. ポッドキャスト 120](#_Toc193898603)

[12.1. ポッドキャストの実行と終了 120](#_Toc193898604)

[12.2. ポッドキャストの購読 121](#_Toc193898605)

[12.3. フィードとポッドキャストの移動 123](#_Toc193898606)

[12.4. コンテンツの削除 125](#_Toc193898607)

[13. ユーティリティ 126](#_Toc193898608)

[13.1. 録音再生 127](#_Toc193898609)

[13.1.1. 録音 127](#_Toc193898610)

[13.1.2. 録音したファイルの再生 128](#_Toc193898611)

[13.1.3. 録音設定 128](#_Toc193898612)

[13.1.4. DAISY録音 129](#_Toc193898613)

[13.1.5. 音声通話を録音 130](#_Toc193898614)

[13.2. カラーリーダー 132](#_Toc193898615)

[13.2.1. カラーリーダーの実行 132](#_Toc193898616)

[13.2.2. カラーリーダーの使用 132](#_Toc193898617)

[13.3. メモ 133](#_Toc193898618)

[13.3.1. メモの実行 133](#_Toc193898619)

[13.3.2. メモを追加する 133](#_Toc193898620)

[13.3.3. メモの一覧 134](#_Toc193898621)

[13.3.4. メモを検索 135](#_Toc193898622)

[13.3.5. メモの削除 136](#_Toc193898623)

[13.4. 電卓 136](#_Toc193898624)

[13.4.1. 電卓の実行 136](#_Toc193898625)

[13.4.2. 計算 136](#_Toc193898626)

[13.4.3. 計算結果の確認方法 137](#_Toc193898627)

[13.5. アラーム 137](#_Toc193898628)

[13.5.1. アラームの実行 138](#_Toc193898629)

[13.5.2. アラームの設定 138](#_Toc193898630)

[13.5.3. アラームの削除 140](#_Toc193898631)

[13.6. ストップウォッチ 140](#_Toc193898632)

[13.7. カウントダウン 141](#_Toc193898633)

[13.8. スリープタイマー 142](#_Toc193898634)

[13.9. フォーマット 142](#_Toc193898635)

[13.10. フラッシュディスクのバックアップ/復旧 143](#_Toc193898636)

[13.11. ファームウェアの更新 145](#_Toc193898637)

[13.11.1. オンラインアップグレード 145](#_Toc193898638)

[13.11.2. オフラインアップグレード 146](#_Toc193898639)

[14. 設定 148](#_Toc193898640)

[14.1. オプション設定 148](#_Toc193898641)

[14.2. 音声設定 151](#_Toc193898642)

[14.3. 時計設定 152](#_Toc193898643)

[14.3.1. 手動で日付と時刻を設定する。 152](#_Toc193898644)

[14.3.2. 時計サーバーと同期 153](#_Toc193898645)

[14.4. Bluetooth設定 154](#_Toc193898646)

[14.4.1. Bluetoothのオン/オフ切り替え 154](#_Toc193898647)

[14.4.2. Bluetoothオーディオデバイス接続 154](#_Toc193898648)

[14.4.3. Bluetoothデバイス名変更 155](#_Toc193898649)

[14.4.4. Bluetoothデバイスとの接続を解除 155](#_Toc193898650)

[14.5. インターネット設定 156](#_Toc193898651)

[14.5.1. 無線LANネットワークへの接続。 156](#_Toc193898652)

[14.5.2. 無線LANプロファイルの削除 157](#_Toc193898653)

[14.6. 設定の初期化 157](#_Toc193898654)

[14.7. クイックスタートガイド 158](#_Toc193898655)

[14.8. デバイス情報を確認 158](#_Toc193898656)

[15. サードパーティアプリのインストールと使用 160](#_Toc193898657)

[15.1. Android アプリのインストール 160](#_Toc193898658)

[15.2. ナビゲーションとアプリの使用 164](#_Toc193898659)

[16. スマートコネクト 167](#_Toc193898660)

[16.1. モバイル端末との接続 167](#_Toc193898661)

[16.2. 一般的な操作 169](#_Toc193898662)

[16.3. iOS向けスマートコネクトコマンド 172](#_Toc193898663)

[16.3.1. ナビゲーションモード 172](#_Toc193898664)

[16.3.2. ウェブ閲覧モード 174](#_Toc193898665)

[16.3.3. 文字入力モード 175](#_Toc193898666)

[16.4. Android向けスマートコネクトコマンド 176](#_Toc193898667)

[16.4.1. ナビゲーションモード 176](#_Toc193898668)

[16.4.2. ウェブ閲覧モード 178](#_Toc193898669)

[16.4.3. 文字入力モード 179](#_Toc193898670)

[16.5. ブレイルセンス用スマートコネクトコマンド 181](#_Toc193898671)

[16.5.1. ナビゲーションモード 182](#_Toc193898672)

[16.5.2. 文字入力モード 184](#_Toc193898673)

[17. コマンド 一覧 187](#_Toc193898674)

[17.1. 共通コマンド 187](#_Toc193898675)

[17.2. ホームメニューコマンド 188](#_Toc193898676)

[17.3. ファイル管理コマンド 189](#_Toc193898677)

[17.4. DAISY プレーヤーコマンド 191](#_Toc193898678)

[17.5. DAISYオンラインコマンド 192](#_Toc193898679)

[17.6. メディアプレーヤーコマンド 193](#_Toc193898680)

[17.7. 文書リーダーコマンド 194](#_Toc193898681)

[17.8. ラジオコマンド 195](#_Toc193898682)

[17.9. ウェブラジオコマンド 196](#_Toc193898683)

[17.10. ポッドキャストコマンド 197](#_Toc193898684)

[17.11. メモコマンド 198](#_Toc193898685)

[17.12. 電卓コマンド 199](#_Toc193898686)

[17.13. モバイルスクリーンリーダーのコマンド 200](#_Toc193898687)

[18. お問い合わせ 202](#_Toc193898688)

# はじめに

## 主な機能

※センスプレーヤーライトにはカメラが搭載されていないため、OCR機能およびカラーリーダー機能は使用できません。

1. DAISYプレーヤーと文書リーダーを使用して、デイジー図書や文書ファイルを読み取ることができます。文書の読み上げはページ、段落、文、行、およびその他のテキスト単位で操作可能です。読み上げ速度、音量、トーン、DAISY図書の読み上げなどを調整する事ができます。
2. DAISYオンライン機能を使ってDAISY図書の検索とダウンロードを行うことができます。※DAISYオンラインの利用にはサピエIDとパスワードが必要です。
3. 本体の内蔵カメラを使用して、図書などの印刷物、パンフレット、またはレストランのメニューの画像を撮影し、OCR機能を使用して文字認識、読み上げが可能です。外部の画像ファイルからOCR認識、読み上げを行う事も可能です。
4. メディアプレーヤーを使って、音楽、オーディオブック、ポッドキャスト、ビデオ、録音した音声データなど、さまざまなマルチメディアファイル形式を再生することができます。メディアプレーヤーはトラックや時間単位のナビゲーション機能、再生速度の調整、イコライザーの設定などを備えています。
5. FMラジオを搭載しています。ラジオの周波数調整、チャンネル登録、録音が可能です。
6. ウェブラジオ機能を使用して、世界中の音楽、ニュース、その他のオーディオ コンテンツをストリーミング再生します。
7. ポットキャストのダウンロード、再生が可能です。
8. 内蔵マイクや外部マイク、または USB 録音ソースを介して録音します。 mp3 または wav ファイル形式を使用して録音します。マイクの感度や録音品質などのさまざまなオプションを調整可能です。
9. Bluetooth接続でヘッドセットやイヤホン、スピーカーと接続可能です。
10. 音声時計として使用できます。＋ボタンを長押しすると現在の日付と時刻を読み上げます。またアラーム、ストップウォッチ、カウントダウンタイマー、スリープタイマー機能を備えています。
11. ファイル管理機能を使用して、ファイルのコピー、移動、削除、名前の変更、圧縮、および展開を行います。ファイルまたはフォルダを選択し、関連するプログラムで再生することができます。
12. メモ機能と電卓機能を備えています。
13. スマートコネクト機能を使いセンスプレーヤーをスマートフォンやタブレットのキーボードとして使用しタッチスクリーンデバイスを操作する事が可能です。
14. 互換性のあるAndroidアプリをインストールすることでセンスプレーヤーの機能を拡張することが可能です。

## 内容物

センスプレーヤーのパッケージには次の内容物があります:

・センスプレーヤー本体

・充電式バッテリー

・ACアダプタ

・海外用電源プラグ（B、SE、O、BF）

・USBケーブル

・イヤホン

・ストラップ（取り付け済み）

・専用ケース（取り付け済み）

・OCRスタンド　※センスプレーヤーライトには付属しません。

・スタートガイド

・マニュアルCD

## ハードウェア仕様

・64GBの内蔵メモリ（ユーザが使用できるのは43GB）

・USB C OTGポート

・microSDカードスロット

・FMラジオチューナー内蔵

・Bluetooth 5.0

・Wi-Fi 5 (802.11ac、2.4GHz/5GHzデュアルバンド)

・13メガピクセルカメラ ※センスプレーヤーライトには非搭載。

・ヘッドホン端子（3.5mm、4極ヘッドホン対応。USB経由のステレオマイク入力、USBオーディオソースのプラグアンドプレイに対応)

・ステレオスピーカー内蔵

・ステレオマイク内蔵

・バッテリー（リチウムポリマー、フル充電で約9時間連続音楽再生可能）

## センスプレーヤーの外観

センスプレーヤーの形状は、縦130mm、横64mmの縦に長い長方形です。厚さは14.5mmで重さは140gあります。

ボタンがたくさんある面が操作パネルです。キーパッドが操作パネルの下側になるように本体を持ってください。

本体操作パネルの図



スマート

コネクト

Blue

tooth

モード

Wi-Fi

ナビゲーションパッド

ホーム

メニュー

キャンセル

デリート

キーパッド

本体側面の図



内蔵マイク（L）

レコードボタン

電源ボタン

音声コントロールボタン

キーロック

スイッチ

＋ボタン

―ボタン

microSD

スロット

内蔵マイク（R）



USB Cポート

ヘッドホンジャック

### トップパネル

操作パネルにはメインキーボードとステレオスピーカーが搭載されています。

上部には4つのキーがあります。左から順に「モード」キー、「Wi-Fi」キー、「Bluetooth」キー、「スマートコネクト」キーです。モードキー以外のキーには状態を示すLEDインジケーターがついています。モードボタン下部には触って判別できるように印が付いています。



スマート

コネクト

Blue

tooth

モード

Wi-Fi

その下には4つのコントロールキーと5つのキーで構成されるナビゲーションパッドがあります

コントロールキーは左上が「ホーム」キー、右上が「メニュー」キー、左下が「キャンセル」キー、右下が「デリート」キーです。

ナビゲーションパッドは上下左右キーと中央のOKで構成されています。



メニュー

ホーム

デリート

キャンセル

その下には12個のキーで構成された電話式のキーパッドがあります。キーパッドは文字入力や各プログラムの特定の機能をつかうショートカットキーとして使用されます。

本体の上端と下端にはステレオスピーカーが搭載されています。

### 左側面

左側面には6つの機能があります。上から順に「内蔵マイク（L）」の穴、「録音」ボタン、「音声コントロール」ボタン、「＋」ボタン、「－」ボタン、「microSDカード」スロットです。

録音ボタン：

左側面の最上部にあるボタンです。

長押しすると録音開始、短く1回押すと過去に録音したデータの再生を行います。

詳しくは「13.1録音/再生」をご参照ください。

音声コントロールボタン：

録音ボタンの下に音声コントロールボタンがあります。

ホームメニューでは押すたびに「主音量」、「音声ボリューム」、「音声速度」、「音声トーン」を切り替えます。それぞれの項目を読み上げた状態で＋ボタンや－ボタンを押すと各設定を調整します。

設定する音声は再生中のコンテンツによって変わります。例えばメニュー表示中に設定を変えるとガイド音声の設定を行い、メディア再生中ならばメディアの音声を設定します。

＋ボタンと－ボタン：

左側面の上から3番目のボタンが＋ボタンです。4番目のボタンがーボタンです。音声コントロールボタンで設定した項目を調整します。

＋ボタンを長押しすると現在時刻を読み上げます。

―ボタンを長押しするとバッテリー残量を読み上げます。

microSDカードスロット：

左側面の一番下部にある差込口です。microSDカードの差込口です。

### 右側面

本体右側面には3つの機能があります。上から「電源」ボタン、「キーロック」スイッチ、内蔵マイク（R）です。

電源ボタン：

長押しをするたびに電源オンとオフを切り替えます。短く1回押すとスリープのオンとオフを切り替えます。

キーロックスイッチ：

右側面の上から2番目のスライドスイッチです。

本体上側にスライドするとキーロックを解除し、下側にスライドするとキーロックが掛かります。

### 上側面

センスプレーヤーの上部にはストラップを通すための穴があります。

### 下側面

本体下部の側面には2つの差込口があります。左側の丸い差込口がステレオヘッドホンジャックです。右側の横長の差込口がUSB Cのポートです。

ヘッドホンジャック

下側面左側にあります。イヤホンやヘッドホンの端子を接続する差込口です。

USB Cポート

下側面右側にあります。充電する際にアダプタを接続したり、内部のデータをPCから閲覧したりする際に使用します。

またUSBの外部マイク、ライン入力等の接続が可能です。

### 背面

microSDカードスロットが右側にくるように本体をひっくり返してください。最上部にはストラップを取り付けるストラップホールがあります。

上部中央には13メガピクセルのカメラとフラッシュ用のライトがあります。その下には下向きの三角形が３本の浮き彫り線で表現されています。この三角形を押さえながら下にスライドさせると、バッテリーカバーが外れます。

※センスプレーヤーライトはカメラとフラッシュ非搭載です。

背面の図（付属のケースを外した状態）



フラッシュ

ストラップホール

バッテリーパックの蓋

カメラ

スライド

※矢印の方向（本体下側）にスライドさせるとバッテリーパックの蓋が外れます。

# ご使用前の準備

この章では、バッテリーのセット方法や電源操作、充電、データのコピー方法などの基本操作について説明します。

## バッテリーの取り付けと取り外し

ケースを外した状態で本体背面のカバーを下にスライドさせるとバッテリーの格納場所が開きます。まずキーパッドが裏面でSDカードスロットが右側になるように本体を置きます。上側にカメラ、その下に下向きの三角形が３本の浮き彫り線があることを確認してください。この三角形を押さえるようにカバー部分を下に向かってスライドさせるとカバーが外れます。

バッテリーを取り付けるには、まず細い溝がある短辺が自分に向くようにバッテリーを持ちます。次にバッテリー右上の角あたりに溝がある面が表側になるように持ってください。

右上の角にある溝の部分が格納口の端子に当たる位置になるようにしてください。

そして上側の辺を格納口にはめ込みます。そのまま下側を下ろして取り付けてください。

バッテリーを取り外すには、まず本体からカバーをスライドさせてはずします。バッテリーの下部に爪のようなものをかけてバッテリーを手前に引き出して外してください。

## 充電

ご購入時はバッテリーが十分充電されていない場合があります。お使いになる前にまず充電して下さい。

同梱のACアダプタを使用しての充電：

ACアダプタをコンセントに接続してください。次にアダプタケーブル先端のUSB C端子を底面のUSB Cポートに差し込んでください。フル充電には約３時間必要です。

パソコンに接続しての充電:

同梱のUSB Cケーブルを使用してパソコンから充電することもできます。ケーブルの端のUSB C端子を底面のUSB Cポートに差し込みます。ケーブルの端のUSB A端子をパソコンのUSBポートに差し込みます。パソコンからフル充電するには約4 時間必要です。充電中は本体の電源LEDが赤く点灯します。充電が終了すると、充電LEDが緑色に変わります。ACアダプタやコンピュータに接続されていなければ電源LEDは点灯しません。

## 電源のオンとオフ

センスプレーヤーの電源を入れるには電源ボタンを長押しします。本体が小さく振動し音が鳴るまで電源ボタンを長押ししてください。数秒後連続して小さな振動と音が鳴り、本体の起動音サウンドが鳴ります。

初めて起動した際はクイックスタートガイドが始まり基本的な使い方の説明や初期設定を行います。クイックスタートガイド終了後は本体起動後にホームメニュー先頭の「ファイル管理」を表示します。

センスプレーヤーの電源を切るには、電源ボタンを長押ししてください。「電源オフ」とアナウンスされます。電源を切る場合は続けてOKを押してください。終了音が鳴り電源が切れます。

左右キーを押して「電源オフ」、「再起動」、「取消」を切り替えます。再起動や取消したい場合は左右キーで選択してOKで実行してください。

※電源オフのアナウンスを無視して電源ボタンを約10秒押し続けると本体が振動し再起動します。センスプレーヤーが正常に起動しなかった場合などにお試しください。

一度センスプレーヤーを起動すれば、電源ボタンを短く押すことで素早くスリープモードのオンとオフを切り替えることができます。

完全に電源をオフにした場合や、バッテリーが完全に消耗したり、センスプレーヤーがリセットされたりした場合は、初回起動時のように起動に時間が掛かります。

## microSDカードの取り付けと取り外し

カードスロットは左側面の下側にあります。

microSDカードをセットするには、まずカードの角が欠けた側が本体上側になるように持ちます。microSDカードのラベルが裏向きになる状態です。丁寧にmicroSDカードをスロットにカチッとした感触があるまで差し込んでください。本体が起動した状態であれば、microSDカードを認識したことを示す通知音が鳴ります。

microSDカードを取り外す際には、カチッとした感触があるまでカードを丁寧に押し込んでから手を離してください。microSDカードがスロットから飛び出しますのでスロットから引き出して下さい。本体が起動している状態であればSDカードが取りはずされた事を示す通知音が鳴ります。

## コンピュータとの接続

### Windows PCと接続

センスプレーヤーの電源を入れてから、同梱のUSBケーブルのUSB C端子をセンスプレーヤーのUSB Cポートに接続し、反対側のUSB A端子をパソコンのUSBポートに接続してください。「USBデータモードオン」と音声で案内します。

パソコンに接続すると、パソコンのエクスプローラーから「センスプレーヤー」という名前の「メディアデバイス」が表示されます。「センスプレーヤー」を選択すると、センスプレーヤーに保存されたデータが表示されます。センスプレーヤーにmicroSDカードが挿入されていれば、カード内のデータも表示されます。Windows のコピー、切り取り、貼りつけ、削除を使用してデータ管理が可能です。

USBデータモードオンの状態では、センスプレーヤー本体を操作することはできません。センスプレーヤーのボタンを押しても動作しません。USBケーブルをコンピュータまたはセンスプレーヤーから取り外せば、センスプレーヤー本体の操作ができるようになります。

注意:センスプレーヤーはAndroidデバイスです。Media Transfer Protocol（MTP接続）を用いてWindows PCに接続します。このため、ファイルの直接編集やドライブへの書き込みには制限がありますがファイル管理は正常に動作します。

### Macに接続する

前述の通り、センスプレーヤーはコンピュータとのデータの送受信にメディア転送プロトコル（MTP）接続を使用します。Macのオペレーティングシステムは、この接続タイプをサポートしていないため、センスプレーヤーにファイルをドラッグ＆ドロップできるようにするサードパーティ製のアプリケーションをダウンロードする必要があります。

GoogleのAndroid File Transferは、既に更新されていませんので、代替アプリケーションとして、無料かつオープンソースの「OpenMTP」、またはMac App Storeから入手可能な別の無料代替品である「HandShaker」を使用する必要があります。

より高機能な代替品としては、VoiceOverでアクセス可能で、サポートも充実していることが分かっているMacDroidアプリケーションを使用することもできます。ただし、このアプリケーションは残念ながら無料ではありません。

これらのアプリケーションのいずれかをインストールしたら、センスプレーヤーをMacに接続し、電源を入れます。これらのアプリケーションを使用してセンスプレーヤーにファイルをドラッグ＆ドロップするには、通常はVoiceOverを使用する必要がありますが、OpenMTPではいくつかのキーボードショートカットも提供されています。

VoiceOverを使用してアイテムをドラッグ＆ドロップする方法については、AppleのウェブサイトにあるVoiceOver for Macの最新のドキュメントをご確認ください。

また、USBドライブやマイクロSDカードを使用してデータを転送することもできます。Macとセンスプレーヤー間でファイルを転送する際に、この方法が有効である場合があります。

## フォルダ

再生可能データはセンスプレーヤー内の特定フォルダに保存する必要はありません。内蔵メモリやmicroSDカードがスキャンされると、再生可能コンテンツは全て認識され、再生可能なプログラムで利用できるようになります。

例えば, メディアプレーヤー起動中にエクスプローラーボタンを押すと、データの保存場所に関わらず、全てのメディアコンテンツが使用できるようになります。

但し、いくつかの機能については、自動的に作成されるフォルダにデータが保存されます。

1. OCRフォルダ: OCRで認識された画像やテキストファイルは以下のOCRサブフォルダに保存されます。※センスプレーヤーライトでは作成されません。

OCRフォルダ内のImageフォルダ:

内蔵カメラを使用して撮影された画像を保存します。

OCRフォルダ内のImportフォルダ:

他のデバイスからコピーされた画像ファイルはこのフォルダに保存されていないとセンスプレーヤーが認識できません。

OCRフォルダ内のTemporaryフォルダ:

文字認識用に撮影された画像が一時的にこのフォルダに保存されます。

OCRフォルダ内のTextフォルダ:

OCR認識の結果ファイルがこのフォルダに保存されます。

1. Podcastフォルダ:

ポッドキャストコンテンツやアドレス情報はこのフォルダ内に保存されています。URL、XML、OPMLも含まれます。センスプレーヤーからポッドキャストを購読するには、そのポッドキャストのアドレス情報がこのフォルダに保存されている必要があります。

1. Musicフォルダ内のRadioフォルダ:

FMラジオから録音されたファイルはこのフォルダに保存されます。

1. Musicフォルダ内のRecordフォルダ:

マイクやラインインで録音した音声はこのフォルダに保存されます。

1. Web radioフォルダ:

ウェブラジオのアドレスはこのフォルダに保存される必要があります。M3uファイルやPLS ファイルもこのフォルダに保存しないと認識されません。

1. Web radio フォルダ内のRecordフォルダ：

録音したWebラジオの音声データはこのフォルダに保存されます。

# 基本操作

## ホームメニューの構造

電源を入れると起動音が鳴り、「ファイル管理」と読み上げます。「ファイル管理」がホームメニュー先頭の項目です。そこから下キーを押すと以下の順番でメニュー項目を読み上げます。

※OCRとカラーリーダー機能はセンスプレーヤーライトには搭載されていません。

1. ファイル管理：センスプレーヤーに保存されているデータを管理します。
2. DAISYプレーヤー：DAISY図書を再生します。
3. DAISYオンライン：DAISY図書の検索とダウンロードを行います。
4. OCR：印刷された本や文書をスキャンし文字情報を読み上げます。
5. メディアプレーヤー：MP3、WAVなどの音声ファイルやMP4などのビデオ形式の音声を再生します。
6. 文書リーダー：テキストファイルやdoc、docx 、PDF、HTML、EPUBなどの文書ファイルを読み上げます。
7. ラジオ：FMラジオを受信し聴くことができます。
8. ウェブラジオ：ウェブラジオ局を検索し聴くことができます。
9. ポッドキャスト：ポッドキャストを購読・ダウンロードし再生することができます。
10. ユーティリティ：録音/再生、カラーリーダー、メモ、電卓、アラーム、ストップウォッチ、カウントダウン、スリープタイマーなどの機能とセンスプレーヤーのアップグレードやディスク管理に関する機能を使用できます。
11. 設定：ガイド音声やネットワーク接続などの設定を行います。
12. すべてのアプリケーション： アプリインストーラーと SensePlayer にインストールした Android アプリを使用できます。

使用したい項目を上下キーで選択し、右キーまたはOKを押すと機能を実行します。ホームメニューに戻るにはホームキーを押すかキャンセルキーを押してください。

## 音量その他の設定

本体左側面にある音声コントロールボタンと+ボタン、－ボタンを使用して、メディアの再生音声やガイド音声を調整することができます。その他にも再生速度やメディアイコライザーなど、様々な設定を行うことができます。

設定を行うには、本体左側面上から2番目の音声コントロールボタンを押して、設定したい項目に切替えます。次に＋ボタンと－ボタンを使用して値を増減します。

音量設定は主音量とプログラムごとの設定項目が表示されます。

プログラムごとの設定可能な項目は以下の通りです

1. ホームメニュー: ガイド音声ボリューム、ガイド音声速度、ガイド音声トーン
2. メディアプレーヤー: メディアボリューム、メディア速度、イコライザー
3. テキストDAISY再生時: 読み上げ音声ボリューム、読み上げ速度、読み上げ音声ピッチ。
4. DAISYオーディオ再生時: DAISYオーディオボリューム、DAISY オーディオ再生速度

※音声設定中は5秒以上操作しないと変更を中止し、短いビープを鳴らして自動的に元の音声設定に戻ります。

## 日付と時刻、バッテリー状態、ソフトウェア情報の確認

+ボタンを長押しすることで日付と時刻を確認します。いずれのプログラムを使用していても日付と時刻の読み上げは実行可能です。

※オプション設定にて日付、時刻またはその両方を読み上げるかどうか設定することができます。初期設定では時刻のみを読み上げます。

－ボタンを長押しすることでバッテリーの状態を確認します。バッテリー残量をパーセンテージで表示しセンスプレーヤーが充電中か、バッテリー駆動中かを読み上げます。

「日付と時刻」、「バッテリー状態」の確認はセンスプレーヤーがスリープ状態でも機能します。

ホームメニュー上でメニューキーを押すことでファームウェア情報を確認できます。

ファームウェアの情報は設定メニューの「センスプレーヤー情報」からも確認することができます。

## ダブルアクションキー

キーパッド上部に並ぶ4つの四角いキーは様々な接続項目やステータスを操作するキーです。左から順に「モード」、「Wi-Fi」、「Bluetooth」、「スマートコネクト」キーです。

これらのキーは浅く短く押すことで1つの動作、深くしっかり押すことでもう１つの動作ができるダブルアクションキーです。浅く押すと「カチッ」と音が鳴ります。さらに、もっと長押しすることで第三の動作をすることができます。

押した感覚を確認し押し方を使い分けてください。

各キーの機能は以下の通りです。

モード：

よく使う機能を登録し切り替えることができます。浅く押すことで現在起動中のプログラムを表示し、深く押すことでプログラムを切り替えます。長押しするとモードボタンで呼び出せるプログラムを登録できます。

Wi-Fi：

浅く押すことでWi-Fiの状態を確認します。深く押すことでWi-Fiのオンとオフを切り替えます。長押しでインターネット設定を開きます。

Bluetooth：

浅く押すことでBluetooth接続の状態を確認します。深く押すことでBluetoothのオンとオフを切り替えます。長押しでBluetooth設定を開きます。

スマートコネクト：

スマートコネクト機能はセンスプレーヤーをスマートフォンやタブレットのBluetoothキーボードとして接続し操作する機能です。

浅く押すことで最後に接続していた端末と再接続します。深く押すことでペアリングモードに移行します。長押しでスマートコネクトの過去に接続したペアリングリストを表示します。

スマートコネクト機能について詳細は本書の「16.スマートコネクト」をご参照ください。

## キーロック

電源を切っている間や音楽や本の再生中に、キーロックを掛けて誤ったキーを押さないようにすることができます。本体右側面にあるキーロックスイッチを下げるとキーロックが掛かります。キーロックスイッチを上げてキーロックを解除すればキーを通常通り操作できます。

注意：キーをロックした状態でも電源ボタン長押しで本体を起動することが可能です。センスプレーヤー起動時にキーロックがオンの場合アナウンスされますのでロックを解除してからご使用ください。

### 数字キーロック

数字キーのみをロックする機能です。オプション設定の「数字キーロック」設定や、＃ボタンを長押しすることで数字キーロックのオンとオフが切り替わります。

### ファンクションキーロック

トップパネル上部にあるモードキー、Wi-Fiキー、Bluetoothキー、スマートコネクトキーのみをロックし誤動作を防止できます。＊キーと＃キーを同時に長押しすることでロックのオンとオフが切り替わります。

## クイック起動コマンド

センスプレーヤーの全ての機能はホームメニューから選択して実行することができますが、数字キーをショートカットキーとして使用することで素早く機能を実行することができます。

ホームメニューを表示した状態で数字キーを押すと各数字に対応したプログラムを実行することができます。

以下数字キーと対応する機能の一覧です。

１キー：ファイル管理を起動。

２キー：DAISYプレーヤーを起動。

３キー：DAISYオンラインを起動。

４キー：OCRを起動。（ライトではメディアプレーヤーを起動）

５キー：メディアプレーヤーを起動。（ライトでは文書リーダーを起動）

６キー：文書リーダーを起動。（ライトではラジオを起動）

７キー：ラジオを起動。（ライトはウェブラジオを起動）

８キー：ウェブラジオを起動。（ライトではポッドキャストを起動）

９キー：ポッドキャストを起動。（ライトではユーティリティメニューを起動）

０キー：ユーティリティメニューを起動。（ライトでは不使用）

これらの数字キーのコマンドはサブメニューに引き継がれます。例えば「ユーティリティ」のサブメニュー４番目にある「電卓」はホームメニューにて０→４と押して実行可能です。※センスプレーヤーライトでは９→４と押して実行可能です。

## メニュー・ダイアログボックス・エディットボックスについて

センスプレーヤーでは各プログラムの機能を実行するにはメニューを使用し、設定オプションではダイアログボックスを使用します。そしてテキストの検索や編集にはエディットボックスを使用します。これらの操作方法や利用方法について解説します。

### メニュー

センスプレーヤーのほとんどのプログラムは、プログラムに関連した様々な機能を実行するためのメニューが存在します。プログラム実行中にメニューキーを1回押すとメニューを開くことができます。メニューを終了し、メニューを使用する前の状態に戻るにはキャンセルキーを押します。

メニュー操作および実行には以下のキーを使用します：

1. メニューを開く: メニューキー
2. 前のメニュー項目に移動: 上キー
3. 次のメニュー項目に移動: 下キー
4. 現在位置の項目またはサブメニューを選択: 右キー または OK
5. 一階層前のメニューに戻る: 左キー
6. メニューを終了する: キャンセルキー

### ダイアログボックスの使い方

ダイアログボックスには、特定項目についての情報を提供したり、その情報やオプションを変更したりする機能があります。

ダイアログボックスは、「エディットボックス」や「コンボボックス」、「プロンプトボタン」で構成されます。

エディットボックス：数字や文字の入力に使用します。

コンボボックス：主に設定メニューにおいて設定内容の選択に使用します。

プロンプトボタン：「はい」または「いいえ」の選択が必要な場合に使用します。

ダイアログボックスの操作には以下のキーを使用します

1. 前のコントロールへ移動: 上キー
2. 次のコントロールへ移動: 下キー
3. コンボボックス内の次の項目へ移動、またはプロンプトボタン切り替え:右キー
4. コンボボックス内の前の項目へ移動、またはプロンプトボタン切り替え:左キー
5. 設定を保存してダイアログを閉じる: OK
6. 設定を保存せずダイアログを閉じる: キャンセルキー

### エディットボックスの文字入力

エディットボックスでは文字列を入力します。エディットボックスの内容により「数値」のみに入力が制限されている場合や、「ひらがな」、「アルファベット」、「記号」を入力できる場合があります。

数値のみを入力するエディットボックスの例としては「アラーム」、「日付と時刻の設定」、「スリープタイマー」があります。これらのエディットボックスでは数字キーを使って数値を入力します。

一般的なエディットボックスの例としては「メモ」、検索ワードのエディットボックス、ユーザ名やパスワードのエディットボックスがあります。

一般的なエディットボックスでは数字キーを使って携帯電話の入力の様に文字を入力します。

エディットボックスの操作は以下のキーを使用します。

1. 文字入力：各数字キー
2. 前の文字を削除：デリートキー
3. 入力した文字列全体を削除：デリートキー長押し
4. 前の文字に移動：左キー
5. 次の文字に移動：右キー
6. エディットボックスを閉じる：キャンセルキー
7. 文字種の切り換え：＃キー

注意:音声設定の記号レベルによっては句読点、記号のキーエコーが無い場合があります。

「メモ」や「DAISYオンライン」等、センスプレーヤーの機能の中で日本語入力を行う場合漢字変換に対応していません。スマートコネクトを使用して情報端末を操作する場合は接続した端末の機能を使って漢字変換可能です。

センスプレーヤーには2種類の文字入力方式が搭載されています。入力方式はオプション設定にて選択できます。

**初期設定は入力方式２です。**

入力方式１

文字入力には、電話に使われる数字キーを使った入力を行います。

ひとつの数字キーに複数個の文字が割り当てられています。数字キーを複数回連続して押す事で、キーに割り当てられた文字を選択します。

例えば、アルファベット入力時に４キーはg h i G H Iの入力に使用します。ｈを入力する際には、４キーを2回続けて押します。iを入力するには、４キーを3回続けて押します。

大文字は小文字の後に選択できますので「G」と入力するには４キーを4回押します。

少し待つと入力が確定しセンスプレーヤーが入力した文字を読み上げます。

＃を押すと文字種を切り替えることができます。選択できる文字種は「ひらがな」、「アルファベット」、「数値」、「記号」です。

また文字入力が確定するまでの時間をオプション設定の「文字入力時間」で変更可能です。「文字入力時間」を長く設定するほどゆっくりキーを押しての入力が容易になります。詳しくは「14.1オプション設定」をご参照ください。

ひらがな入力には以下の数字キーを使用します。

以下はひらがな入力時の数字キーと入力できる文字の一覧です。

例えば１を１回押すと「あ」、１を５回連続で押すと「お」、6回押すと「１」と入力します。

「っ」は４を6回押して入力します。

１：あいうえお１

２：かきくけこ２

３：さしすせそ３

４：たちつてとっ４

５：なにぬねの５

６：はひふへほ６

７：まみむめも７

８：やゆよ８

９：らりるれろ９

０：わをんー（スペース）。、０

「っ」以外のひらがなの小文字や濁音などの入力には＊を組み合わせて入力します。

※数字キー入力後の＊は連続してすぐに押す必要があります。

同じ文字に濁点と半濁点がある「は行」の場合は半濁点の入力に＊を２回押します。

１の後に＊１回: ぁぃぅぇぉ

２の後に＊１回: がぎぐげご

３の後に＊１回: ざじずぜぞ

４の後に＊１回: だぢづでど

６の後に＊１回: ばびぶべぼ

６の後に＊２回: ぱぴぷぺぽ

８の後に＊１回: ゃゅょ

アルファベット入力には以下の数字キーを使用します：

以下はアルファベット入力時の数字キーと入力できる文字の一覧です。

１:　, 　. 　―　＠ 読み【コンマ、ピリオド、マイナス、アットマーク】

２: a b c A B C

３: d e f D E F

４: g h I G H I

５: j k l J K L

６: m n o M N O

７: p q r s P Q R S

８: t u v T U V

９: w x y z W X Y Z

０: スペース ? !　読み【スペース、クエスチョン、感嘆符】

記号入力には以下の数字キーを使用します。

以下は記号入力時の数字キーと入力できる文字の一覧です。

１: . , !　読み【ピリオド、コンマ、感嘆符】

２: ―　～　＠　読み【マイナス、チルダ、アット】

３: ‘　’　#　読み【アポストロフィ、クォーテーションマーク、シャープ】

４: ；　：　＄　読み【セミコロン、コロン、ドル】

５: /　？　％　読み【スラッシュ、クエスチョン、パーセント】

６: ̀　＿ ＾　読み【アクサングラーブ、アンダー、べき乗】

７: （　）　＆　読み【括弧開き、括弧閉じ、アンパサンド】

８: ［　］　＊　読み【大括弧開き、大括弧閉じ、アスタリスク】

９: ｛ ｝＝　＋　読み【中括弧開き、中括弧閉じ、イコール、プラス】

０: ＜　＞　￥　｜　読み【小なり、大なり、円マーク、縦線】

入力方式２

文字入力には、電話に使われる数字キーを使った入力を行います。

ひとつの数字キーに複数個の文字が割り当てられています。数字キーを複数回連続して押す事で、キーに割り当てられた文字を選択します。

例えば、アルファベット入力時に４キーはg h i G H Iの入力に使用します。ｈを入力する際には、４キーを2回押します。iを入力するには、４キーを3回押します。

大文字は小文字の後に選択できますので「G」と入力するには４キーを4回押します。

数字キーを押すたびに、選択された文字を読み上げます。右キーを押すか違う数字キーを押すことで文字入力を確定します。

＃を押すと文字種を切り替えることができます。選択できる文字種は「ひらがな」、「アルファベット」、「数値」、「記号」です。

ひらがな入力には以下の数字キーを使用します。

以下はひらがな入力時の数字キーと入力できる文字の一覧です。

１：あいうえおぁぃぅぇぉ１

２：かきくけこがぎぐげご２

３：さしすせそざじずぜぞ３

４：たちつてとっだぢづでど４

５：なにぬねの５

６：はひふへほばびぶべぼぱぴぷぺぽ６

７：まみむめも７

８：やゆよゃゅょ８

９：らりるれろ９

０：わをんー（スペース）。、０

アルファベット入力には以下の数字キーを使用します：

以下はアルファベット入力時の数字キーと入力できる文字の一覧です。

１:　, 　. 　―　＠ 読み【コンマ、ピリオド、マイナス、アットマーク】

２: a b c A B C

３: d e f D E F

４: g h I G H I

５: j k l J K L

６: m n o M N O

７: p q r s P Q R S

８: t u v T U V

９: w x y z W X Y Z

０: スペース ? !　読み【スペース、クエスチョン、感嘆符】

記号入力には以下の数字キーを使用します。

以下は記号入力時の数字キーと入力できる文字の一覧です。

１: . , !　読み【ピリオド、コンマ、感嘆符】

２: ―　～　＠　読み【マイナス、チルダ、アット】

３: ‘　’　#　読み【アポストロフィ、クォーテーションマーク、シャープ】

４: ；　：　＄　読み【セミコロン、コロン、ドル】

５: /　？　％　読み【スラッシュ、クエスチョン、パーセント】

６: ｀＿＾　読み【アクサングラーブ、アンダー、べき乗】

７: （　）　＆　読み【括弧開き、括弧閉じ、アンパサンド】

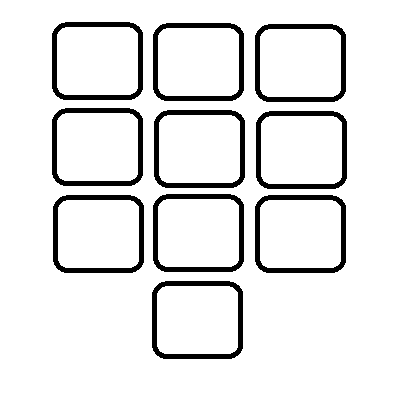
８: ［　］　＊　読み【大括弧開き、大括弧閉じ、アスタリスク】

９: ｛ ｝＝　＋　読み【中括弧開き、中括弧閉じ、イコール、プラス】

０: ＜　＞　￥　｜　読み【小なり、大なり、円マーク、縦線】

かな入力と記号入力キーの図

かな



た行

や行

な行

は行

ら行

わ行

ま行

か行

さ行

あ行

記号

アイコン

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

<>|

{ } = +

［ ］\*

̀\_ ‸

/ ? %

; : #

‘ ’ #

‐~ @

. , !

( ) &

ヘルプモード

ヘルプモードをオンにすると、押したキーの機能をアナウンスします。

ヘルプモードはどの機能を使用していてもOKの長押しで起動します。

多くのキーは短く押すか長く押すかによって複数の機能を持つことがありますが、ヘルプモードでは押したキーのすべての機能をアナウンスします。

OKを再度長押しするとヘルプモードを終了します。

各キーの説明はヘルプモード起動時に使用していた機能によって変化します。例えばメディアプレーヤー実行中にヘルプモードを起動した場合、そこでアナウンスする説明はメディアプレーヤー実行時の内容です。

# ファイル管理

センスプレーヤーのファイル管理では、内蔵フラッシュディスクだけでなく、接続したmicroSDカードやUSBドライブにアクセスすることができます。再生可能なファイルやDAISYフォルダやメディアフォルダを選択し、OKを押すことで、自動的に選択したファイルを再生できるプログラムを起動します。

また、ファイル管理では、コンピュータを使わずにファイルとフォルダのコピー、移動、削除、圧縮、解凍が可能です。フォルダの作成、ドライブ間のファイルのインポートやエクスポートも可能です。

## ファイル管理の実行と終了

ファイル管理は、ホームメニュー先頭の項目です。センスプレーヤーを起動するとホームメニューが立ち上がりファイル管理を表示します。実行するにはOKまたは右キーを押します。

ホームメニューの他の項目を表示している場合は、上下キーを使って「ファイル管理」まで移動し、OKを押します。

また、ホームキーを押すことでもファイル管理に移動することができます。

ファイル管理実行中は、「キャンセル」を押して終了します。ファイル管理を終了すると、ホームメニューへ戻ります。

## コンテンツの検索・選択・実行

ファイル管理を実行すると、ドライブリストが表示されます。microSDカードやUSBドライブが接続されていない場合、内蔵フラッシュディスクのみ表示されます。右キーを押すことでドライブ内に進み、保存されているデータを表示します。

リスト内の項目は上キーと下キーで移動します。データを表示する際はデータ名、ファイルかフォルダか、コンテンツの種類などの情報を読み上げます。

ファイル管理では以下のコンテンツの種類を識別します。

「DAISY」、「ミックス」、「圧縮」、「ブックリーダー」、「メディア」、「ストレージ」、「不明なファイル形式」

※コンテンツの種類を知ることは便利ですがコンテンツ情報を表示するためにはデータの分析を行う必要があり、センスプレーヤーの動作が遅くなる事があります。そのため設定の「オプション設定」内で「フォルダタイプの表示」をオフに設定する事が可能です。

フォルダタイプの表示をオフに設定してもメディアプレーヤー、DAISYプレーヤー、ブックリーダーのプログラム内でエクスプローラーを使用する場合コンテンツ解析を行いそれぞれのプログラムで再生可能なデータかの識別を行います。

### ファイル管理のコマンド

|  |  |
| --- | --- |
| キー操作 | 機能 |
| 上 | 同一リスト上で前のファイル、フォルダ、またはメニュー項目へ移動。 |
| 下 | 同一リスト上で次のファイル、フォルダ、またはメニュー項目へ移動。 |
| 左 | フォルダの外へ移動。 |
| 右 | 現在のフォルダを開く。 |
| OK | 現在のファイル・フォルダを再生、またはメニュー項目を実行。 |
| キャンセル | 1回押すことで、現在の機能のキャンセル、または、選択中のファイルの選択をキャンセル。 |
| デリート | 押すと現在表示中のファイルやフォルダを削除。 |
| メニュー | ファイル管理メニューを開く。 |
| ＊キー | ファイル情報ダイアログを開く。 |
| １キー | ファイルまたはフォルダリストの先頭に移動。 |
| ２キー | ファイルまたはフォルダリストに移動。フォルダ内を見ている場合は、 2を押すことで、最初の使用可能なファイルに移動。 |
| ３キー | 1ページ分上に項目を移動。デフォルトでは25件に設定されているがオプション設定で変更可能。 |
| ４キー | 現在のファイルまたはフォルダ名を1文字ずつ戻りながら読み上げ。 |
| ５キー | 現在の文字の詳細読み。2回押すことで、文字と詳細読みを確認することが可能。 |
| ６キー | 現在のファイルまたはフォルダ名を1文字ずつ進みながら読み上げ。 |
| ７キー | リストの末尾へ移動。 |
| ８キー | 1回短く押す：ファイル検索ダイアログを開く。  長押し：「数字で移動」 |
| ９キー | 1ページ分下に項目を移動。デフォルトでは25件に設定されているがオプション設定で変更可能。 |
| ０キー | 選択・未選択の切り替え。長押しで、選択モードリストへ移動。  ※選択モードリスト： すべて選択、フォーカスから末尾まで選択、フォーカスから先頭まで選択、連続選択の開始。 |
| ＃キー | ルートディレクトリへ移動 。長押しで数字キーにロックを掛けるまたはロック解除。エディットボックスでは、入力する文字種の切り替え。 |

### よく使うナビゲーション操作

以下、通常の項目間移動でよく使用する操作です。

上下キー：リスト内の項目間の移動。

左右キー：フォルダへの出入り。

１キー：リストの先頭へ移動。

７キー：リストの末尾へ移動。

３キー：リストの25項目前へ移動。

９キー：リストの25項目後へ移動。

２キー：リスト内の最初のファイルまたはフォルダへ移動。

＃キー：ルートディレクトリへ移動。

８キー長押し：移動したい項目の番号を指定して移動。

※例：1000項目あるリスト内の300番目のファイルに移動したい場合、キーパッドの8を押して表示されたエディットボックスに300と入力してOKを押すと、300番目のファイルへ移動します。

### ファイルやフォルダ情報

対象のファイルやフォルダに関する詳細情報を確認することが可能です。

データの名前を読み上げた状態で＊を押すと情報ダイアログを開きます。

上下キーで項目を切り替え、左右キーで1文字ずつ情報を確認します。

種類：選んだ項目がファイルかフォルダか、ストレージデバイスかを表示。フォルダの場合保存されているフォルダ数とファイル数を表示。

サイズ：データサイズを表示。

日付と時刻：データを作成した日付と時刻を表示。

属性：属性を表示。

情報ダイアログはキャンセルキーで終了します。

また、複数の項目の情報を一度に確認することも可能です。各項目で０キーを押して選択し、＊を押すと選んだデータの情報ダイアログが開きます。

複数項目間の情報は下記のように表示されます：

1) フォルダ数：選択した項目内のフォルダ数を表示します。

2) ファイル数：選択した項目内のファイル数を表示します。

3) サイズ：選択した項目のトータルのファイルサイズを表示します。

### 複数項目選択

ファイル管理から複数の項目を選択し、再生、あるいはコピーや圧縮など一括して選択した動作を行うことができます。

現在の項目を選ぶには、０キーを押します。既に項目を選択している場合には、０キーを押すことで選択を解除します。キャンセルキーを押すと選択している全ての項目の選択を解除します。

０キーの長押しで、複数の選択オプションの中から実行したい機能を選択できます。長押しをするたびに以下の選択項目を切り替える事ができます。

※選択できる機能：すべて選択、末尾まで選択、先頭まで選択、連続選択の開始

つまり、末尾まで選択したい場合は０キーの長押しを2回行います。連続選択の場合には、０キーの長押しを4回行います。

連続選択を実行する場合、連続選択を選択した位置が開始位置になります。上下キーを使い、選択したいファイル群の終わりまで行きます。移動後の現在位置が選択位置の終わりになります。例えば300番目のファイルで０キーを4回長押しし、下キーを10回押すと、選択するファイルは、300-310番目のファイルになります。

選択したい項目を全て選択したら、OKを押して再生、または＊キーを押し情報を一括確認できます。または、コピー、切り取り、圧縮などの機能を一括して行うことも可能です。キャンセルキーを押すことで、選択した項目の選択を解除できます。1回０キーを押すと、選択した一つの項目の選択状態を解除できます。

### コンテンツ実行

ファイル管理は、選択したファイルまたはフォルダの種類に応じたアプリケーションを自動的に起動します。再生したい項目、複数選択した項目で、OKを押して実行します。

複数のメディアファイルの選択後にOKを押すと、メディアプレーヤーが起動し、選択したファイルがプレイリストに追加されます。メディアファイルを含んだフォルダを選択した場合は、フォルダ内のメディアファイルをプレイリストに追加できます。

※注意: 複数種類のプログラムで再生可能なコンテンツが混ざったフォルダにおいてはOKを押すことはできません。フォルダ内で、異なる種類のファイルが混在している場合、エラー音が鳴り、特定のアプリケーションを起動できません。またフォルダを選択した場合、フォルダの直下にあるコンテンツしか再生することができないため、サブフォルダ内のファイルは再生されません。

DAISY図書の場合、DAISY図書を含んだフォルダにおいてOKを押すとDAISYプレーヤーを使用して実行します。もし他のコンテンツがそのフォルダに入っていた場合は実行できません。DAISY図書の複数選択はできないので、DAISY図書は個別に再生する必要があります。

OCR画像でOKを押すと、自動的に認識をはじめテキストを読み始めます。

各メディアの再生中にキャンセルキーを押すと、再生が終了し、ファイル管理へ戻ります。

※センスプレーヤーライトではOCR画像の認識は行いません。

## ファイルとフォルダの管理

ファイル管理にてセンスプレーヤー内のファイルとフォルダを管理することができます。このメニューにはファイルのコピー・移動・圧縮・展開・名前の変更・新規フォルダの作成の機能があります。

### コピーと切り取り

データのコピーと貼付けは以下の手順で行います。

1. コピーしたいファイルを選択します。前述の通り、０キーを使って複数選択も可能です。
2. メニューキーを押します。
3. 「コピー」がメニューの最初の項目に表示されます。
4. OKまたは、ショートカット1キーを押します。「コピー完了」と読み上げ、選択した項目がクリップボードにコピーされます。
5. コピーしたファイルを置きたいフォルダまで移動します。
6. メニューキーを押します。
7. 上下キーを使い、「貼り付け」を選択し、OKまたはショートカット3キーを押します。 ファイルの貼り付けが開始されます。
8. ファイルのコピー中は、ビープ音が鳴り作業が進行中であることを表します。
9. 同じ名前のファイルまたはフォルダが、選択したコピー先にある場合、上書きするかどうかを尋ねられます。左右キーを使い、「はい」、「すべてはい」、「いいえ」を選びます。

「はい」を選択し、他にも同名のファイルがあった場合は、その都度選択を尋ねられます。「すべてはい」を選択すれば、すべての同名の項目に適用されます。

「いいえ」を選択した場合でも、他にも同名のファイルがあった場合は、都度どの選択を行うか尋ねられます。「キャンセル」を選択した場合は、コピーが取り消されます。

キャンセルキーを押すことで、進行中のファイルのコピーを中止し、コピーをキャンセルできます。

コピーしたファイルを元データの保存されたフォルダ内に貼り付けると、ファイル名の先頭に「コピー\*（番号）」と追記されたファイル名で、ファイルが複製されます。

コピーではなく切り取りを選んだ場合は貼り付けた後に元データが残りません。

### 削除

ファイルまたはフォルダの削除は下記の手順で行います。

1. 削除したいファイルを選択します。前述の通り、０キーを使って複数選択も可能です。
2. デリートキーを押します。するとファイルの削除を行うかどうか尋ねられます。左右キーを使い、「はい」、「いいえ」のいずれかを選びます。

読み取り専用のファイルであっても、削除するかどうかを尋ねられます。左右キーを使い、「はい」、「すべてはい」、「いいえ」を選びます。「はい」を選択し、他にも読み取り専用ファイルがあった場合は、都度どの選択を行うか尋ねられます。「すべてはい」を選択すれば、すべての読み取り専用ファイルに適用されます。削除を中止するにはキャンセルキーを押してください。

※注意: センスプレーヤー上で削除したファイルとフォルダは元に戻すことができません。

### ファイル・フォルダの名称変更

下記の手順でファイル・フォルダ名を変更します。

1. 名前を変更したいファイルまたはフォルダを選択します。個々の項目の名前を変更するため、複数選択はできません。
2. メニューキーを押します。
3. 下キーを押し、「名前の変更」を選択しOKを押します。
4. 現在の項目の名前が入った、名前変更のエディットボックスが現れます。
5. 左右キーで編集位置を決め、新しい名前を入力します。
6. 名前の変更を完了するには、OKを押します。

名前の変更を中止するには、キャンセルキーを押してください。

### フォルダ作成

下記の手順で新規フォルダを作成します。

1. メニューキーを押します。
2. 下キーで「新しいフォルダ」を選択し、OKを押します。
3. 作成したいフォルダ名を入力します。
4. OKを押すと、そのフォルダが作成されます。

フォルダの作成を中止するには、キャンセルキーを押してください。

### ファイルの圧縮

下記の手順で1つ以上のファイルまたはフォルダをzipファイルに圧縮できます。

1. 圧縮したいファイルを選択します。前述の通り、０キーを使って複数選択も可能です。
2. メニューキーを押します。
3. 上下キーで、「圧縮」を選択しOKを押すと、圧縮ダイアログを表示します。
4. ZIPファイルの名前の入力を求められます、名前を入力してください。入力欄には、選択項目に応じた名前が自動的に入力されているので、そのままOKを押して決定することもできます。
5. OKを押すと、ファイルの圧縮を開始します。

同名のファイルがあった場合、上書きするかどうかを尋ねられます。左右キーを使って、「はい」か「いいえ」を選択してください。

圧縮を中止するにはキャンセルキーを押してください。

### 圧縮ファイルの展開

下記の手順で、圧縮ファイルを展開します。

1) 展開したいファイルを選択します。

2) メニューキーを押します。

3) 上下キーを使い、「展開」を選択しOKを押します。

4) 展開ダイアログが表示され、展開する場所を指定します。

5) OKを押すと展開を開始します。

展開にパスワードが必要な場合は、パスワード入力ボックスが現れます。

パスワードを入力し、OKを押してください。

展開を中止するにはキャンセルキーを押してください。

# DAISYプレーヤー

センスプレーヤーのDAISYプレーヤーは、DAISYオンラインなどのオンラインライブラリーからダウンロードしたDAISY図書を再生することが可能です。

## コンテンツの選択と再生

DAISYプレーヤーはホームメニューで２キーを押すか、ホームメニューを開いてから、上下キーを押して「DAISYプレーヤー」と読み上げたところでOKを押すと起動します。

前回再生していたDAISY図書があった場合は、前回の途中から再生を再開します。初めてDAISYを再生する場合はエクスプローラー画面が開きます。４章で説明したファイル管理の操作方法を使って読みたいデータを選択し、再生することができます。

コンテンツの再生中にOKを押すと再生を一時停止することができます。再度OKを押すと再生を再開します。キャンセルキーを押すとコンテンツの再生を取り消してホームメニューに戻ります。コンテンツ再生を終了した場所は自動的に保存されます。次回DAISYプレーヤーを使用すると、前回再生中だった場所から再開します。また、再生中にデリートキーを長押しすると全てのマーク情報を削除してコンテンツの再生を終了します。

## DAISYプレーヤーの終了

DAISYプレーヤーを終了する際はホームキーまたはキャンセルキーを押してメインメニューへ戻ってください。DAISYプレーヤー実行中に本体の電源を切った場合、最終的に再生していた位置やマークを保存できませんのでご注意ください。

## ナビゲーション

再生するDAISY図書によって利用できる見出しの種類は異なりますが、いくつかの移動方法があります。上下キーを押すと移動単位を選択できます。左右キーを押すと選択した移動単位で前後に移動できます。

テキストDAISYを再生する場合、移動の単位は見出し、見出しレベル毎の移動、最初または最後のフレーズ、ページ、段落です。

音声DAISYを再生する場合、見出しやレベルだけでなく30秒や5分といった再生時間での移動も可能です。

また、マークやグループが設定されている場合マーク単位、グループ単位の移動も可能です。

DAISYプレーヤーのメニューにある「移動単位設定」で、上下キーを使うときにどの移動単位が表示されるかを変更できます。「移動単位設定」ダイアログでは、上下キーを使って利用可能な移動単位間を移動し、左右キーを使って現在の移動単位のオンとオフを設定します。

マークと見出しの移動単位は、このダイアログで設定することはできません。また、テキストDAISYと音声の読み上げでは、移動単位が大きく異なるため、これらの設定は個別に変更する必要があります。音声DAISYとテキストDAISYそれぞれを開いた状態で移動単位設定を行ってください。

音声DAISY再生時に右キーや左キーを長押しすることで、DAISY図書データ内の移動を素早く行う事ができます。右キーを押すと先へ、左キーを押すと前へ移動します。

この移動機能はデータの再生中にのみ使用できます。例えばDAISY再生中に右キーを長押しすると移動時間を読み上げます。長く押せば押すほど大きく移動します。自分の移動したい位置まで読み上げたら長押ししているキーを離してください。最後に読み上げた位置へ移動します。

## 指定移動

これまで説明した移動方法に加えて、図書データ内で指定した位置に移動することができます。

### 時間移動

指定した時間分移動したい場合、データ再生中に２キーを押してください。現在の経過時間と全体の再生時間が表示され、指定したい時間を入力するエディットボックスが開きます。現在の再生時間を削除し、移動したい時間を6桁の数字で入力してください。最初の2桁は時間、次の2桁は分。最後の2桁は秒を表します。

例えばデータ再生時間5分20秒の位置に移動したい場合は「000520」と入力してください。このエディットボックスで左右キーを押すと入力した数字を確認することができます。またデリートキーを押すことでひとつ前の文字を削除することができます。

指定したい時間を入力したらOKを押してください。指定した時間の位置から再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「時間移動」と読み上げたらOKを押してください。またはメニューを開いた状態で２キーを押しても時間指定移動を実行します。

### パーセント移動

パーセンテージを指定して移動したい場合、DAISY再生中に５キーを押してください。図書の末尾を100％とした場合の現在位置のパーセンテージが表示され、移動したいパーセンテージの入力エディットボックスが開きます。キーパッドを使って移動したい位置のパーセンテージを入力してください。入力後OKを押すと指定したパーセンテージの位置から再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「パーセンテージで移動」と読み上げたらOKを押してください。またはメニューを開いた状態で５キーを押してもパーセンテージ指定移動を実行します。

### 見出し指定移動

見出しを指定して移動したい場合、DAISY再生中に４キーを押してください。現在位置の見出し番号と全体の見出し数が表示され、移動したい見出し番号の入力エディットボックスが開きます。キーパッドを使って移動したい位置の見出し番号を入力してください。入力後OKを押すと指定した見出しの位置から再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「見出移動」と読み上げたらOKを押してください。またはメニューを開いた状態で４キーを押しても見出し指定移動を実行します。

### 指定ページ移動

ページ番号を指定して移動したい場合、DAISY再生中に６キーを押してください。現在位置のページ番号と全体のページ数が表示され、移動したいページ番号の入力エディットボックスが開きます。キーパッドを使って移動したい位置のページ番号を入力してください。入力後OKを押すと指定したページから再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「ページ指定移動」と読み上げたらOKを押してください。またはメニューを開いた状態で６キーを押してもページ指定移動を実行します。

### 追加移動機能

DAISY再生中に以下のキーストロークを実行するとそれぞれの移動が可能です。

1. １キー：図書や文書の先頭へ移動
2. ７キー：図書や文書の末尾へ移動
3. ３キー：前のページへ移動
4. ９キー：次のページへ移動

## 検索

テキストDAISYデータを再生する場合、文字列検索を使用できます。文字列検索は以下の手順で行います。

1. 文書データ再生中に８キーを押してください。
2. エディットボックスが開きますので、検索したい文字列を入力してOKを押してください。
3. 入力した文字列が、文書内で一致した場合現在位置から一番近い位置の一致した文字列へ移動します。文字列が一致しなかった場合「単語が見つかりません」と読み上げ、検索文字列入力エディットボックスへ戻ります。

＃キーを押すことで記号、数字、アルファベット、かなの入力モードが切り替わります。（文字入力の方法については「3.7.3エディットボックスの文字入力」をご参照ください。）デリートキーを短く押すとひとつ前の文字を削除します。デリートキーを2秒以上長押しするとエディットボックス内の文字を全て削除します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「検索語」と読み上げたらOKを押してください。またはメニューを開いた状態で８キーを押しても文字列検索を実行します。

　※漢字を含む文字列検索には対応していません。「かな」を使った場合「かな」のみの検索となります。

文字列検索を実行後、移動単位として「検索」を選択できます。「検索」で左右矢印キーを押すと前後の検索結果に移動できます。

## 閲覧中の図書の情報確認

０キーを押すと、現在再生中のDAISY図書の情報を確認することができます。表示できる情報は再生しているデータの種類によって異なります。

1. タイトル：再生中のDAISY図書のタイトルを読み上げます。
2. 経過時間：現時点の再生時間と図書の総時間を読み上げます。
3. 現在のページ：現在のページ番号と総ページ数を読み上げます。
4. 現在の見出し：現在の見出し位置と総見出し数を読み上げます。
5. マーク情報：再生中のデータに設定されているマーク数を読み上げます。マークが設定されていない場合、マーク情報は表示しません。

## マーク

図書の特定箇所にマークを付ける事で、簡単に後から読み返したい場所を探すことができます。

最大999個のマークを設定することができます。マークの番号は重複できません。

注意：DAISYプレーヤーを終了する際はホームキーまたはキャンセルキーを押してメインメニューへ戻ってください。DAISYプレーヤー実行中に本体の電源を切った場合、設定したマークを保存できませんのでご注意ください。

### マーク設定

以下の方法でマークを設定します。

1. マークを付けたい箇所で＃キーを押してください。
2. マーク管理メニューが開き、「マーク設定」と表示されます。
3. OKを押してください。自動的に若い番号からマークに番号が付与されます。

キャンセルキーを押すとマーク管理を終了することができます。

### マークへ移動

挿入したマークへ移動する方法は2つあります。ひとつは再生中にマーク単位で前後に移動する方法。もうひとつはマーク管理を使ってマークを指定して移動する方法です。

マークの数が少ない場合はマークを順番に移動する方法が簡単ですが、データにたくさんのマークが付いている場合は指定して移動した方が便利です。

マーク単位で移動する方法は以下の通りです。

1. 再生中に上下キーを押して移動単位をマークに設定してください。
2. 次に左右キーを押してマーク単位で移動します。右キーは次のマークへ、左キーは前のマークへ移動します。

マーク管理を使ってマークを指定して移動する方法は以下の通りです。

1. DAISY再生中に＃キーを押してください。
2. マーク管理が開き、「マーク設定」と読み上げます。
3. 次に「マーク移動」と読み上げるまで下キーを押したらOKを押してください。
4. 移動したいマーク番号を指定するためのエディットボックスが開きます。
5. 移動先のマーク番号を入力してください。
6. OKを押すと指定したマークへ移動してDAISYを再生します。

途中でマーク管理を終了したい場合はキャンセルキーを押してください。

### マーク削除

以下の手順でマークを削除します。

1. DAISY再生中に＃キーを押してください。
2. マーク管理が開き、最初のメニュー項目「マーク設定」と読み上げます。
3. 次に「マーク削除」と読み上げるまで下キーを押したらOKを押してください。
4. 削除したいマーク番号を指定するためのエディットボックスが開きます。
5. 削除したいマーク番号を入力してください。
6. OKを押すと入力した番号のマークを削除します。

途中でマーク管理を終了したい場合はキャンセルキーを押してください。

## 音量と速度の設定

音声コントロールボタンと＋ボタン・－ボタンを使って読み上げボリューム、速度、高さを調整する事ができます。調整できる項目は再生するコンテンツの種類によって異なります。例えば音声DAISYは高さの調整はできませんがテキストDAISYでは高さの調整が可能です。

音声コントロールボタンを押すたびに設定項目が切り替わります。＋ボタンと－ボタンで調整してください。５秒間操作をしないと自動的に設定をキャンセルします。

## DAISYモードの切り替え

マルチメディアDAISYは音声データとテキストデータをどちらも再生可能なDAISYです。センスプレーヤーは音声再生とテキスト再生を切り替えて再生することができます。

マルチメディアDAISYのコンテンツを開いた状態で３キーを長押ししてください。３キーを長押しするたびに音声再生とテキスト再生が切り替わります。

## エクスプローラー

エクスプローラー機能で再生したいDAISY図書のデータを探すことができます。

### エクスプローラーの実行と終了

DAISY図書の再生中に０キーを長押しするとエクスプローラーを実行します。エクスプローラーが開くとDAISYデータが保存されたフォルダのリストが表示されます。エクスプローラーを終了する場合はキャンセルキーを押してください。

エクスプローラーは4章で説明したファイル管理とよく似ていますが、DAISYプレーヤーで再生可能なデータやフォルダだけを表示します。また、エクスプローラーではファイル管理のように、データをコピーしたり、zipファイルを展開したり、データを削除したりすることはできません。

### エクスプローラーでの操作

エクスプローラーでは以下のキーストロークで操作することができます。

リスト項目の移動：上下キー

フォルダから出て前の階層に戻る：左キー

フォルダの中に進む：右キー

ファイルやフォルダのデータを再生する：OK

ルートディレクトリに戻る：＃キー

リストの先頭へ移動：１キー

リストの末尾へ移動：７キー

25項目前へ移動：３キー

25項目後へ移動：９キー

カレントディレクトリのファイルリストとフォルダリスト間の移動：２キー

ファイル名やフォルダ名の確認：４キー、５キー、６キー

ファイルやフォルダの削除：デリートキー

## DAISY設定

DAISY図書再生に関するオプションを設定できます。設定可能な項目は各コンテンツタイプによって異なります。

以下設定の手順です。

1. メニューキーを押してDAISYプレーヤーのメニューを開いてください。
2. 次に上下キーを押して「DAISY設定」の項目を探してください。
3. 「DAISY設定」と読み上げたらOKを押して実行してください。

またはDAISY図書再生中に＊キーを押しても「DAISY設定」を実行できます。

以下設定項目です。

上下キーで設定したい項目を選択し、左右キーで各項目の設定値を調整します。

キャンセルキーを押すと設定を取り消します。

再生方法：

マルチメディアDAISYを再生する際に音声DAISYで再生するか、テキストDAISYで再生するかを設定します。左右キーを押して音声とテキストを選択します。またはDAISY図書を再生中に３を長押ししても切り替え可能です。

速度設定：音声DAISYは－２～８に設定、テキストDAISYは１～１２に設定

トーン設定：１～１０に設定（テキストDAISYのみ）

ボリューム設定：ボリュームを１～１０に設定

自動再生：オフ/オンから設定

マークの警告：メッセージ/ビープ/未使用から設定

センスプレーヤーのDAISYプレーヤーは、DAISYオンラインなどのオンラインライブラリーからダウンロードしたDAISY図書を再生することが可能です。

ページ番号を読み飛ばす：オフ/オンから設定

注番号を読み飛ばす：オフ/オンから設定

注を読み飛ばす：オフ/オンから設定

製作者の注を読み飛ばす：オフ/オンから設定

サイドバーを読み飛ばす：オフ/オンから設定

アノテーションを読み飛ばす：オフ/オンから設定

音量をブーストする：オフ/オンから設定

元の音量が小さいDAISY図書の音量を大きく出力します。

※図書の再生中に２キーを長押ししても設定の切り替え可能

# DAISYオンライン

## ログイン

DAISYオンラインを起動するとサピエIDとパスワードの入力を求められます。以下の手順でサピエのIDとパスワードを入力してログインしてください。

※DAISYオンラインの使用にはインターネット接続が必要です。

1. DAISYオンラインを実行するにはホームメニューで３キーを押すか、上下キーを使用して「DAISYオンライン」に移動しOKを押してください。
2. ユーザ名の入力エディットボックスが表示されます。サピエIDを数字キーで入力してください。
3. 次に下キーを押すとパスワードの入力エディットボックスに切り替わります。数字キーでパスワードを入力してください。
4. 次に下キーを押すと「IDを記録させる」と表示します。入力したIDを保存しておきたい場合は左右キーで「はい」を選択してください。
5. 次に下キーを押すと「パスワードを保存する」と表示します。入力したパスワードを保存しておきたい場合は左右キーで「はい」を選択してください。
6. ログイン設定に変更がなければOKを押してください。DAISYオンラインにログインします。

＜参考＞ID・パスワードを保存する設定にした場合、次回以降入力不要です。

ログインに成功すると、サピエからのお知らせを表示します。複数のお知らせがある場合左右キーで切り替えます。OKまたはキャンセルキーを押すとお知らせを閉じてDAISYオンラインのメインメニューを表示します。

## DAISYオンラインの検索メニュー

メニューでは左右キーで項目を移動し、下キーで項目を実行し、上キーで項目を一つ戻ります。

検索メニュー上でメニューキーを押すと「トップメニューに戻る」を表示します。実行すると検索メニュー先頭の「前回の検索結果一覧」へ戻ります。

メニュー項目は以下の通りです。

1. 前回の検索結果一覧
2. 図書検索
3. 雑誌検索
4. 雑誌の定期配信
5. タイトル削除依頼

### 前回の検索結果一覧

前回の検索結果リストを表示します。ただし、DAISYオンラインを一度終了してしまうと前回の検索結果は消去されます。

### 図書検索

閲覧したい図書を検索することができます。

1. 新着完成情報

・過去１週間

・過去１ヶ月

1. 人気のある本
2. ジャンル検索
3. 文字入力検索

・簡易検索

・絞り込み検索

### 雑誌検索

閲覧したい雑誌を検索することができます。

1. 新着完成順で表示
2. タイトル順で表示

・月刊誌

・週刊誌

・その他、隔月刊、季刊誌、不定期刊誌

1. タイトル検索

### 雑誌の定期配信

1. 登録
2. 解除

雑誌の定期配信を登録または削除することができます。

### タイトル削除依頼

ネット閲覧室に登録されたタイトルを情報提供施設の職員が削除することを「可能」か「不可能」に設定します。

## 図書検索結果リストの操作

各検索方法で検索を行うと図書の検索リストが表示されます。検索リストでの操作は以下のキーを使用します。

左右キー：順番にリストを移動。タイトル、著者名などの情報を読み上げる。

OK：設定した方法で表示中の図書を再生します。

再生方法は「ダウンロード」、「ストリーミング」、「毎回確認」から選択できます。設定の変更はオプションで行います。

※詳細は「6.5.3再生方法を選択」をご参照ください。

１キー：リストの先頭へ移動。

７キー：リストの末尾へ移動。

３キー：25件前に項目を移動。移動件数はオプション設定で変更可能。

９キー：25件後に項目を移動。移動件数はオプション設定で変更可能。

４キー：１文字ずつ前に項目情報を読み上げる。

５キー：カーソル位置の文字を読み上げる。

６キー：１文字ずつ後に項目情報を読み上げる。

８キー：次ページへ移動。

２キー：閲覧リストに追加。０キー：詳細情報を表示。

確認できる情報は「タイトル」、「作成者」、「著者」、「日付」、「説明」、「容量」です。上下スクロールキーで項目を切り替える事ができます。キャンセルキーを押すと検索結果リストに戻ります。メニューキーを押し、メニューリストから詳細情報の閲覧も可能です。

### 検索した図書のダウンロード

検索結果でOKを押しダウンロードを実行すると、データは初期設定では本体フラッシュディスクの「DAISY」フォルダ内にある「Online DAISY」フォルダに保存されます。ダウンロードを完了すると「ダウンロードしたファイルを再生しますか」と確認があり、OKを押すとそのままDAISYプレーヤーで図書を再生します。

改めて続きを読む場合は、DAISYプレーヤー機能を使って再生してください。

### 検索した図書のストリーミング再生

検索結果でOKを押しストリーミング再生を実行するとすぐに本の再生を開始します。この場合データはセンスプレーヤーにダウンロードされません。ストリーミング再生をホームキーやキャンセルキーで終了しても、再度図書を検索して同一図書のストリーミング再生を行うと前回の終了位置から再開します。ストリーミング再生中でもマークなどの機能は使用可能です

ストリーミング再生した図書はネット閲覧室の閲覧リストに自動的に登録されます。

## ネット閲覧室

ネット閲覧室は「新着リスト」と「閲覧リスト」で構成されています。

定期配信の設定を行った雑誌は新着リストに登録されます。

またサピエでは、自分で図書の検索が難しい場合、情報提供施設に電話で検索を依頼し、自分のネット閲覧室の新着リストに読みたい本や定期配信を希望する雑誌を登録してもらうことができます。

### ネット閲覧室を開く

メニューキーを押しメニューから「ネット閲覧室を開く」を実行するとネット閲覧室を開きます。ネット閲覧室を開いた状態でメニューを開くと「ネット閲覧室を閉じる」が表示されます。実行すると検索メニューに戻ります。

### 新着リスト

定期配信の設定を行った雑誌と、図書館に検索を依頼した図書が新着リストに追加されます。

リストでの操作は「図書検索結果リストの操作」と同様です。

新着リストの図書をダウンロードすると新着リストから自動的に削除されます。

ダウンロードしたデータは初期設定では本体フラッシュディスクの「DAISY」フォルダ内にある「DAISYオンライン」フォルダに保存されます。DAISYプレーヤー機能を使って再生してください。

### 閲覧リスト

閲覧リストへ登録した図書が表示されます。

リストでの操作は「図書検索結果リストの操作」と同様です。

閲覧リストで図書名を表示している状態でデリートキーを押すと登録した図書名を削除します。

## オプション

メニューキーを押しDAISYオンラインのメニューから「オプション」を実行するとオプションを設定できます。

### 既定のダウンロード

DAISYオンラインでダウンロードした図書データの保存先を設定します。左右キーを使って「flashdisk」か「SD」を選択しOKを押して決定してください。※microSDカードが挿入されていない場合SDは表示されません。

### お知らせを表示する

DAISYオンライン起動時にお知らせを表示するかどうかを設定します。左右キーを使って「はい」か「いいえ」を選択しOKを押して決定してください。

### 再生方法を選択

検索した図書を再生する方法を選択します。左右キーを使って「ダウンロード」か「ストリーミング」か「毎回確認」を選択しOKを押して決定してください。

# OCR

「OCR」とは、Optical Character Recognitionの略で、画像中の文字を認識し、文字に変換する機能です。センスプレーヤーは、13メガピクセルのカメラで写真を撮影し、内蔵のOCRエンジンで処理することで、この機能を実現しています。 ※センスプレーヤーライトはOCR機能非搭載です。

## OCRの開始と終了

OCRプログラムを開くには、ホームメニューで４キーを押すか、上下でメニューを移動し「OCR」でOKを押して実行します。OCRウィンドウが表示され最初の項目である 「写真を撮影」を表示します。OCRウィンドウでは上下のキーを使用してOCRの項目間を移動します。

OCRウィンドウには、以下の項目があります。

1. 写真を撮影 ※連続スキャンを手動に設定した場合「連続撮影」
2. フラッシュオン・オフボタン：OKで実行します。フラッシュオンの状態では「フラッシュオフボタン」、フラッシュオフの状態では「フラッシュオンボタン」を表示します。

OCRを終了する場合は、キャンセルキーを押してください。ホームメニューに戻ります。

その他のオプションは、メニューキーを押してOCRメニューから実行します。

1. 認識結果ファイル: 以前に認識した画像から認識ファイルのリストを開きます。
2. 画像ファイル：過去に撮影した写真を開いて、再度OCR処理をすることができます。
3. 外部ファイル：センスプレーヤーで撮影していない他の画像ファイルを開いてOCRで認識することができます。
4. スキャンオプション：画像の処理方法とファイルの保存方法を設定するために使用します。
5. 画像ファイルをすべて削除： 撮影したすべての画像を削除します。
6. テキストファイルをすべて削除：すべての認識結果ファイルを削除します。

OCRメニューから設定完了後はOKまたはキャンセルキーを押してOCRに戻ります。

## 写真を撮影する

センスプレーヤーのカメラで撮影するには

OCRスタンドを使用せずに、最適な位置から撮影する方法と、OCRスタンドを使用して撮影する方法の2種類があります。

OCRスタンドなしで撮影する手順

1. 撮影する印刷物の両脇に両肘を置きます。
2. センスプレーヤーを両手で持ち、対象の真上かつ水平になるように持ちます。
3. 本体の向きと撮影する墨字文書の向きを合わせると認識精度が上がります。
4. OKボタンを押して、撮影します。
5. センスプレーヤーは自動的に焦点を合わせ、写真を撮影し、テキスト解析を開始します。解析中はビープ音が鳴り、解析が終わると自動で読み上げを開始します。

注意：A4サイズの用紙をきれいに撮影するには、カメラの中心が用紙の約25cm上になるようにしてください。小さい用紙はさらに低い位置から撮影すると認識しやすくなります。

OCRスタンドを使用して撮影する手順

1. スタンドの柱が手前に向くように設置します。
2. センスプレーヤーをスタンド上部のトレイに置き、トレイに開いた穴とカメラの位置を合わせてください。
3. 印刷物の下端がOCRスタンドの柱に当たるように、縦方向に配置します。
4. OKボタンを押すと、撮影します。

## 撮影時のガイドオプション

センスプレーヤーには正確なスキャンを行うためのオプション設定があります。これらの設定はOCRスタンドを使用しない場合は特に重要です。

OCRウィンドウでメニューキーを押しOCRメニューを開きます。上下キーを使用して「スキャンオプション」に移動し、OK を押してください。スキャンオプションでは上下キーで項目間を移動し、左右キーで設定値を変更します。

スキャンオプションのその他の設定については「7.7その他のOCRメニューの設定」で説明しますが、ここでは撮影時に役立つオプションについて説明します。

1. イメージエリアのオン/オフ：オンに設定すると文字色と背景のコントラストが取れていない場合、またはパンフレットのように文字と写真が混在し、標準的な行や列が含まれていない対象を読み取る場合に読み取りやすくなります。
2. プレビューエリアのオン/オフ：対象物を撮影する際に位置をあわせるための指示を受けることができます。オンに設定すると、書類にセンスプレーヤーをかざすと、「右に移動」、「下に移動」などの指示を受けることができます
3. テキストフォーカスの通知方法：テキストにフォーカスがあることを通知する方法を設定します。選択肢はビープ音、メッセージ、すべてです。

設定が決まったら、OKを押して設定を保存します。キャンセルキーを押すと、設定を保存せずにOCRへ戻ります。

## 連続スキャン

複数の写真を連続撮影して、1つのファイルに保存することができます。複数のページがある本や文書をスキャンする際に、素早くスキャンして1つの文書として保存したい場合に便利です。

まず、OCRメニューの「スキャンオプション」ダイアログで、「連続スキャン」を有効にする必要があります。初期設定では、オフになっています。左右の矢印で「オフ」「手動」「5秒～9秒（1秒刻み）」の中から選択します。

このオプションがオフの場合、OCR起動時には「写真を撮影」と表示し画像は常に1枚ずつ撮影し保存されます。

オフ以外に設定した場合、「連続撮影：〇秒（〇は選択した秒設定）」と表示されるようになります。

手動に設定している場合、「連続撮影」でOKを押した後、１キーを押す度に、新しい画像を撮影します。撮影した画像は、最後にOKボタンを押して解析・保存するまでは、連続したファイルとして保存されます。

連続スキャンを5秒～9秒のいずれかに設定すると、「連続撮影」でOKを押した後、センスプレーヤーは指定した秒数毎に自動的に撮影し、OKを押すと撮影を終了し、データを1つのファイルに保存します。

OKを押して設定を保存するとOCRウィンドウに戻ります。

## OCR の認識結果

OCRの認識結果には、いくつかの方法でアクセスすることができます。

まず、前述の方法で画像を撮影すると、センスプレーヤーは自動的にテキストを解析し、読み上げます。

次に、OCR メニューの「認識結果」オプションを使用して、認識結果ファイルにアクセスする方法があります。認識結果のファイルは、それらが作成された日付と時間に従って表示されます。上下キーでリスト内を移動し、再生したいファイル名を表示したらOKを押して認識結果を読み上げます。

認識結果ファイルの再生中に、０キーを長押しして「エクスプローラー」モードを開くことにより、別の認識結果ファイルにアクセスすることもできます。認識結果ファイルは、降順で表示されます。上下キーを使用してリストを移動し、再生したいファイル名を表示したところでOKを押してください。

認識したファイルの読み上げ中にOKを押すと、読み上げの一時停止/再開することができます。文書リーダーでの読み上げと同じように、細かく移動することも可能です。

キャンセルキーを押すと、OCRウィンドウに戻ります。

## 画像ファイルの取り込み

センスプレーヤーでは以前に撮影した画像ファイルを開いたり、外部ソースの画像ファイルを開いてテキストを認識したりすることができます。

以前に撮影した画像を再認識する場合、メニューから「画像ファイル」を選択し、撮影日時によりリストアップされた画像ファイルリストを開きます。OKで選択したファイルを再認識するか、通常のファイル選択コマンドで一度に認識したいファイルを複数選択してOKを押してください。

センスプレーヤーでは、外部ソースの画像ファイルを開いて画像内のテキストを認識することができます。センスプレーヤーはJPGファイルと画像ベースのPDFファイルからテキストを認識可能です。認識させたいファイルは本体フラッシュディスクの「OCR」フォルダ内にある「Import」フォルダに保存してください。外部の画像ファイルを認識する際は、OCRのメニューから「外部ファイル」を選択し、認識したいファイルを選択します。

## その他のOCRメニューの設定

### フラッシュのオンとオフを切り替える

周囲の明るさに応じて、フラッシュのオン/オフの切り替えが必要な場合があります。認識精度が悪いようであれば、フラッシュのオン/オフ切り替えをお試しください。

以下フラッシュの初期設定を変更する手順です。

1. OCRウィンドウでメニューキーを押してOCRメニューを開きます。
2. 上下キーを使い「スキャンオプション」に移動し、OKを押します。
3. スキャンオプション内で、上下キーで「フラッシュ」に移動します。
4. 左右キーを使って、オン/オフの設定を変更します。

OCRウィンドウのフラッシュオンとオフの切り替えを使うことで撮影時に都度フラッシュ切り替えも可能です。

### 保存するファイル名の形式

スキャンオプションから「保存するファイル名の形式」を設定できます。

1. OCRウィンドウでメニューキーを押してOCRメニューを開きます。
2. 上下キーを使い「スキャンオプション」に移動し、OKを押します。
3. スキャンオプション内で、上下キーで「保存するファイル名の形式」に移動します。
4. 左右キーでOCR画像を保存するファイル名の形式を「日付と時刻」か「番号」から選択します。「日付と時刻」は、ファイルが作成された日付と時間に従ってファイル名を作成します。「番号」を選択すると保存した順に番号でファイル名を作成します。

### 画像ファイルの取り扱いを選択する

OCR認識後にファイルを保存するかどうかを選択できます。

1. OCRウィンドウでメニューキーを押してOCRメニューを開きます。
2. 上下キーを使い「スキャンオプション」に移動し、OKを押します。
3. スキャンオプション内で、上下キーで「画像ファイルの保存」に移動します。
4. 左右キーで、「はい」　か「いいえ」を選択してOKで決定してください。「はい」に設定すると撮影した画像ファイルを保存し「いいえ」に設定すると撮影した画像ファイルを都度削除します。

### ファイルを削除する

OCRメニューの「画像ファイルをすべて削除」 または 「テキストファイルをすべて削除」を使用して、今までにOCR機能で撮影および認識したファイル を削除します。

1. OCRウィンドウでメニューキーを押しOCRメニューを開きます。
2. 上下キーで「すべての画像ファイルを削除」または「すべてのテキストファイルを削除」に移動し、OKを押します。
3. 「削除しますか？」と確認を求められます。左右キーで「はい」か「いいえ」を選択してOKで実行してください。

注意：この機能は、OCR機能によって取り込まれたすべてのファイルを削除します。個別にファイルを削除したい場合はファイル管理からフラッシュディスクのOCR フォルダへアクセスして不要なファイルだけ削除することが可能です。

## OCRスタンドの組み立て

OCRスタンドは、OCRに最適な位置・高さからA4以下のサイズの用紙をOCR撮影ができるように設計されています。

OCRスタンドの土台はA4サイズの短辺の長さとほぼ同じ長さです。A4サイズの用紙を読ませる際は短辺側がスタンドの柱に着くように用紙を置いてください。文字の向きは上下どちらでも読み取り可能です。

OCRスタンドは、土台、柱、トレイの３種類の金属パーツを組み立てて使用します。

以下OCRスタンドを組み立てる手順です。

1. 長方形の土台プレートを、机など平面に置きます。
2. ボルトとナットが付いた長い板状の柱プレートから、2個のナットを緩めて外します。
3. 土台プレートの穴に柱プレートのボルトを通してナットで固定します。
4. センスプレーヤーを乗せるトレイのプレートを柱プレート上部のボルトに接続しナットで固定します。

※OCRスタンドはセンスプレーヤーライトには付属しません。

# メディアプレーヤー

## 対応するメディアファイル

センスプレーヤーは下記のメディアフォーマットに対応しています。

1. MP3 320 Kbps, 44100 Hz, Stereo
2. MP4-AAC, M4a
3. Wave 16bit 48000Hz
4. Ogg Vorbis
5. ASF
6. FLAC 16 bit Q1 & Q10
7. Avi
8. WMA
9. WMV
10. WOV

## オーディオファイルの再生

ホームメニューからメディアの再生をするには、５キーを押すか、下キーで「メディアプレーヤー」を選択しOKを押します。

※センスプレーヤーライトの場合はホームメニューで４を押してください。

初めてメディアプレーヤーを使用する場合、どのファイルまたはフォルダを再生するか選択する「エクスプローラー」が起動します。メディアプレーヤーのエクスプローラーは再生可能なファイルまたはフォルダのみしか表示しません。

メディアプレーヤーを過去に使用したことがある場合、メディアプレーヤーを実行すると自動的に前回再生したファイルの終了した位置から再生します。

OKを押すと「再生/一時停止」として機能します。

キャンセルキーを押すとメディアプレーヤーを終了してホームメニューへ戻ります。

## 再生中のファイル情報

再生中のファイル情報は０キーで取得できます。上下キーで情報の項目を移動し、左右キーで情報を１文字読みします。

０キーを押すと下記の情報を読みあげます。

1. ファイル名: 現在のファイル名とファイル形式
2. 現在位置：現在のファイルの再生経過時間
3. 全体時間：現在のファイルの総再生時間
4. カレントプレイリストタイム：現在のプレイリストの再生経過時間
5. トータルプレイリストタイム：プレイリストの総再生時間
6. 現在のトラック番号：現在のプレイリストに基づいたトラック番号
7. 総トラック数：現在のプレイリストの総トラック数
8. マーク情報：現在のファイルに付いているマークの数。マークがない場合マーク情報は読み上げません。

ファイル情報ダイアログの終了には、OKまたはキャンセルキーを押してください。

## トラック・その他移動単位ごとの移動

フォルダごと音楽データを再生した場合、左右キーでトラック間の移動ができます。右キーは次のトラックへ、左キーは前のトラックへ移動します。

左右キーの移動単位は上下キーで変更できます。１トラックずつ、５トラックずつ、１０トラックずつ、最初または最後のトラック、先頭または末尾、５秒から１時間まで設定可能な時間移動単位など様々な移動単位を選択できます。

マークが設定されている場合はマーク毎の移動も選択できます。

上下キーで移動単位を設定後、左右キーを押すと設定した単位で前後に移動します。

左キーまたは右キーを長押しすると、押し続けた時間によって移動時間を変える事ができます。長押しすると時間を読み上げるので移動したい時間を読み上げたところで長押しを止めてください。指定した時間まで再生位置を移動します。

また、１キーと７キーはプレイリストの先頭と末尾へ移動します。３キーと９キーは設定されたトラック数移動します。３キーと９キーで移動するトラック数はメディアプレーヤーの設定で変更できます。

### トラックやその他の移動単位で移動する

メディアプレーヤーを開いている間、左右キーを使ってトラック単位で前後に移動することができます。右を押すと次のトラックに移動し、左キーを使うと前のトラックに移動します。

上下キーを使って、5トラック、10トラック、先頭または最終トラックへ移動、先頭または末尾へ移動、5秒から1時間までのいくつかの時間移動オプションなど、他の移動単位を選択することができます。マークが設定されている場合は、マーク単位の移動も利用できます。再生中のファイルにチャプターマークアップが含まれている場合は、チャプター移動単位も表示されます。移動オプションを選択したら、左右の矢印を使って、選択した時間またはトラック単位で前後に移動します。

\*注：現在1つのトラックだけを再生している場合、トラックの移動単位は自動的に上下キーのリストから削除されます。その場合、デフォルトの移動単位は1トラック移動から30秒移動に変わります。

利用可能なすべての移動単位、特にあまり使わない移動単位をナビゲートするのは面倒だと感じるかもしれません。メディアプレーヤーのメニューにある「移動単位設定」項目を使って、再生中に上下キーで切り替える移動単位リストをカスタマイズすることができます。「移動単位の設定」ダイアログで、上下キーを使って利用可能な移動単位を移動し、左右の矢印を使って表示中の移動単位をオンまたはオフに設定します。オフに設定すると、再生中に利用可能な移動単位リストから削除され、頻繁に使用する移動単位の使用がより効率的になります。

マークとチャプターの移動単位は、ファイルに存在する場合のみ表示されるため、このダイアログでは設定できません。

再生中に左キーや右キーを押し続けると、累積時間移動オプションで前進または後退します。

キーを長く押すほどタイムジャンプは大きくなり、希望のタイムジャンプが通知されたタイミングで、矢印キーを離すと選択した時間経過した位置に移動します。

\*注：フォルダ／プレイリストを再生している場合、上記の方法で時間要素を移動すると、現在のトラックだけでなくプレイリストにも適用されます。

次のセクションで説明する「時間指定移動」と「パーセンテージ移動」オプションを使うと、再生中のトラック内だけを移動することができます。

また、数字キーの1と7を使ってプレイリストの最初と最後のトラックに移動し、3と9を使ってプレイリストの設定されたトラック数だけ前後に移動することができます。3と9が何トラック分移動するかは、メディアプレーヤー設定で指定できます。デフォルトでは5トラック移動に設定されています。

## 特定の場所へ移動

上記で説明した様々な移動方法に加え、ファイルまたはプレイリスト内の特定の場所に移動することもできます。

### 再生時間を指定して移動

特定の再生時間まで移動するには２キーを押します。経過時間・総時間を読み上げ、移動したい位置の時間を入力するエディットボックスを表示します。

時間指定は6桁の数字で入力します。最初の2桁は時間、次の2桁は分、最後の2桁は秒数です。例えば、現在のトラックの5分20秒の再生位置に移動したい場合、000520と入力します。

指定の時間の入力が完了し、OKを押すと指定した時間から再生されます。

この機能はメニューから実行することもできます。その場合、メニューキーを押し、下キーで「指定した時間へ移動」を選択し、OKを押します。または、メニューを開いた状態で２キーを押します。

### パーセントで移動

ファイルの特定の場所へパーセンテージに基づいて移動したい場合は再生中に５キーを押します。現在位置のパーセンテージを読み上げ、エディットボックス内で移動したいパーセンテージ位置の入力を求められます。キーパッドを使い、移動したい位置のパーセンテージを入力し、OKを押します。すると入力したパーセンテージ位置から再生します。

この機能は、メニューから実行することも可能です。メニューキーを押し、下キーで「パーセント移動」を選択し、OKを押します。または、メニューを開いた状態で５キーを押してください。

### 特定のトラックへの移動

プレイリスト内の特定のトラックへ移動したい場合は、再生中に８キーを押します。現在のトラック番号と総トラック数を読み上げ、エディットボックス内で移動したいトラック番号の入力を求められます。 キーパッドを使い、移動したいトラック番号を入力し、OKを押します。すると入力したトラック番号から再生します。

この機能は、メニューから実行することも可能です。メニューキーを押し、下キーで「トラック移動」を選択し、OKを押します。または、メニューを開いた状態で８キーを押してください。

## メディア再生設定

再生音量、再生速度、イコライザー、シャッフル・リピート再生などの設定が可能です。

### 音量、速度、イコライザーの設定

音声コントロールボタンを使ってメディアのボリューム、速度、イコライザーの設定が可能です。

ボリューム：

メディアの再生音量を1から10の値で設定します。

速度：

再生速度を-2から8の間で設定します。0が本来の速度です。

イコライザー：

再生中のオーディオファイルの種類によって、イコライザー設定から音の性質を変更することができます。設定可能なイコライザーは自動、ノーマル、クラシック、ダンス、フラット、フォーク、ヘビーメタル、ヒップホップ、ジャズ、ポップ、ロックです。

イコライザー設定はメニューからも設定可能です。

メニューキーを押し、メディアプレーヤーのメニューを開きます。上下キーで「エフェクト設定」へ移動し、OKを押してください。すると「エフェクト設定」ダイアログが開きます。イコライザーと表示しますので左右キーを使いイコライザーを選択してください。OKを押し設定を保存します。キャンセルキーを押すと設定を変更せずにイコライザー設定ダイアログを終了します。

【参考】音声コントロールボタンを押して調整する設定を選び、＋ボタンで値を増やし、－ボタンで値を減らします。

例えば、再生スピードを変更するには、音声コントロールボタンを押して速度に移動します。そして、+ボタンと－ボタンで速度の値を調整します。

約5秒間操作せずにおくと音声コントロールはボリュームに戻ります。その際には、短いビープ音が鳴ります。

### シャッフル再生のオン/オフとリピート再生

初期設定では、メディアプレーヤーは、トラックの表示順に再生しますが、 トラックをシャッフルし、ランダムに再生することが可能です。

シャッフル再生のオン/オフは、再生中または停止中に４キーを押します。４キーを押すたびに、「シャッフルオン」または「シャッフルオフ」の音声が流れ、設定が切り替わります。

初期設定では センスプレーヤーは、プレイリスト内のトラックを全て再生し終わると停止します。もしプレイリストの曲が一曲だけであれば、それで終わってしまいます。

現在のトラックを一曲リピート再生、または、プレイリスト内トラックを全てリピート再生するようにメディアプレーヤーを設定できます。

リピート設定には、再生中または停止中に６キーを押します。６キーを押すたびに、「リピート再生：ファイル」、「リピート再生：全て」または、「リピート再生：オフ」と読み上げ、設定が切り替わります。

### エフェクト設定

エフェクト設定を確認または変更する場合、メディアプレーヤーのメニューを開き「エフェクト設定」でOKを押します。

上下キーで、ダイアログ内にある設定を選択します。左右キーで、設定を変更します。

エフェクト設定では以下の項目を設定します。

1. イコライザー：再生中のオーディオファイルの種類によって、イコライザー設定から音の性質を変更することができます。

設定可能なイコライザーは自動、ノーマル、クラシック、ダンス、フラット、フォーク、ヘビーメタル、ヒップホップ、ジャズ、ポップ、ロックです。 イコライザー設定は音声コントロールボタンからも設定できます。

1. バスブースト：０～２０から設定します。低音を強調します。
2. 振動：オンとオフから設定します。音源に合せて本体が振動します。

### 環境設定

メディア設定を確認または変更する場合、メディアプレーヤーのメニューを開き、「環境設定」でOKを押すかメニュー内で＊キーを押します。

上下キーで、ダイアログ内にある設定を選択します。左右キーで、設定を変更します。

環境設定では以下の項目を設定します。

1. タイトル表示：オン/オフを選択します。
2. 表示時間：経過時間、残り時間から選択します。
3. 選択したトラックの反復再生回数：1～10回、無制限から選択します。
4. シャッフル：オン/オフを設定します。
5. リピート再生：オフ、ファイル、全てから選択します。
6. 自動ブックマーク：オフ、5分、10分、30分、60分、常にオンから選択します。
7. プレイリストの総時間を使う：オン/オフを設定します。
8. 移動するファイル数：左右キーで 5, 10, 15, 20,25から選択します。
9. マークの警告：メッセージ、ビープ、使用しないを選択します。

OKを押し設定を保存します。キャンセルキーを押すと、変更を保存せずに設定を終了します。

## マーク

再生時間が長い講演会の録音やデータや本などのオーディオファイルでは、特定の位置にマークを付けると、後々再確認できるので便利です。

マーク、ハイライトマークを使って、マークをつけることが可能です。

最大999個のマークを付けることが可能です。

マークの種類が異なっても同じマーク番号はつきません。例えば、同じ5番のマークとハイライトマークは同時につけられません。マーク番号は、種類が異なっても1から999の中から番号がつけられます。

### マークの挿入

下記の手順でマークを挿入します。

1. コンテンツ内のマークを挿入したい地点で、＃キーを押してください。
2. マーク管理が起動し、「マーク設定」と読み上げます。
3. OKを押すと未設定のマーク番号が若い番号から順に自動的に設定されます。

キャンセルキーを押すとマーク設定を中止します。

### ハイライトマークの挿入

下線を引くように、コンテンツの一部をハイライトすることが可能です。

下記の手順でハイライトマークを挿入できます。

1. マークしたい地点で、＃キーを押してください。
2. マーク管理が起動し、「マーク設定」と読み上げます。
3. 下キーを押し「先頭位置の設定」と読み上げたらOKを押してください。
4. マークの開始位置は、現在位置が設定され、再生が続きます。
5. 再生がハイライトマークを終了したい位置まで来たら、＃ボタンを押してください。「マーク設定」と読み上げるので下キーを押し「末尾位置の設定」へ移動します。
6. OKを押すとマークを保存します。

キャンセルキーを押すと、マーク設定を中止します。

### マークへ移動する

マークへ移動するには2つの方法があります。再生中に「マーク」へ移動する方法か、マーク管理から移動したいマークを指定する方法です。

マークの数が少ない場合はマークを順番に移動する方法が簡単ですが、データにたくさんのマークが付いている場合は指定して移動した方が便利です。

下記の手順で再生中にマークへ移動します。

1. 上下キーで「マーク」を移動単位として選択します。
2. 左右キーを押すと、ファイル内のマーク間を移動します。

下記の手順でマーク管理を使ってマークへ移動します：

1. 再生中に＃キーを押してください。
2. マーク管理が起動し、「マーク設定」と読み上げます。
3. 上下キーを何度かおして「マークへ移動」を選択し、OKを押してください。
4. 移動したいマーク番号の入力を求められます。数値キーで移動したいマークの番号を入力してください。
5. OKを押すと、指定したマーク位置から再生が始まります。

キャンセルキーを押すとマーク設定を中止します。

### マークの削除

下記の手順でマークを削除します。

1. 再生中にOKを押してください。
2. マーク管理が起動し、「マーク設定」と読み上げます。
3. 上下キーを何度か押して「マークの削除」を選択し、OKを押してください。
4. 削除したいマーク番号の入力を求められます。数値キーで削除したいマーク番号を入力してください。
5. OKを押すと指定したマークが削除されます。

キャンセルキーを押すとマーク設定を中止します。

## エクスプローラーの使用

エクスプローラーを使って、センスプレーヤー内に保存されている、特定の楽曲、アルバム、ポッドキャストファイルの確認、再生が可能です。エクスプローラーは、4章で説明したファイル管理と似ていますが、こちらはメディアプレーヤーで再生可能なファイルやフォルダのみを表示します。加えて、コピーや解凍、削除などのファイル管理機能は使用できません。

フォルダとファイルがリスト表示されるので、簡単にメディアファイルへの移動が可能です。

メディアコンテンツを含むファイル・フォルダへ移動する方法を説明します。まず、メディアプレーヤーを起動中に数字の０キーを長押ししてください。すると、現在再生中のファイルが保存されているファイル・フォルダリストに移動します。エクスプローラーを使用中にキャンセルキーを押すと、エクスプローラーを開始した再生位置に戻ります。

### 一般ナビゲーション

下記のキーストロークで、エクスプローラー使用中に、項目を移動します。

上下キー：ファイル・フォルダリスト内を移動。

左キー：フォルダの一つ上の階層へ移動。

右キー：フォルダ・ファイルの一つ下の階層へ移動。

OK：指定したファイル・フォルダを再生/一時停止。

＃キー：ルートディレクトリへ移動。

１キー：リストの先頭へ移動。

７キー：リストの末尾へ移動。

３キー：25項目上へ移動。

９キー：25項目下へ移動。

２キー：カレントディレクトリのファイルリストとフォルダリスト間を移動。

４章のファイル管理で紹介したように０キーを使って複数項目を同時に選択することが可能です。また、４キー、５キー、６キーを使ってファイル管理同様にファイル名やフォルダ名を確認できます。

特定フォルダ内の音声データを全て再生したい場合はフォルダ名を表示した状態でOKを押してください。フォルダ内全ての音声データがプレイリストに追加され再生を開始します。

## プレイリストとオーディオブック

ファイルやフォルダ全体を選択して再生することは簡単ですが、選択したすべての項目をプレイリストとして保存し、後で同じファイルグループに簡単にアクセスできるようにしたい場合があります。

この場合、保存したいプレイリストの再生中にメディアプレーヤーのメニューを開き、「プレイリストに名前を付けて保存」オプションを選択します。ファイル名を入力するプロンプトが表示され、編集ボックスに入ります。選択したテキスト入力方法でファイル名を入力し、「OK」を押してください。

プレイリストは再生中の音声データと同じドライブの「Music」フォルダに保存されます。

保存したプレイリストを再生するには、ファイルマネージャーまたはメディアプレーヤーのエクスプローラーからプレイリストファイルを選択します。

選択したファイルを既存のプレイリストに追加するには、追加したいプレイリストを開き、メディアプレーヤーのメニューで 「ファイル追加」を選択します。エクスプローラーで追加したいファイル/フォルダを選択します。OKを押すと、新しく選択したファイルがプレイリストに追加されます。

オーディオブックを聴くとき、音楽データのプレイリストを再生するときとは異なる動作が求められます。デフォルトでは、Androidはセンスプレーヤーのフラッシュディスクと接続されたSDカードまたはUSBドライブに 「Audio Books」フォルダを作成します。「Audio Books」フォルダにファイルをコピーし、再生するためにそれらを選択すると、メディアプレーヤーメニューには通常の「プレイリストとして保存」ではなく、「オーディオブックとして保存」を表示します。

ファイルのグループをオーディオブックとして保存すると、マークの作成、時間とパーセンテージの移動などの点で、プレイリスト全体が1つのファイルとして扱われます。さらに、シャッフルやリピートなどのオプションは、オーディオブックを再生するときには一般的に意味をなさないため、これらのプレイリストでは使用できません。

オーディオブックを再生する場合、再生終了時に「保存位置」の設定に関わらず、プレイリスト全体における終了位置を記憶します。

「Audio Books」フォルダ内の音声データを再生中に、左キーを1回押すと現在のトラックの先頭に、2回続けて押すと前のトラックに移動します。

「Audio Books」フォルダ内以外の音声データを再生している場合は、従来通り、1回押すと前のトラックに移動します。

注意：「オーディオブックとして保存」機能は、オーディオブックフォルダからコンテンツを再生することを選択した場合にのみメニューに表示されます。Music、またはデバイス上の他のフォルダからメディアを選択すると、「プレイリストとして保存」オプションが表示されます。

オーディオブックとして再生する場合は、フラッシュディスク、SDカード、またはUSBドライブのAudio Booksフォルダにデータを保存する必要があります。

オーディオブックプレイリストは、オリジナルファイルと同じディスクのAudio Bookフォルダに表示され、マークや終了位置などはオリジナルのデータではなく、オーディオブックプレイリストに関連付けられます。

そのためオーディオブックに戻るときは、元のメディアコンテンツフォルダではなく、保存したオーディオブックプレイリストにアクセスしてください。

# 文書リーダー

文書リーダーは以下の文書ファイルに対応しています。

文書ファイル

1. テキストファイル：txt
2. リッチテキスト：rtf
3. マイクロソフトワード文書ファイル：doc/docx
4. Webページ記載用のマークアップ言語：HTM/HTML/XML
5. センス文書：hbl/hpf
6. 電子書籍：EPUB
7. Adobe文書：PDF

※文書リーダーが対応できるPDF形式のファイルはテキスト情報が埋め込まれているものに限ります。画像から作成された文書を読み上げる場合はOCR機能をご利用ください。

※センスプレーヤーライトはOCR機能非搭載です。

## コンテンツの選択と再生

文書リーダーはホームメニューで６キーを押すと起動します。または、ホームメニューを開いてから、上下キーを押して「文書リーダー」と読み上げたところでOKを押しても実行できます。

※センスプレーヤーライトの場合はホームメニューで５を押してください。

前回再生していた文書があった場合は、前回閲覧途中の位置から再生を再開します。初めて文書を再生する場合はエクスプローラー画面が開きます。読みたいデータを選択して再生することができます。

再生中にOKを押すと再生を一時停止することができます。再度OKを押すと再生を再開します。キャンセルキーを押すとコンテンツの再生を取り消してホームメニューに戻ります。文書の再生を終了した場所は自動的に保存されます。次回文書リーダーを使用すると、前回再生中だった場所から再開します。

また、デリートキーを長押しすると最終閲覧位置とマーク情報を削除して文書リーダーを終了します。

## ナビゲーション

文書リーダーはいくつかの移動単位ごとに文書内を移動できます。上または下キーを押して移動単位を選択します。左または右キーを押して選択した移動単位で前後に移動します。

移動単位には、先頭または末尾、ページ、段落、文、行、単語、文字、詳細読みが含まれます。フォルダ全体を再生することを選択した場合、または複数のファイルを選択した場合、移動単位のオプションに「コンテンツ」項目が表示され、開いているファイル間を移動するために使用することができます。マークが設定されている場合は、「マーク」も移動単位として使用できます。

DAISYプレーヤーやメディアプレーヤーと同様に、文書リーダーのメニューにある「移動単位設定」ダイアログを使って、上下キーで循環する移動単位をカスタマイズできます。なお、マークと見出しの移動単位はファイルに存在する場合にのみ表示されるため、このダイアログでは設定できません。

## 指定移動

前述の移動方法に加えて、図書データ内で指定した位置に移動することができます。

パーセンテージで移動

パーセンテージを指定して移動したい場合、データ再生中に５キーを押してください。文書の末尾を100％とした場合の現在位置をパーセンテージで表示し、移動したいパーセンテージの入力エディットボックスが開きます。キーパッドを使って移動したい位置のパーセンテージを入力してください。入力後OKを押すと指定したパーセンテージの位置から再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「パーセンテージで移動」と読み上げたらOKを押してください。

指定ページ移動

図書データ再生中にページを指定して移動したい場合、再生中に６キーを押してください。現在位置のページ番号と全体のページ数が表示され、移動したいページ番号の入力エディットボックスが開きます。キーパッドを使って移動したい位置のページ番号を入力してください。入力後OKを押すと指定したページから再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「ページ指定移動」と読み上げたらOKを押してください。

文書再生中に以下のキーストロークを実行するとそれぞれの移動が可能です。

１キー：図書や文書の先頭へ移動

７キー：図書や文書の末尾へ移動

３キー：前のページへ移動

９キー：次のページへ移動

## 検索

検索機能で文字列検索を使用できます。文字列検索は以下の手順で行います。

文書データ再生中に８キーを押してください。

1. エディットボックスが開きますので、検索したい文字列を入力してOKを押してください。
2. 入力した文字列が、文書内で一致した場合現在位置から一番近い位置の一致した文字列へ移動します。文字列が一致しなかった場合「見つかりません」と読み上げ、検索文字列入力エディットボックスへ戻ります。

＃キーを押すことで記号、数値、アルファベット、かなの入力モードが切り替わります。文字入力の方法については「3.7.3エディットボックスの文字入力」をご参照ください。デリートキーを短く押すとひとつ前の文字を削除します。デリートキーを2秒以上長押しするとエディットボックス内の文字を全て削除します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューキーを押してメニューを開き、下キーを押して「検索語」と読み上げたらOKを押してください。またはメニューを開いた状態で８キーを押しても文字列検索を実行します。

　※漢字を含む文字列の検索はできません。「かな」を使った場合「かな」のみの検索となります。

文字列検索実行後、再生中に上下キーを押して選択する移動単位として「検索」が選択できるようになります。「検索」を選択して左右キーを押すと前後の検索結果へ移動できます。

## 閲覧中の文書の情報確認

文書の再生中に０キーを押すと、現在再生中のデータ情報を確認することができます。表示できる情報は再生しているデータの種類によって異なります。

タイトル：再生中の文書のタイトルを読み上げます。

現在のページ：現在のページと総ページ数を読み上げます。

マーク情報：再生中のデータに設定されているマーク数を読み上げます。マークが設定されていない場合、マーク情報は表示しません。

パーセンテージ：現在の位置が文書全体の何パーセントか表示します。

## マーク

図書の特定箇所にマークを付ける事で、簡単に後から読み返したい場所を探すことができます。

最大999個のマークを設定することができます。マークは自動的に番号が割り振られ、その番号は重複しません。

### マーク設定

以下の方法でマークを設定します。

1. マークを付けたい箇所で＃キーを押してください。
2. マーク管理メニューが開き、「マーク設定」と表示します。
3. OKを押してください。自動的に若い番号からマークに番号が付与されます。

キャンセルキーを押すとマーク管理を終了することができます。

### マークへ移動

挿入したマークへ移動する方法は2つあります。ひとつは再生中にマーク単位で前後に移動する方法。もうひとつはマーク管理を使ってマークを指定して移動する方法です。

マークの数が少ない場合はマークを順番に移動する方法が簡単ですが、データにたくさんのマークが付いている場合は指定して移動した方が便利です。

マーク単位で移動する方法は以下の通りです。

1. 再生中に上下キーを押して移動単位をマークに設定してください。
2. 次に左右キーを押してマーク単位で移動します。右キーは次のマークへ、左キーは前のマークへ移動します。

マーク管理を使ってマークを指定して移動する方法は以下の通りです。

1. 再生中に＃キーを押してください。
2. マーク管理が開き、「マーク設定」と読み上げます。
3. 次に「マーク移動」と読み上げるまで下キーを押したらOKを押してください。
4. 移動したいマーク番号を指定するためのエディットボックスが開きます。
5. 移動先のマーク番号を入力してください。
6. OKを押すと指定したマークへ移動してデータを再生します。

途中でマーク管理を終了したい場合はキャンセルキーを押してください。

### マーク削除

以下の手順でマークを削除します。

1. データ再生中に＃キーを押してください。
2. マーク管理が開き、「マーク設定」と読み上げます。最初のメニュー項目です。
3. 次に「マーク削除」と読み上げるまで下キーを押したらOKを押してください。
4. 削除したいマーク番号を指定するためのエディットボックスが開きます。
5. 削除したいマーク番号を入力してください。
6. OKを押すと入力した番号のマークを削除します。

途中でマーク管理を終了したい場合はキャンセルキーを押してください。

## 音量と速度の設定

音声コントロールボタンと＋ボタン－ボタンを使って読み上げボリューム、速度、高さを調整する事ができます。

音声コントロールボタンを押すたびに設定項目が切り替わります。＋ボタンとーボタンで調整してください。５秒間操作をしないと自動的に設定をキャンセルします。

## エクスプローラー

エクスプローラー機能で再生したい文書データを探すことができます。

### エクスプローラーの実行と終了

図書の再生中に０キーを長押しするとエクスプローラーを実行します。エクスプローラーが開くと図書データが保存されたフォルダのリストが表示されます。エクスプローラーを終了する場合はキャンセルキーを押してください。

エクスプローラーは4章で説明したファイル管理とよく似ていますが、文書リーダーで再生可能なデータやフォルダだけを表示します。また、エクスプローラーではファイル管理のように、データをコピーしたり、zipファイルを展開したり、データを削除したりすることはできません。

### エクスプローラーの操作

エクスプローラーでは以下のキーストロークで操作することができます。

上下キー：ファイル・フォルダリスト内を移動。

左キー：フォルダの一つ上の階層へ移動。

右キー：フォルダ・ファイルの一つ下の階層へ移動。

OK：指定したファイル・フォルダを再生。

＃キー：ルートディレクトリへ移動。

１キー：リストの先頭へ移動。

７キー：リストの末尾へ移動。

３キー：25項目上へ移動。

９キー：25項目下へ移動。

２キー：カレントディレクトリのファイルリストとフォルダリスト間を移動。

４章のファイル管理で紹介したように０キーを使って複数項目を同時に選択することが可能です。また、４キー、５キー、６キーを使ってファイル管理同様にファイル名やフォルダ名を確認できます。

## 文書設定

文書閲覧に関するオプションを設定できます。

以下設定の手順です。

1. メニューキーを押して文書リーダーのメニューを開いてください。
2. 次に上下キーを押して「設定」の項目へ移動してください。
3. 「設定」と読み上げたらOKを押して実行してください。

または文書再生中に＊キーを押しても「設定」を実行できます。

以下設定項目です。

速度設定：再生速度を１～１２に設定

トーン設定：トーンを１～１０に設定

ボリューム設定：ボリュームを１～１０に設定

自動再生：オフ/オンから設定

マークの警告：メッセージ/ビープ/未使用から設定

空行を飛ばす：オン/オフから設定

上下キーで設定したい項目を選択し、左右キーで各項目の設定値を調整します。

OKを押すと設定を保存します。キャンセルを押すと設定を保存せずに設定ダイアログを終了します。

設定の「読み上げ速度」、「トーン」、「ボリューム」はコンテンツ再生中に調整することができます。

※同じ設定を本体側面の音声コントロールボタンで設定することも可能です。

# ラジオ

ラジオは、76MHzから108MHzの周波数の放送局にチューニングできます。

【注意】ラジオの電波を受信するためには、アンテナとしてヘッドホンケーブルやオーディオパッチコードを接続する必要があります。本体のヘッドホンジャックにヘッドホンもしくはオーディオのパッチコードを接続してください。

## ラジオの再生

ラジオを再生するには、ホームメニューから上下キーで「ラジオ」を選択し、OKを押してください。または、ホームキーを押して、７キーを押してください。

※センスプレーヤーライトの場合はホームメニューで６を押してください。

もしも、ラジオの電波を受信できていない場合は、次の点を確認してください。

1. ヘッドホンジャックに、ヘッドホンやオーディオのパッチコードが接続されているか確認してください。
2. 放送局を受信できない場合、左キーあるいは右キーを長押しして周波数を調整してください。
3. 場所や環境によっては、ラジオの受信ができない場合もあります。

ラジオをミュートにするには、OKを軽く１回押してください。ラジオの再生を再開するには、もう一度OKを軽く押してください。ラジオ再生を終了し、ホームメニューに戻るには、キャンセルキーを押してください。

## 周波数の変更

左キーあるいは右キーで、0.05MHzずつ受信周波数を変更できます。受信可能な周波数は、76MHzから108MHzの間です。

自動的に放送局を検出するには、左キーあるいは右キーを長押ししてください。

## 放送局のチャンネル登録

いつも聴く放送局が決まっている方は、ラジオメニューを開くたびに周波数の調整をすることが面倒に感じるかもしれません。そのようなときは、お気に入りの周波数を登録することができます。登録したい周波数にチューニングした状態で、１キーから６キーの中のひとつを長押しすると、その周波数が登録されます。既に登録されている周波数がある場合は、上書き保存をするか確認されるので、左キーあるいは右キーを使って「はい」か「いいえ」を選び、OKを押してください。

周波数登録後は、ラジオ実行中に対応する数字キーを押すことで、すぐにその周波数に移動できます。

### 放送局の自動スキャン

現在受信できるすべての放送局を自動登録することができます。ラジオを実行した状態で、０キーを押します。すると、周辺の放送局を自動的に探索し、検出された放送局が登録されます。

登録された周波数を選択するには、上キーと下キーを使用します。いちばん最後に登録された周波数に到達し、もう一度下キーを押すと、いちばん最初に登録された周波数に戻ります。また、周波数の数字が小さい順に自動的に１から６のチャンネルに登録されます。

登録を消去する場合は、対象の周波数に合わせ、デリートキーを押してください。

### 周波数を指定して移動

特定の周波数に移動するには、ラジオ再生中に８キーを押した後、その周波数を入力し、OKを押します。小数点を入力するには、１キーを長押しします。

## 内蔵スピーカーの使用

メニューキーを押して、上下キーで「外部スピーカー出力」を選択してください。OKを押すと本体スピーカーからも音が出ます。イヤホンからのみ音を出したい場合は再度同じ動作を行ってください。

または９キーを押してもスピーカーを切り替える事ができます。

## ラジオ放送の録音

再生しているラジオを録音するには、録音ボタンを２秒間長押ししてください。録音が開始されると、録音設定で設定した方法で、録音開始を通知します。

録音を一時停止したいときは、録音ボタンを軽く１回押します。録音を再開するには、録音ボタンをもう一度押します。録音を停止し、保存する際は、OKを押します。また、「録音設定」で設定した方法で録音が完了したことを通知します。

録音を取り消す場合は、キャンセルキーを押します。録音を本当にキャンセルするか確認されるので、左右キーで「はい」か「いいえ」を選択しOKで決定してください。

録音されたファイルは、フラッシュディスクのmusicフォルダ内のradioフォルダに保存されます。

録音データのファイル名は周波数と録音日時が使用されます。

以下、FMラジオの録音設定の手順です。

1. メニューキーを押して、ラジオメニューを開きます。
2. 上キーあるいは下キーで「録音設定」を選び、OKを押します。
3. 「録音設定」のダイアログが開いたら、上下キーで設定項目を選び、左右キーで設定を変更します。

「ラジオ録音設定」の設定項目は以下の通りです。

録音形式：WAV　/　Mp3から選択

サンプルレート：8,000Hz、16,000Hz、22,050Hz、24,000Hz、32,000Hz、44,100Hz、48,000Hzから選択

ビットレート：128k、160k、192k、224k、256k、320kから選択

録音の通知：メッセージ、ビープ、未使用から選択

録音フォルダ：ラジオ録音時の保存先を本体フラッシュディスクまたはSDカードやUSBメモリに設定

設定変更後OKを押すと設定を保存します。取り消す場合はキャンセルキーを押して終了してください。

【 注意事項 】

録音した音声の個人的な視聴の範囲を超えた利用は著作権法で禁止されています。また、個人的に使用する目的であってもラジオ録音したデータを再アップロードすることは著作権法違反になりますので十分にご注意ください。

# ウェブラジオ

ウェブラジオは、FM電波を受信するFMラジオとは違い、インターネット接続を介したラジオ機能です。ウェブラジオを使用するには、センスプレーヤーをネットワークに接続する必要があります。

## ウェブラジオの実行と終了

ウェブラジオを実行するには、ホームメニューにて上下キーで「ウェブラジオ」に移動しOKを押してください。また、８キーを押すとホームメニューからウェブラジオをすばやく起動することができます。

※センスプレーヤーライトの場合はホームメニューで７を押してください。

ウェブラジオを起動すると、センスプレーヤーは本体に保存されているウェブラジオ局のチャンネル一覧を作成します。

チャンネル一覧の作成が完了すると、リストの最初のチャンネルを表示します。上下キーでチャンネル一覧から聴きたいチャンネルを選択しOKを押してください。次回以降ウェブラジオを起動すると最後に聴いたチャンネルを表示します。

再生中にキャンセルキーを押すとチャンネル一覧に戻ります。チャンネル一覧からキャンセルキーを押すとウェブラジオを終了しホームメニューに戻ります。

もしもウェブラジオが再生されない場合は、以下をご確認ください。

1. インターネットに接続されていることを確認してください。
2. センスプレーヤーのWebradioフォルダに適切なWeb Radioチャンネルのプレイリストのアドレスが保存されていることを確認してください。センスプレーヤーはm3uとPLSのラジオプレイリストをサポートしています。
3. ウェブラジオのURLが有効でないか、サーバーに一時的な問題が発生している可能性があります。ウェブラジオ局はURLを変更することがあり、その際はウェブラジオチャンネルのURLを確認し、正しいURLへの変更が必要です。11.3で説明するデータベースの更新を行うことで改善する場合があります。

## チャンネルの移動

再生中は左右キーでウェブラジオのチャンネルを１件ずつ移動します。チャンネルを移動すると、センスプレーヤーは現在聴いているチャンネルの再生を停止し移動先のチャンネルの再生を開始します。チャンネルを指定して移動したい場合は、キャンセルキーを押し、チャンネル一覧の中から目的のチャンネルを選択してOKを押してください。

チャンネル一覧からチャンネルを削除するには、デリートキーを押します。「○○（チャンネル名）を削除しますか？はい」と読み上げるので、OKを押すと、現在のチャンネルが一覧から削除されます。「削除完了」とアナウンスしチャンネル一覧に戻ります。削除を取り消す場合はOKを押す前に左右キーで「はい」を「いいえ」に切り替えてOKを押してください。

ウェブラジオの再生はリアルタイムで行われるため、保存されたオーディオファイルを再生するときのように、トラック単位や時間単位で移動することはできません。ウェブラジオの再生時の移動単位は、チャンネル一覧を１チャンネルずつ移動、５チャンネルずつ移動、先頭または末尾のチャンネルへの移動です。上下キーで移動単位を選択し、左右キーで移動します。

## ウェブラジオチャンネルの検索

センスプレーヤーでは、2つのウェブラジオデータベースからチャンネルを検索しチャンネル一覧に追加することができます。メニューからチャンネル検索（Radio Browser）か、チャンネル検索（Radio Sure）を実行してください。または８キーを押してチャンネル検索（Radio Browser）を実行、０キーを押してチャンネル検索（Radio Sure）を実行することができます。

検索を行うには、事前にデータベースをダウンロードする必要があります。以下はデータベースをダウンロードする手順です。

1. メニューキーを押してメニューを開く。
2. 下キーを押して「チャンネルデータベースの更新」と表示したところでOKを押して実行。
3. データベースのダウンロードを開始します。完了するとチャンネル一覧へ戻ります。

Radio Browserとは

Radio Browserデータベースは多くのAndroid版ウェブラジオアプリケーションで使用されているオープンソースのデータベースです。Radio Browserのウェブサイトでは、誰でも簡単にデータベースに放送局を追加することができます。そのためRadio Browserのデータベースは頻繁に変更されます。センスプレーヤーのデータベースもこまめに更新することをおすすめします。

同じチャンネルのURLが複数追加されることがあるため、このデータベースでは同一チャンネルが重複することがありますが、世界中の様々なチャンネルを検索できるデータベースです。

Radio Sureとは

Radio Sureデータベースは、Radio Browserと比較すると検索可能なチャンネル数は少ないものの、ジャンル検索が可能であり、目的のチャンネルをジャンルで絞り込んで探したい場合に便利です。Radio SureにRadio Browserにないチャンネルが登録されていることもあります。

メニューからチャンネル検索（Radio Browser）またはチャンネル検索（Radio Sure）でOKを押すと検索モードを表示します。

「カテゴリー」モードと「単語」モードの２つの検索モードが使用できます。左右キーでモードを選択してください。

単語検索

以下単語検索の手順です。

1. メニューキーを押してウェブラジオメニューからチャンネル検索（Radio Browser）またはチャンネル検索（Radio Sure）を選択しOKを押してください。
2. 左右キーで検索モード「単語」を選択し、下キーを押してください。
3. 「検索ワード」エディットボックスへ移動するので検索したい単語を入力して下キーを押してください。
4. 検索を実行し検索結果のラジオ局リストを表示します。

※文字入力の方法は「3.7.3エディットボックスの文字入力」を参照してください。

カテゴリー検索

以下カテゴリー検索の手順です。

1. メニューキーを押してウェブラジオメニューからチャンネル検索（Radio Browser）またはチャンネル検索（Radio Sure）を選択しOKを押してください。
2. 左右キーで検索モード「カテゴリー」を選択し、下キーを押してください。
3. 選択した国のウェブラジオ局で利用可能な言語リストを表示するので左右キーで言語を選択して下キーを押してください。
4. Radio Sureで検索した場合、選択した言語で利用可能なジャンルリストを表示します。左右キーでジャンルを選択して下キーを押してください。
5. 検索を開始し検索結果一覧を表示します。

検索結果一覧で上キーを押すと各カテゴリー選択へ戻ります。選択し直して再度検索が可能です。

検索結果一覧で左右キーを押すと検索結果のチャンネルを表示します。チャンネル名を表示した状態でOKを押すとチャンネル一覧に追加されます。複数のチャンネルを同時に登録したい場合はチャンネル名を表示中に０キーを押して選択状態にしてください。複数チャンネルを選択状態にしてOKを押すと同時にチャンネル一覧に追加されます

キャンセルキーを押すと検索を終了しチャンネル一覧に戻ります。

## らじるらじる

NHKラジオを再生することができます。「らじるらじる」ダイアログボックスでエリアとチャンネルを指定します。

以下再生の手順です。

1. メニューキーを押してウェブラジオメニューから「らじるらじる」を実行してください。
2. 左右キーでエリアを「札幌」、「仙台」、「東京」、「名古屋」、「大阪」、「広島」、「松山」、「福岡」から選択してください。
3. 上下キーで「r1」、「r2」、「FM」を切り替えます。
4. OKで再生を開始します。

## チャンネルリストの整理

チャンネルリストのチャンネルの順番は変更可能です。

順番を変更するには、位置を移動するチャンネルを選択し、２キーを押します。矢印キーで一覧内を移動し、もう一度２キーを押すと選択したチャンネルが現在位置に移動します。

## ウェブラジオの録音

再生しているウェブラジオを録音するには、録音ボタンを1回押してください。録音が開始されると、録音開始を通知します。

録音を終了して保存したいときは、録音ボタンを軽く１回押します。

録音データは本体フラッシュディスクのWebRadioフォルダ内のrecordフォルダに保存されます。

【 注意事項 】

※ラジオ局側の変更等に伴いサービスの終了、変更される場合があります。

※録音した音声の個人的な視聴の範囲を超えた利用は著作権法で禁止されています。 また、個人的に使用する目的であってもラジオ録音したデータを再アップロードすることは著作権法違反になりますので十分にご注意ください。

# ポッドキャスト

ポッドキャストは、個人や組織・団体がRSSと呼ばれる手法で公開するオーディオファイルです。ニュース、政治、音楽、書籍、テクノロジー、料理など、さまざまなトピックが扱われています。ポッドキャストは、ノウハウと機材さえあれば誰でも公開できるため、その選択肢が限りなく多いメディアです。

RSSは「Really Simple Syndication」の略で、更新されたウェブコンテンツを「フィード」を通じて受け取る仕組みです。RSSリーダーやポッドキャッチャーと呼ばれるアプリケーションを通じて購読し、フィードアドレスにアクセスすると、更新された利用可能なコンテンツが表示されるようになります。ユーザは、利用可能なポッドキャストコンテンツを確認し、ポッドキャストファイルをダウンロードするか選択することができます。センスプレーヤーのポッドキャストアプリは、ポッドキャッチャーに分類されます。

## ポッドキャストの実行と終了

ポッドキャストのアプリケーションを開くには、ホームメニューから上下キーで「ポッドキャスト」に移動しOKを押します。またはホームメニューで９キーを押しても実行できます。

※センスプレーヤーライトの場合はホームメニューで８を押してください。

センスプレーヤーが 「フィード一覧を作成中 」とアナウンスし、podcastsフォルダのXMLアドレス、またはOPMLファイルからフィードのリストを作成します。この間ビープ音が鳴ります。インターネットに接続していない場合は、Wi-Fiを設定するかどうか尋ねられます。OKを押すと「ネットワーク設定」ダイアログを表示します。キャンセルキーを押すとWi-Fi接続を確立せずにポッドキャストを起動することができます。

OPMLファイルをpodcastsフォルダに保存してから初めてポッドキャストを開くと、フィードリストの作成に時間がかかります。センスプレーヤーがフィードリストの作成を完了すると「フィードリスト作成完了」とアナウンスしポッドキャストフィードのリストに表示されるようになります。キャンセルキーを押すとポッドキャストを終了しホームメニューに戻ります。

## ポッドキャストの購読

他のアプリケーションからポッドキャストを取り込みたい場合、ポッドキャストのフィードアドレス情報をセンスプレーヤー内蔵フラッシュディスクのpodcastsフォルダに保存する必要があります。podcast.urlという名前のファイルを作成し、ポッドキャストXMLアドレスを直接貼り付けるか、他のポッドキャッチアプリで作成したOPMLをコピーすれば、次にセンスプレーヤーでポッドキャストアプリを開いたときに自動的にポッドキャストを取り込むことができます。

「podcast.url」ファイルはPCのメモ帳などのエディターで作成可能です。以下手順です。

1. エディターで「podcast.txt」という名前の文書ファイルを作成します。
2. ファイル内の１行につき１つのポッドキャストフィードアドレスを記載してください。
3. 作成した「podcast.txt」をセンスプレーヤーのpodcastフォルダ内に保存します。
4. 続けて保存したpodcast.txtの拡張子を.urlに書き換えて、センスプレーヤーのpodcastsフォルダ内にpodcast.urlファイルが保存されている状態にしてください。

「podcast.url」またはOPMLファイルをインポートするには、センスプレーヤーのフラッシュディスクのpodcastsフォルダに保存し、ポッドキャストを起動すれば自動的にインポートされます。OPMLファイルをpodcastsフォルダに保存してから初めてポッドキャストを起動する際には、フィードリストの作成に時間がかかります。

センスプレーヤーから直接ポッドキャストを検索したり、購読したりすることも可能です。

センスプレーヤーでポッドキャストを検索して購読するには、ポッドキャスト起動後に８キーを押して検索ダイアログを開いてください。

ポッドキャスト検索サービスを左右キーで選択し、下を押すとカテゴリーで検索するか、単語で検索するかを選択できます。左右キーでモードを選択し下矢印を押してください。

「単語入力」を選択した場合は検索語を入力し、下キーを押すと検索を実行します。

「カテゴリー」を選択した場合は、左右キーでカテゴリーを選択し下キーを押すと検索を開始します。

検索が完了すると検索結果リストを表示します。左右キーでフィードを選択し、OKを押すとフィードリストに追加されます。複数のフィードを選択して追加する場合は、選択したいフィード名で０キーを押し選択状態にします。OKを押すと、選択したすべてのフィードがフィードリストに追加されます。

## フィードとポッドキャストの移動

Podcastフィードリストから、上または下キーを使用してPodcastフィード間を移動します。フィードのコンテンツを表示するには、右矢印を押します。

フィードを更新するには、「OK」キーを押します。インターネットに接続している場合、フィードが更新されます。更新中であることを知らせるビープ音が鳴ります。更新が完了すると、そのフィードで利用可能なポッドキャストエピソードのリストに表示されます。

リスト内のエピソードを移動するには、上下の矢印を使用します。移動すると、エピソードのタイトルと、「未ダウンロード」「未再生」「一部再生」「再生済み」のステータスが表示されます。

アスタリスクキーを押すと、現在のエピソードの説明が表示されます。通常のナビゲーションコマンドを使って説明を読み、キャンセルキーを押すとエピソードリストに戻ります。

ポッドキャストがダウンロードされていない場合は、その上で「OK」を押してダウンロードを開始します。 (ポッドキャストのダウンロードが完了すると、ビープ音が鳴り、進捗率が表示されます。ダウンロードが完了すると、本機はメディアプレーヤーでPodcastエピソードの再生を開始します。

ポッドキャストがダウンロードされている場合、その上で「OK」を押すと、メディアプレーヤーの縮小バージョンで再生が始まります。すでにポッドキャストの一部を聴いている場合は、最後に再生を停止した位置から再生が再開されます。

エピソードの再生中は、単一のトラックのみを再生しているため、利用可能なナビゲーション要素は、5秒から1時間までのさまざまなタイムジャンプのみで構成されています。センスプレーヤーの他の再生エリアと同様に、メニューの "移動単位設定 "オプションを使って、上下の矢印で利用可能な移動単位をカスタマイズすることができます。また、メディアプレーヤーと同様に、左矢印または右矢印を押したまま、累積時間ジャンプで移動することもできます。

ポッドキャストの再生中に「OK」を押すと再生を一時停止して再開し、「キャンセル」を押すと再生を停止してエピソードリストに戻ります。

また、ポッドキャストメニューの「オプション」項目を使って、ポッドキャストがダウンロードされるときの動作を決めることができます。「ダウンロードのみ」を選択すると、ダウンロード後にポッドキャストの再生が自動的に開始されません。このオプションに設定すると、0キーでリスト内の複数のエピソードを選択して一度にダウンロードできるため、複数のエピソードを一度にダウンロードしたい場合に便利です。また、デフォルトの基本的なポッドキャストプレーヤーではなく、フル機能のメディアプレーヤーを使用したい場合は、「メディアプレーヤーでダウンロードして再生する」を選択することもできます。

## コンテンツの削除

ポッドキャストフィードまたは個々のエピソードを削除するには、その項目でデリートキーを押してください。「フィードを削除しますか？はい」とメッセージが表示されます。左右キーで「はい」と「いいえ」を切り替えてOKを押してください。

# ユーティリティ

ユーティリティメニューには情報を整理する機能や、センスプレーヤーのバックアップやフォーマット、アップデートの機能があります。

ホームメニューで上下キーを使用して「ユーティリティ」に移動し、OKを押すか、０キーを押すとユーティリティメニューへ移動します。

※センスプレーヤーライトの場合はホームメニューで９を押してください。

ユーティリティメニューで上下キーを使用して実行したい機能を選択しOKを押してください。

またユーティリティメニュー内でも数字キーのショートカットが使用できます。

1. 録音再生
2. カラーリーダー※センスプレーヤーライトはカラーリーダー機能非搭載
3. メモ
4. 電卓
5. アラーム
6. ストップウォッチ
7. カウントダウン
8. スリープタイマー
9. フォーマット
10. フラッシュディスクのバックアップ/復旧
11. ファームウェアの更新

※ファームウェアの更新に数字キーのショートカットはありません。

## 録音再生

センスプレーヤーは、内蔵ステレオマイク、接続した外部USBステレオソース、ヘッドセットマイク、FMラジオから録音することができます。録音の設定では音の品質やマイクの感度を調整することができます。

### 録音

「録音」ボタンを長押しすると、センスプレーヤーのほぼすべてのメニューから、音声の録音を開始します。

※FMラジオ再生中に「録音」ボタンを長押しすると、ラジオの内容の録音が開始されます。

録音を開始すると設定に応じて本体から通知があります。通知方法は「メッセージ」、「ビープ」、「振動」、「未使用」から選択できます。録音を一時停止するには、「録音」 ボタンを短く押します。もう一度「録音」ボタンを短く押すと録音を再開します。

録音中にOKを押すと録音を停止して保存します。録音開始時と同様に本体から通知があります。録音を中止する場合はキャンセルキーを押してください。録音したファイルを保存するかどうか聞かれます。左右キーで「はい」、「いいえ」、「取消」から選択しOKを押してください。

録音したファイルは内蔵フラッシュディスクの「Music/Record」フォルダに保存されます。

外部USBマイクなどのUSBオーディオソースを介して録音する場合は、USBオーディオソースを接続して録音を開始するだけで、USBオーディオソースを使用した録音ができます。

### 録音したファイルの再生

録音ボタンを押すと、どのメニューからでも内蔵マイクや外部ソースで作成した録音ファイルのリストを表示します。メディアプレーヤーのトラック間移動と同様に、左右キーを押して録音ファイル間を移動します。キャンセルキーを押すと録音した音声のプレイリストを表示します。上下キーでファイルを選択し、デリートキーで録音ファイルを削除できます。

### 録音設定

録音設定では、マイク音量、録音ファイルのビットレート、録音モード、録音ファイルの保存先、録音形式などを変更できます。

「録音設定」ダイアログを開くには、録音再生中にメニューキーを押します。最初の項目に「録音設定」があるので、OKを押してください。最初の項目「録音タイプ」と表示します。上下キーでリスト内の設定項目を移動し、左右キーで設定値を変更します。

録音設定の項目は以下の通りです。

1. 録音タイプ：WAVまたはMP3のいずれかを選択できます。
2. サンプルレート：8000～48000HZの範囲で5段階から選択できます。
3. ビットレート：MP3形式の録音品質を決定します。録音タイプがWAVに設定されている場合は表示されません。64Kから320Kまでの10段階から選択できます
4. マイク音量：マイクの音量を決定します。
5. 録音モード：録音ソースをマイク、ヘッドセットマイクから選択できます。

\*USBソースは接続されていれば、自動的に選択されます。

1. ファイル名の種類：録音ファイルの名前を番号で付けるか、作成日時で付けるかを決定します。
2. イヤホンでモニタリング：オン/オフで、録音中にイヤホンから録音内容を聞くかどうかを選択します。
3. 録音の通知：ビープ、メッセージ、振動、未使用から選択します。この設定により、録音開始、一時停止、終了時の通知を決定します。
4. 録音形式：通常録音とDAISY録音のどちらかを選択します。
5. 保存先：フラッシュディスク、またはSDから録音ファイルの保存先を選択します。

### DAISY録音

センスプレーヤーの録音機能を使用すると、WAVやMP3の通常録音だけでなく、DAISYファイル形式での録音も可能です。DAISY形式で録音するには、「オプション」メニューの「録音設定」ダイアログで、録音形式を「DAISY」に設定してください。

録音形式がDAISYに設定されている場合、録音を開始すると「タイトル録音開始」と読み上げ、その後センスプレーヤーは約20秒間のタイトル録音を行い、自動的に見出し1の録音を開始します。

DAISY図書にはナビゲーションポイントを挿入して録音することができます。４キーを押すと見出し、２キーを押すとフレーズ、６キーを押すとページが挿入されます。これらのキーを押すたびに、センスプレーヤーは「ページ8録音開始」「見出し3録音開始」というように、ナビゲーションポイントの開始を知らせます。

OKを押して録音を停止すると、本機は「ビルド中」とアナウンスし、ビルドが完了するとDAISYファイルを保存します。作成したDAISYファイルは、flashdisk/DAISY/recordに保存されます。

### 音声通話を録音

スマートコネクトが有効な場合、スマートフォンの通話や、Skype、AppleのFacetime、google Meet、Zoomなどの音声通話をサポートするプログラムを使用しているときに、センスプレーヤーを介して通話を録音することができます。※スマートコネクトの設定と使用の詳細については、本書の「16.スマートコネクト」を参照してください。

音声通話を録音するには、オプション設定で「スマートコネクト時のオーディオ」をオンに設定する必要があります。音声通話中に「録音」ボタンを短く押すとスマートコネクトレコーディングが開始されます。

注意：通話中でない場合、録音は開始しません。

スマートコネクトで音声通話の録音中は、録音を一時停止することができません。「録音」ボタンを短く押すと、録音は開始または停止します。通話を終了すると、録音は自動的に終了し録音データを保存します。「録音」ボタンを短く押す、または通話を終了した場合「保存に成功しました」とアナウンスします。その後は通常通りスマートコネクトでの操作を続行してください。

スマートコネクトで録音した音声は、録音設定に関わらずM4Aファイルとして保存されます。通常録音とは独自の番号体系を持つため他の録音ファイルとの並び替えが容易です。

注意：音声通話を録音する際、センスプレーヤー本体の内蔵スピーカーを使用している場合、センスプレーヤーの内蔵マイクがスピーカーの音声を拾うため、録音に若干のエコーが発生します。ヘッドホンやイヤホンを使用すると、この問題を解消できます。

開発元はこの機能について多くのモバイル機器でテストしましたが、全ての端末でテストを行ったわけではありません。センスプレーヤーのリリース時点で充分な能力を備えていると判断していますが今後のアップグレードで改良を続けます。

音声通話を録音する場合センスプレーヤーでUSB Cヘッドセットまたはその他のUSBオーディオデバイスを使用することをお勧めします。

センスプレーヤーの内蔵マイクを使用した3極のヘッドセットも通常は正常に機能します。しかし、4極のヘッドセットを使用すると正常な結果にならない場合があります。

開発元の経験では、USB Cヘッドセットが最も信頼できます。

また、Android端末ではハードウェアによって仕様が異なるため、動作が異なる場合があります。いずれにしても、USB Cの有線ヘッドセット、または内蔵スピーカーとマイクを使う事が音声通話の録音を行う際に最も信頼性が高いです。

## カラーリーダー

カラーリーダーでは、画像を取り込み画像内の色とその色のRBG値を確認することができます。

※センスプレーヤーライトはカラーリーダー機能非搭載です。

### カラーリーダーの実行

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーでカラーリーダーに移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、２キーと連続して押すことでカラーリーダーを実行できます。

### カラーリーダーの使用

カラーリーダーを開くと、「画像のキャプチャ」と読み上げます。OKを押すと画像をキャプチャし画像内の認識した色を読み上げます。下キーを押すと、RGB 値を読み上げます。別のアイテムの色を認識したい場合は、上下で「画像のキャプチャ」に移動し、OKを押すと、もう一度色の認識を開始します。

色の判別を正確に行うには、周囲の明るさが大きく影響します。フラッシュオン/オフボタンでOKを押すと、オンとオフを切り替えられるので、暗い環境ではフラッシュをオン、明るい環境ではフラッシュをオフにしてください。

カラーリーダーの使用が終了したらキャンセルキーを押してください。終了し「ユーティリティ」メニューに戻ります。

## メモ

メモ機能は、電話番号や簡単な内容を素早く保存し後から確認できる機能です。

### メモの実行

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーでメモに移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、３キーと連続して押すことでメモを実行できます。

センスプレーヤーライトの場合はホームメニューから９キー、２キーと連続して押すことで実行できます。

### メモを追加する

メモのプログラムを開いた際の最初の項目は「メモを追加」です。OKを押すとダイアログが開き新しいメモを追加します。

「メモを追加」ダイアログには、「タイトル」と「内容の入力」の2つのエディットボックスがあります。上下キーで切り替わります。

文字入力の方法は「3.7.3エディットボックスの文字入力」を参照してください。

メモの入力後、OKを押すとメモを保存します。

### メモの一覧

メモの一覧から、過去に作成したメモを表示、編集、削除、検索が可能です。

メモの一覧にアクセスするにはメモ実行後に下キーを押して「メモの一覧」に移動し、OKを押してください。

以下はメモ一覧のキー操作です。

上キー：１件戻る。

下キー：１件進む。

１キー：最初のメモへ移動。

７キー：最後のメモへ移動。

３キー：25項目戻る。

９キー：25項目進む。

メモの内容確認には以下のキーを使用します。

左キーまたは４キー：前の文字に移動。

右キーまたは６キー：次の文字に移動。

５キー：現在の文字を読み上げる。

メモを修正する場合は、上記の方法で編集したいメモに移動しOKを押します。新しいメモを作成するときと同様に、タイトルと内容の編集ボックスが表示されますが、以前に入力した情報が表示されます。

前述のナビゲーションコマンドと入力コマンドを使用してメモを修正し、OKを押すと保存できます。

メモメニューの「メモを並び替え」を実行するとメモのソート順を変更することができます。以下手順です。

メモの一覧表示中にメニューキーを押しメモメニューを開きます。

上下キーで「メモを並び替え」に移動しOKを押します。

左右キーで次の4つの選択肢から並び替える方法を選択します。「日付の昇順」、「日付の降順」、「タイトルの昇順」、「タイトルの降順」

OKを押して決定すると、選択した方法に従ってリストが並べ替えられます。

### メモを検索

メモを検索するには、メモの一覧から８キーを押します。「メモを検索」エディットボックスが表示されるので、検索語を入力し、下キーを押してください。範囲の項目に移動し、左右キーを押すと検索範囲を「タイトル」、「内容」、または「すべて」から選択します。

もう一度下キーを押し、検索方向を左右キーで「前」か「次」から選択します。全て選択したら、OKを押してください。

検索結果に一致するメモがあれば、メモ一覧からそのメモへ移動します。一致する結果がない場合は、「メモが見つかりません」とアナウンスし「検索」エディットボックスに戻ります。キャンセルキーを押すと「メモを検索」ダイアログを終了します。

検索結果が複数見つかった場合、９キーを長押しすると、次の検索結果に移動します。７キーを長押しすると、前の検索結果に移動します。

### メモの削除

メモを削除するには一覧で削除したいメモを表示した状態でデリートキーを押します。「削除しますか？はい」とアナウンスされるので、左右キーを押して「はい」と「いいえ」を選択しOKで実行してください。ファイル管理で複数のファイルを選択する場合と同様に、０キーで複数のメモを選択することもできます。複数のメモを選択時にデリートキーを押すと選択したすべてのメモの削除を実行できます。

## 電卓

電卓を使用すると、センスプレーヤーで計算ができます。

### 電卓の実行

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーで電卓に移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、４キーと連続して押すことで電卓を実行できます。

センスプレーヤーライトの場合はホームメニューから９キー、３キーと連続して押すことで実行できます。

### 計算

以下のキー操作で計算を行います。

＋：６キーまたは右キー長押し

－：４キーまたは左キー長押し

×：２キーまたは上キー長押し

÷：８キーまたは下キー長押し

（：１キー長押し

）：３キー長押し

小数点：９キー長押し

%：７キー長押し

累乗：０キー長押し

メニューから各計算操作を選択することもできます。メニューキーを押してメニューを開き、上下キーで実行したい操作に移動し、OKを押します。

入力が終わったら、OKを押すと計算を実行します。

デリートキーを押すと直前の文字が削除されます。デリートキーを長押しすると電卓のエディットボックスがクリアされます。

### 計算結果の確認方法

メニュー内にある以下の2つの方法で過去の計算を確認することができます。

メニューを開き上下キーで選択してOKを押し実行します

元の式：計算した数値の元の式を確認することができます。

計算履歴：直近の20件の計算とその結果を確認することができます。上下キーで計算と結果の一覧内を移動できます。

## アラーム

アラームを設定し、目覚まし時計や予定のリマインドに利用できます。

設定できるアラームの件数は１件です。

### アラームの実行

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーでアラームに移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、５キーと連続して押すことでアラームを実行できます。

センスプレーヤーライトの場合はホームメニューから９キー、４キーと連続して押すことで実行できます。

### アラームの追加

アラームを設定していない状態でアラームを起動すると「追加」ボタンと読み上げます。OKを押してアラームの設定を開始します。

「追加」ダイアログが表示されアラームの設定を行います。

以下設定の手順です。

1. アラームを設定する時間の午前/午後を左右キーで選択します。選択後、下キーを押してください。
2. 「時」エディットボックスが表示されます。「時」エディットボックスには、時間の2桁の数字を入力します。設定後下キーを押してください。
3. 「分」のエディットボックスに移動するので、分の2桁の数字を入力します。設定後、下キーを押してください。
4. 「アラーム音」の選択を行います。左右キーを使って「メロディー１」、「メロディー２」、「メロディー３」のいずれかを選択してください。選択後、下キーを押してください。
5. 「繰り返し」の選択を行います。左右キーを使って「１回のみ」、「平日のみ」、「毎日」、「オフ」のいずれかを選択してください。選択後、下キーを押してください。
6. 「アラーム分数」の設定を行います。アラームの鳴る時間を１分から３分の間で設定できます。設定後、下キーを押してください。
7. 「アラームの間隔」の設定を行います。アラームを繰り返す間隔を「１分」、「3分」、「5分」、「10分」、「15分」、「20分」から選択してください。選択後、下キーを押してください。
8. 「回数」を設定します。アラームを繰り返す回数を選択します。1回から10回まで選択可能です。
9. オプションの選択が完了したらOKを押してアラームを保存してください。
10. アラームの追加が完了すると設定したアラームの時刻がアラームのトップ画面に表示されます。

### アラームの編集

アラームが追加されているとアラームのトップ画面に設定したアラームの時刻が表示されます。時刻を読み上げたところでＯＫを押すとアラームの内容を編集できます。設定方法はアラーム追加と同様です。

複数件のアラームが設定されている場合、アラーム時刻を読み上げた位置で左右キーを押すと他のアラーム設定に切り替える事が可能です。

### アラームの削除

不要なアラーム設定を削除する場合は設定時刻を読み上げたところでデリートを押してください。アラーム設定を削除します。

## ストップウォッチ

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーでストップウォッチに移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、６キーと連続して押すことでストップウォッチを実行できます。

センスプレーヤーライトの場合はホームメニューから９キー、５キーと連続して押すことで実行できます。

ストップウォッチを実行するとセンスプレーヤーは操作方法をアナウンスします。

以下操作方法です。

1. OKを押してストップウォッチを開始/停止できます。ストップウォッチ実行中は、1秒ごとにカチカチと音が鳴ります。０キーを押すと音のオン/オフを切り替えます。OKを押して一時停止すると、経過時間を表示します。
2. ストップウォッチ実行中に上キーまたはモードキーを短く押すと、経過時間を確認できます。
3. デリートキーを長押しまたは２キーを押すと、ストップウォッチが0に戻ります。
4. キャンセルキーを押すと、ストップウォッチを終了します。

## カウントダウン

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーでカウントダウンに移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、７キーと連続して押すことでカウントダウンを実行できます。

センスプレーヤーライトの場合はホームメニューから９キー、６キーと連続して押すことで実行できます。

カウントダウンを実行するとセンスプレーヤーは操作方法をアナウンスし、カウントダウン時間を入力するエディットボックスを表示します。初期設定では、カウントダウン時間は1分に設定されています。時間を指定する場合は、時、分、秒のエディットボックスに数値を入力してください。上下キーで各項目を移動し、OKを押すとカウントダウンが開始されます。

1. OKを押すとカウントダウンを開始/停止します。カウントダウン実行中は1秒ごとにカチカチと音が鳴ります。０キーを押すと音のオン/オフを切り替えます。OKを押して一時停止すると残り時間を表示します。
2. カウントダウン中に上キーまたはモードキーを短く押すと、残り時間を確認できます。
3. デリートキーを長押しすると、残り時間が消去され、カウントダウンが1分 に戻ります。

キャンセルキーを押すとカウントダウンを終了します。

## スリープタイマー

スリープタイマーは、どのメニューからでも＊キーを長押しすると設定できます。また、ユーティリティメニューからも「スリープタイマー」を実行できます。

スリープタイマーが表示されたら、左右キーで以下の選択肢からスリープタイマーの時間を選択してください。

オフ、3分、5分、10分、15分、20分、30分、45分、60分、90分、120分、150分、180分

選択後、OKを押して設定を保存します。

キャンセルキーを押すとスリープタイマーの設定を取り消します。

また、数字キーを使って任意の時間を設定することも可能です。

スリープタイマーの保存またはキャンセルが完了すると、スリープタイマーを開く前のメニューに戻ります。

## フォーマット

内蔵フラッシュディスク、microSDカード、USBメモリなどの接続したドライブをフォーマットすることができます。

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーでフォーマットに移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、９キーと連続して押すことでフォーマットを実行できます。

センスプレーヤーライトの場合はホームメニューから９キー、８キーと連続して押すことで実行できます。

左右キーで、ディスクリストを選択します。選択したドライブでOKを押すと「～のフォーマットを開始しますか？はい」と確認します。左右キーで「はい」と「いいえ」を選択します。「はい」でOKを押して実行します。

続いてフォーマットするとすべてのデータが消去されることを確認するメッセージが表示されます。左右キーで「はい」と「いいえ」を選択します。「はい」でOKを押すとフォーマットを開始します。途中でキャンセルキーを押すと、ディスクリストに戻りフォーマットを中止します。

## フラッシュディスクのバックアップ/復旧

フラッシュディスクのバックアップ/復旧では、フラッシュディスクのデータをmicroSDカードや接続したUSBドライブにパスワード付きZIPバックアップを作成することができます。

ホームメニューから、下キーで「ユーティリティ」に移動しOKを押してユーティリティメニューを開きます。ユーティリティメニューから、下キーでフラッシュディスクのバックアップ/復旧へ移動しOKを押して実行します。

またはホームメニューから０キー、０キーと連続して押すことでも実行できます。

センスプレーヤーライトの場合はホームメニューから９キー、９キーと連続して押すことで実行できます。

フラッシュディスクのバックアップ/復旧を実行すると、「バックアップ」ボタンを表示し、バックアップするデータの大きさを読み上げます。上下キーで「復旧」ボタンに移動できます。

「バックアップ」ボタンでOKを押すと、バックアップを保存できるドライブのリストが表示され、それぞれ空き容量を読み上げます。保存するドライブを選択し、OKボタンを押してください。

注意：ExFatのSDカードまたは64GB以上のドライブを使用することをお勧めします。FAT32のドライブやカードに4GB以上のデータをZIPファイルとして作成することはできません。また、フラッシュディスクには35GB以上のデータを格納できるため、多くの場合、バックアップは4GBより大きくなります。

ドライブを選択すると、パスワードを作成するよう求められます。バックアップしたZipファイルをパスワードで保護したい場合は、エディットボックスに8文字以内のパスワードを入力します。パスワードは確認のため2回入力する必要があります。下キーを押すと、パスワードを再入力するエディットボックスに移動します。パスワードを使用しない場合は、もう一度下キーを押して「パスワードを使用しない」を選択し、OKを押してください。

圧縮されたバックアップファイルの作成が始まり、その進捗をパーセンテージで読み上げます。終了すると、本機はファイルシステムを更新します。これには数分かかる場合があります。最後に、ディスクをアンマウントするかどうか尋ねられます。すぐにドライブを取り外す場合は、「はい」を選択してください。接続を保持する場合は「いいえ」を選択してください。後で接続を解除しても問題はありません。

バックアップ完了後、バックアップドライブのルートにSensePlayer\_Backupというフォルダが表示され、センスプレーヤーのデバイス名と日時が記載されたZIPファイルが作成されます。

バックアップを復元するには、復元ダイアログから、ドライブ、バックアップファイルの順に選択します。バックアップをパスワードで保護した場合、復元を開始する前にパスワードの入力を求められます。

## ファームウェアの更新

ここでは、センスプレーヤーのファームウェアを更新する方法について説明します。ファームウェアの更新は、「オンライン」と「オフライン」2つの方法があります。

### オンラインアップグレード

以下の手順で、オンラインでアップグレード可能です。

インターネットに接続されていることを確認します。ワイヤレスネットワーク接続の設定については、14章を参照してください。

電池残量が40％以上あることを確認してください。電池残量が40％以下の場合、ファームウェアをアップグレードできません。

1. ホームメニューから、上下キーで「ユーティリティ」に移動し、OKを押します。
2. 上下キーで「ファームウェアの更新」に移動し、OKを押します。
3. アップグレードの方法を選択します。左右キーで「オンライン」を選択しOKを押してください。
4. インターネットに接続されており、本体のファームウェアが最新ではない場合、プログラムのダウンロードを開始します。インターネットに接続されていない場合は、エラーメッセージが表示されます。インターネット接続を確認してください。現在のファームウェアが最新の場合、その旨を通知し、続行するかどうかを確認します。左右キーで「はい」か「いいえ」を選択しOKを押して実行してください。
5. ダウンロードが完了すると、英語で「Start System update」とアナウンスし、インストールを開始します。ダウンロード中に「キャンセル」キーを押すと、ダウンロードを中止し、ファームウェアの更新画面に戻ります。アップグレードのインストールが始まったら、絶対にセンスプレーヤーのキーを押したり、ACアダプタを外したりしないでください。
6. インストールが完了すると、センスプレーヤーはアップグレードが成功したことを通知し、再起動します。

### オフラインアップグレード

以下の手順で、センスプレーヤーをオフラインでアップグレードできます。

1. エクストラのホームページからアップグレードファイルをダウンロードしてください。
2. アップグレードファイルを解凍し、.binファイルをmicroSDカードのルートにコピーしてください。
3. センスプレーヤーにアップグレードファイルを保存したmicroSDカードを挿入してください。
4. 電池残量が40％以上あることを確認してください。電池残量が40％以下の場合、ファームウェアをアップグレードできません。
5. ホームメニューから、上下キーで「ユーティリティ」に移動し、OKを押してください。
6. 上下キーで「ファームウェアの更新」に移動し、OKを押してください。
7. 左右キーで「オフライン」を選択しOKを押してください。
8. 英語で「Start System update」とアナウンスし、アップデートのインストールが始まります。アップデートのインストールが始まったら、絶対にセンスプレーヤーのキーを押したり、ACアダプタを外したりしないでください。
9. インストールが完了すると、センスプレーヤーはアップグレードが成功したことを通知し、再起動します。

# 設定

設定では、センスプレーヤーの一般設定、時間、日付、無線LAN接続、Bluetoothの設定を行うことができます。

設定を実行するにはホームメニューで上下キーを使用して「設定」に移動し、OKを押してください。設定には以下の項目があります。

1. オプション設定
2. 音声設定
3. 時計設定
4. Bluetooth 接続
5. インターネット設定
6. 設定の初期化
7. クイックスタートガイド
8. バッテリー状態
9. センスプレーヤー情報

## オプション設定

オプション設定には、センスプレーヤーの操作と出力をカスタマイズするための一般的な設定が含まれています。ホームメニューから「設定」を実行してください。設定の最初の項目である「オプション設定」でOKを押してください。オプション設定は、センスプレーヤーの起動中にメニューキーを長押しすることで、いつでも実行する事ができます。

オプション設定では上下キーを使用して様々な設定項目を選択します。各設定項目では左右キーを使用して、値を変更します。

以下、オプション設定の設定項目です。

1. スリープモード・開始：一定時間操作がない場合に自動的に電源が切れる時間を設定します。オフ、10分、20分、30分から選択できます。
2. 時刻の通知：5分ごと、10分ごと、30分ごと、毎時ごと、オフから選択します。
3. 日時出力：日付と時刻の通知内容と順番を設定します。「日付と時刻」、「時刻と日付」、「日付」、「時刻」から選択できます。
4. コントロール情報：「リストアイテム」や「コンボボックス」などのコントロール情報を項目の前に表示するか、項目の後に表示するか、全く表示しない（オフ）かを設定します。
5. リスト項目番号の読み上げ：リスト全体の項目数と現在表示している項目の番号を読み上げるかどうか設定します。「オン」、「オフ」から選択します。
6. フォルダタイプの表示：このオプションは、ナビゲート中にファイル管理がコンテンツを分析するかどうかを設定します。オンに設定すると、フォルダのコンテンツタイプを通知しますが、ナビゲーション操作の反応が遅くなる場合があります。
7. ページあたりの項目数：プレイリストやファイル管理のリストで、「３キー」と「９キー」を使った移動で何項目ずつ移動するかを設定します。5、10、15、20、25から選択できます。デフォルトは25です。
8. 警告音：「オフ」、「ビープ」、「振動」、「両方」から選択します。
9. キーパッド通知：「オフ」、「ビープ」、「振動」、「両方」から選択します。
10. キー入力のサウンド設定：基本音1、2、3から選択します。※キーパッド警告が「ビープ」または「両方」に設定されている場合に使用。
11. 起動サウンド：「オン」、「オフ」、「メッセージ」のいずれかを選択します。
12. バッテリーの通知：「ビープ」、「メッセージ」、「最終ビープ」、「最終メッセージ」から選択します。
13. 進行率表示：ダウンロードやアップグレードなど、長時間の操作時の進捗状況を表示する方法を選択します。メッセージ、ビープ、ビープ・メッセージ（両方）、振動、オフから選択します。
14. 警告音の音量：警告音の音量を1から10の値で設定します。
15. 主音量：主音量を1から15の値で設定します。
16. 数字キーロック：数字キーパットにキーロックを設定できます。左右キーでオン/オフを切り替えます。
17. キーロックの警告：キーロックオンの状態でキー操作を試みるとロックされている事を通知します。
18. 文字入力方式：入力方式１か入力方式２を設定します。初期設定は入力方式２です。
19. 文字入力時間：文字入力が決定されるまでの時間を設定します。50から1500ミリ秒の間で設定できます。数値が多い程ゆっくりキーを押しても文字入力をしやすくなります。
20. スマートコネクトキーマップ：スマートコネクト機能でデバイスに接続する際にキーコマンドをデバイスのOSに合わせて設定します。iPhoneやiPadに接続する場合は、iOSを選択します。Androidの携帯電話やタブレットを使用している場合は、Androidを選択します。BrailleSenseと接続する場合は、BrailleSenseを選択します。このオプションは初期値の設定です。初期設定と異なるOSのデバイスを接続する場合はスマートコネクト接続中に変更します。
21. スマートコネクト時のオーディオ：スマートコネクト機能でスマートフォンやタブレットと接続したときに、デバイスの音声をセンスプレーヤーに送信するかどうかを設定するオプションです。オンまたはオフを選択します。

オプション設定の変更後はOKを押すと変更を保存して終了します。変更を保存せずに終了する場合はキャンセルキーを押します。

## 音声設定

音声設定ではセンスプレーヤーの音声に関する設定を行います。

設定メニューから選択するか、メニューキーとデリートキーを同時に押すことで実行できます。

1. 音声速度：ガイド音声の速さを1から21の値で選択します。
2. 音声トーン：ガイド音声のトーンを1から20の値で選択します。
3. 音声ボリューム：音声の音量を1から10の値で設定します。
4. 大文字の通知：大文字の通知方法を設定します：「音声」、「ピッチ」、「オフ」から選択します。
5. 記号レベル：センスプレーヤーが記号を読み上げる範囲を設定します。「句読点」、「記号」、「すべて」、「オフ」から選択します。
6. 数値：数字を読み下して通知する場合（100をヒャクと読む）は「オン」、数字をそのまま通知する場合（100をイチ、ゼロ、ゼロと読む）場合は「オフ」に設定します。

音声設定の変更後はOKを押すと変更を保存して終了します。変更を保存せずに終了する場合はキャンセルキーを押します。

## 時計設定

時計設定には、「日付と時刻」ダイアログを使用して手動で設定する方法と、時計サーバーと自動的に同期させる方法の2つがあります。

### 手動で日付と時刻を設定する。

以下の手順で日付と時刻を設定します。

1. メニューから「設定」を実行し開き、「時計設定」に移動してください。
2. OKを押し「時計設定」ダイアログを表示します。
3. 「タイムゾーン」の選択を行います。左右キーでお住まいの国を設定してください。
4. 下キーを押すと「時間制」の選択を行います。左右キーで12時間表記か24時間表記かを選択してください。12時間表記を選択した場合、下キーを押すと「午前」と「午後」を選択します。
5. 下キーを押すと「時」の入力を行います。数字キーを使って時を入力してください。
6. 下キーを押すと「分」の入力を行います。数字キーを使って分を入力してください。
7. 下キーを押すと「日付の表示形式」を選択します。「長い」か「短い」を選択してください。
8. 下キーを押すと「年」の入力を行います。数字キーを使って年を4桁で入力してください。
9. 「月」の入力を行います。数字キーを使って月を入力してください。
10. 「日」の入力を行います。数字キーを使って日を入力してください。
11. 設定が終了したら、OKを押すと設定が保存され、設定メニューに戻ります。設定を保存しない場合は、キャンセルキーを押すと、日付と時刻を変更せずに設定メニューに戻ります。

### 時計サーバーと同期

以下時計サーバーと同期して日付と時刻を設定する手順です。

1. メニューから「設定」を実行し開き、「時計設定」に移動してください。
2. OKを押し、「時計設定」ダイアログを表示します。
3. 上下キーで「時計サーバーと同期」へ移動し、OKを押してください。
4. 時計サーバーと同期しオプションメニューに戻ります。

## Bluetooth設定

Bluetooth接続を使って、ヘッドホンやスピーカーからセンスプレーヤーの音声を出力することが可能です。

### Bluetoothのオン/オフ切り替え

ファンクションキー右から2番目のBluetoothキーを深く押すとBluetoothのオンとオフが切り替わります。

### Bluetoothオーディオデバイス接続

1. ホームメニューの「設定」を実行し上下キーで「Bluetooth接続」へ移動します。
2. OKを押すと「Bluetooth接続」ダイアログが表示されます。※Bluetoothアクションキーを長押しすることでも「Bluetooth設定」ダイアログにアクセスすることが可能です。
3. 「新しいデバイスとペアリングする」ボタンでOKを押すとBluetoothデバイスの検索を開始します。接続したいBluetoothデバイスをペアリングモードにしてください。
4. 検索中の間はビープ音がなりますので検索が完了するまでお待ちください。検索が完了すると接続可能な機器のリストを表示します。上下キーで接続したい機器を選択してOKを押してください。
5. 接続に成功すると接続成功の音が鳴りBluetoothオーディオデバイスからセンスプレーヤーの音声を出力します。

設定を中断する場合は、キャンセルキーを押してください、オプションメニューに戻ります。

### Bluetoothデバイス名変更

センスプレーヤーのBluetoothデバイス名を変更することができます。

以下手順です。

1. ホームメニューの「設定」を実行し上下キーで「Bluetooth接続」へ移動します。
2. OKを押すと「Bluetooth接続」ダイアログが表示されます。※Bluetoothアクションキーを長押しすることでも「Bluetooth設定」ダイアログにアクセスすることが可能です。
3. メニューキーを押し、上下キーで「デバイス名変更」を選択してOKを押します。
4. 現在のデバイス名が表示されるので新しいデバイス名に書き換えてください。OKで決定するとBluetooth接続時の表示名を変更します。

### Bluetoothデバイスとの接続を解除

以下Bluetoothデバイスの接続を解除する手順です。

1. ホームメニューの「設定」を実行し上下キーで「Bluetooth接続」へ移動します。
2. OKを押すと「Bluetooth接続」ダイアログが表示されます。※Bluetoothキーを長押しすることでも「Bluetooth設定」ダイアログにアクセスすることが可能です。
3. OKを押して、「Bluetooth設定」ダイアログボックスを開きます。
4. 下キーを押すと現在接続されているBluetoothデバイス名を表示します。デリートキーを長押しするとデバイスとの接続が解除されBluetoothプロファイルを削除します。

キャンセルキーを押すと「Bluetooth設定」ダイアログボックスを閉じて設定に戻ります。

## インターネット設定

「Wi-Fi」キーを軽く押すと無線LAN接続の状態を確認することができます。

DAISYオンラインサービスの利用、ウェブラジオ、ポッドキャスト、センスプレーヤーのオンラインアップデートを使用する場合は無線LANをオンにしてネットワークに接続する必要があります。「Wi-Fi」キーを深く押す度に無線LANのオン/オフが切り替わります。

### 無線LANネットワークへの接続。

以下無線LANネットワークに接続する手順です。

1. 設定から「インターネット設定」を実行するか「Wi-Fi」キーを長押しする。
2. インターネット設定ダイアログボックスが表示され接続可能な無線LANの一覧が表示されます。リストで上下キーを押すとネットワーク名、暗号化の種類、信号強度を表示します。
3. 接続したいネットワークを選択してOKを押してください。ネットワークキーが不要の場合、センスプレーヤーは選択したネットワークへの接続を開始します。ネットワーク接続にネットワークキーが必要な場合「パスワード」エディットボックスを表示します。キーパッドを使ってネットワークキーを入力してください。ネットワークキーの入力が完了したらOKを押して接続を実行します。キャンセルキーを押すと接続設定をキャンセルします。
4. 接続に成功するとネットワークに接続したことを通知し、「設定」メニューに戻ります。ネットワークに接続できなかった場合は「接続に失敗しました」と通知しネットワークリストにもどります。

### 無線LANプロファイルの削除

ネットワークプロファイルを削除するにはネットワークリストから削除したいネットワーク名を選択しデリートキーを押します。

プロファイル削除を確認する通知がありますので左右キーで「はい」と「いいえ」を選択しOKで実行します。

## 設定の初期化

設定の初期化でセンスプレーヤーの多くの設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

設定の初期化は以下の手順で実行します。

1. ホームメニューの「設定」から「設定の初期化」を選択しOKを押します。
2. 「設定を初期化しますか？はい」と通知します。左右キーで「はい」と「いいえ」を切り替えてOKで実行してください。
3. 「はい」を実行するとセンスプレーヤーは設定の初期化を実行します。
4. デバイスは再起動しクイックスタートガイドを開始します。設定の各設定項目が初期化されます。

## クイックスタートガイド

クイックスタートガイドはセンスプレーヤーとその機能を紹介し、基本的な環境設定を行うためのスタートアップウィザードを実行します。

クイックスタートガイドはセンスプレーヤーを初めて起動した際、自動的に表示しますが、設定の「クイックスタート」を起動することで再度確認することが可能です。

クイックスタートガイドではセンスプレーヤーの操作方法、キーの説明、時刻と日付の設定、オプション設定について説明します。

## デバイス情報を確認

設定の最後の2項目は「バッテリー状態確認」と「センスプレーヤー情報」です。

バッテリー状態確認の項目を確認すると現在のバッテリー残量、システムがバッテリーとUSB電源のどちらを使用しているかを通知します。

「センスプレーヤー情報」でOKを押すとシステムに関する以下の情報が表示されます。

・OSのコピーライト

・TTS情報

・Kernel Version

・ファームウェア情報

・ソフトウェアのビルド日付

・デバイス名

・OSバージョン

・キー番号

・内蔵フラッシュディスクの総容量と残量

・挿入しているSDカードの総容量と残量

・MACアドレス（Wi-Fi接続時のみ表示）

・ネットワーク/サーバーの情報（Wi-Fi接続時のみ表示）

・サポートサービスの情報

情報の項目間は上下キーで移動します。左右キーで1文字ずつ確認できます。キャンセルキーを押すと情報ダイアログを終了し設定メニューに戻ります。

# サードパーティアプリのインストールと使用

センスプレーヤーは、マルチメディアコンテンツの検索、閲覧、再生、ストリーミング用のネイティブ・アプリケーションを提供するだけでなく、様々なメディアサービスやコンテンツプロバイダへの追加アクセス用に、アクセシブルなAndroidアプリケーションをインストールすることもできます。

技術的には、APKを見つけることができるアクセシブルなAndroidアプリケーションをインストールして使用することは可能ですが、私たちの主な目的は、モバイルメディアデバイスとしてのセンスプレーヤーに特に適したアプリケーションに関する情報とサポートを提供することです。

センスプレーヤーがAndroid携帯やタブレットと同様のサポートを提供することまでは期待していません。

センスプレーヤーはGoogle認定デバイスではないため、サードパーティ製アプリの実行にはいくつかの制限があります。しかし、このアクセスを提供する明確な目的は、センスプレーヤーにメディアコンテンツのグローバルな提供を最も効果的かつ迅速に提供することです。

## Android アプリのインストール

センスプレーヤーにAndroidアプリケーションをインストールするには、二つの方法があります。センスプレーヤーでは、デバイスの「すべてのアプリケーション」メニューにある「アプリインストーラー」を使用して、いくつかの一般的なマルチメディア・アプリケーションに素早く直感的にアクセスすることができます。

アプリインストーラーではセンスプレーヤーで一定程度正常に機能することを確認されたアプリを表示し、アクセシブルなマルチメディアコンテンツソリューションとしてのセンスプレーヤーの目的を拡大し強化します。インストール可能なアプリケーションを網羅しているわけではありませんが、例えばAbema TV、Netflixなど、センスプレーヤーユーザーに人気があると思われるアプリケーションに素早く簡単にアクセスできます。

アプリインストーラーには、Chromeウェブブラウザも含まれています。他のサードパーティアプリを実行する場合は、Chromeをインストールすることを強くお勧めします。

Chrome ブラウザを使用すると、Dropbox や Netflix など、他の方法ではアクセスできない複数のアプリにサインインできるようになります。

注意：センスプレーヤー上でChromeブラウザを使用して一般的なウェブブラウジングを行うことは可能ですが、その搭載は他のサービスへのログインを容易にする一般的な目的のためのものです。また、一部のウェブコントロールはサポートされていません。

ほとんどの場合、アプリケーションの内容は当社のモバイルスクリーンリーダーを介して読み上げられます。

アプリインストーラーはHIMSのサーバーからアプリケーションをダウンロードするため、インターネットに接続されていないと使用できません。アプリインストーラーを開くには、メインメニューから「すべてのアプリケーション」に移動し、OKキーを押します。上下キーを使用して「アプリインストーラー」に移動し、さらにOKキーを押します。

アプリケーションの一覧で上下キーを使用して移動し、フォーカスのあるアプリケーションをインストールするには、OKキーを押します。インストールが進行中であることを示すプロンプトが表示され、その後すぐに完了したことを示すプロンプトが表示されます。 インストールされたアプリは「すべてのアプリケーション」メニューに表示され、「OK」キーで起動できます。

また、インターネットからAPKファイルをダウンロードし、センスプレーヤーのファイル管理からアクセス・実行することでもAndroidアプリをインストールできます。多くの場合アプリ名.APKの形式です。

APKファイルをダウンロードしたら、センスプレーヤーのフラッシュディスクまたは他の接続ドライブにコピーします。センスプレーヤーのファイル管理を実行し、そのアプリケーションファイルに移動してOKを押すと自動的にインストールされ、「すべてのアプリケーション」メニューからアクセスできるようになります。

アプリケーションにフォーカスのある状態で「Delete」キーを押すと、アプリケーションをアンインストールできます。アプリをアンインストールするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。OKを押して削除します。

注意：センスプレーヤーは多くのAndroidアプリを実行することができますが、Google認定デバイスではないため、Google関連サービスを実行することができません。

このため、サービスへのサインインができなかったり、アプリでできることが制限されたり、実際にはほとんど影響のないエラーが表示されたりと、さまざまな影響があります。いくつかの例を挙げると、Envision AIやBe My Eyesのようなアプリケーションは、Google経由でアクセスした場合アカウントにサインインできませんが、その他のメールアドレスで作成されたアカウントであれば問題ありません。

いくつかのアプリでは、開くたびに「Googleサービスがサポートされていないため実行できません」のようなエラーを出します。しかし、OKボタンを選択すると、いくつかの制限はありますが、アプリはおおむね期待通りに動作します。AndroidのTTSアプリのように、Googleアカウントに関連付けられたアドオンを購入したアプリでは、Googleアカウントにサインインできないため、これらのアドオンにアクセスできない可能性が高いです。

注意：HIMSやエクストラでは、センスプレーヤーを使用したAndroidアプリケーションの技術サポートは行っておりません。そして、Googleによって認証されていない基本的なAndroidデバイスの制限により、いかなるサードパーティアプリケーションの完全な機能性に関しても保証いたしかねます。しかしながら、センスプレーヤーをアクセシブルで直感的なメディアデバイスとして拡張するために、センスプレーヤーはこれらのアプリケーションを追加する機能を提供しています。

インストールしたアプリケーションからバージョンアップを求められた場合、HIMSよりアプリインストーラーから最新バージョンを提供します。

インストール済みのアプリは通常ではアプリインストーラーに表示されませんが、利用中のアプリより最新のバージョンが提供されている場合はリストに表示されますので再インストールを行ってください。

HIMSから最新アプリインストーラーが更新されていない場合、ご自身でインターネットから最新のAPKファイルを入手し、現状の古いアプリをアンインストールして再インストールする事でアプリを更新することが可能です。

## ナビゲーションとアプリの使用

センスプレーヤーのモバイルスクリーンリーダーには、アプリのコントロールに素早く直感的にアクセスするための移動方法がいくつか用意されています。これは、使用するアプリケーションの画面レイアウトに慣れてくると特に顕著になります。

左右キーを使ってそれぞれ前後のコントロールに移動します。これは、スマートフォンで左右にスワイプするのと同じです。上下のキーは、現在位置の真上または真下の項目に移動します。これはAndroidのスクリーンリーダー機能で、アプリ上をより素早く移動するのに便利です。例えば多くのアプリでは、下に沿ってタブが表示され、次の行にはメディアコントロールなどが表示されます。このように、これらのキー操作は、コントロールのグループ間を素早く移動するのに便利です。項目が縦横に配置されている場合には、列と行の情報が通知されて方向を意識しやすいため、上下左右キーをより効率的に使用できます。

センスプレーヤーのメイン・インターフェースと同じように、キーパッドの１や７で画面の上や下に移動できます。３や９を使って、リスト領域をスクロールすることもできます。

また、更新が可能なリスト情報を表示した状態で８キーを押すことでリスト情報を更新することが可能です。

OKキーを押すと、現在の項目がアクティブになります。現在の項目を長押しするには、０キーを押します。Androidアプリケーションでは、長押しでコンテキストメニューが表示されることがよくあります。Cancelキーを押すと、戻るボタンが表示されます。エディットボックスでOKを押すとキーボードが表示されて入力可能になり、さらにOKを押すと通常のモードに戻ります。

０を短く押すと、項目のホールドを開始したり停止したりできます。

メディアアプリケーションには、アプリ内でさまざまな値を調整するためのスライダーが含まれていることがよくあります。スライダーを調整するには、音声コントロールボタンを押してすぐにボリュームの上下ボタンを押します。

メディアを聴く際、アプリケーション内の位置に関係なく、すぐに再生をコントロールしたい場合があります。＊(アスタリスク)キーとOKを同時に押すと前のトラックに移動します。０キーとOKを同時に押すと再生を一時停止/再開します。＃(シャープ)キーと同時にOKを押すと次のトラックに移動します。

多くのAndroidアプリはアクセシブルですが、ラベルのないボタンやコントロールに遭遇することもあります。ラベルのないコントロールにラベルを作成するには、＊(アスタリスク)キーを押します。ラベル名を入力するプロンプトが表示され、機能の内部プログラム ID が通知されます。選択したテキスト入力方法でラベル名を入力し、OKを押して保存します。

# スマートコネクト

スマートコネクト機能によりセンスプレーヤーをスマートフォンやタブレット端末のBluetoothキーボードとして使用することができます。

スマートコネクトが有効な場合、スマートフォンやタブレットの音声をセンスプレーヤーから出力する設定が可能です。

現在、スマートコネクトはiOSとAndroidに対応しています。また、ブレイルセンス用のキーマップを使用すればセンスプレーヤーをリモコンとしてブレイルセンスを操作することもできます。オプション設定で「スマートコネクト時のオーディオ」と「スマートコネクトキーマップ」を設定できます。デフォルトでは、「スマートコネクト時のオーディオ」はオン、「スマートコネクトキーマップ」はiOSに設定されています。

注意：スマートコネクトキーマップを接続先のOSに合わせて設定することは非常に重要です。設定が合っていないと以降のセクションにあるコマンドのほとんどが正しく動作しなかったり、意図しない機能を実行したりする可能性があります。

また、接続を完了する前にオプション設定で必要な設定を行う事をおすすめします。スマートコネクトの接続後にオプション設定を行うには一旦スマートコネクトを終了し再接続する必要があります。

## モバイル端末との接続

スマートコネクトの接続には、アクションキー右端の「スマートコネクト」キーを使用します。

スマートコネクトキーを浅く押すと、前回の接続が再確立されます。デバイスに接続した事がない場合はペアリングモードになります。

スマートコネクトキーを深く押すと、現在の接続状態にかかわらず、ペアリングモードになります。

スマートコネクトキーを長押しすると、以前に保存した接続のリストが表示されます。このリストから、上下キーを使用して接続先を選択し、OKを押して再接続します。このリストでデリートキーを短く押すと、現在アクティブな接続が解除されます。デリートキーを長押しすると、保存した接続を完全に削除することができます。

初めてモバイル端末と接続する際は以下の手順で設定を行います。iPhoneを例に説明します。

1. センスプレーヤーを起動し、スマートコネクトキーを深く押します。「ペアリングモードに切り替え」と読み上げ、続いてセンスプレーヤーの表示名を読み上げます。
2. iPhone側でVoiceOverをオンにし、「設定」のBluetoothを実行します。
3. Bluetoothをオンに設定すると「その他のデバイス」にセンスプレーヤーの表示名が「SensePlayer\*\*\*」と表示されますので接続してください。
4. 接続が成功すればセンスプレーヤーでiPhoneを操作できます。

接続中にBluetoothキーを浅く押すことで、利用可能なキーマップを切り替えることができます。今後、同じデバイスに接続すると、グローバルオプションの設定に関係なく、最後に使用したキーマップが自動的に有効になります。グローバルオプションの設定は、スマートコネクトを初めて接続する際に反映されます。

## 一般的な操作

スマートコネクトにより、タッチスクリーンで操作するデバイスをセンスプレーヤーのキーパッドで操作することができます。これにより作業の効率化を図ったり、使いやすい手のひらサイズの機器でデバイスをリモートコントロールしたりすることができます。

センスプレーヤーのコマンドを標準的なQWERTYキーにマッピングし、iOSやAndroidデバイスに送信してコマンドの入力および操作することができます。

iOSの場合、これらのコマンドはVoiceOverでキーボードを使用することを前提としています。Androidの場合、これらのコマンドはTalkBackのキーボードを前提にしています。BrailleSenseのコマンドは、QWERTYキーボードを接続したときのコマンドをベースにしています。

このように、各OSそれぞれを操作するために同様のスマートコネクトコマンドを使用できるようにしていますが、操作に使用するQWERTYコマンドはOSごとに大きく異なるため、OSに合ったキーマップを選択してご利用ください。

また、スマートコネクト使用時も可能な限りセンスプレーヤーの標準的な操作方法を踏襲しています。例えば、１キーと７キーはセンスプレーヤーと同じように画面の上下に移動し、３キーと９キーは1ページを上下にスクロールし、８キーはどのキーマップにおいても検索を実行します。

センスプレーヤーのキー数は限られているため、コマンドと操作は「ナビゲーションモード」、「ウェブ閲覧モード」、「文字入力モード」の3つのモードを切り替えて使用します。スマートコネクトを実行中にメニューキーを押すと3つのモードが切り替わります。接続時のデフォルトは「ナビゲーションモード」の状態です。

ナビゲーションモード

ナビゲーションモードでは、キーパッドの各キーは主に移動と読み上げに使用されます。これらのキーに「メニュー」を加えると、移動の範囲を大きくしたり、「通知」や「ステータス」などの項目にアクセスしたり、スクリーンリーダー専用の操作やメディアコントロールなど、他のコマンドを使用することができます。

デリートキー、メニューキー、キャンセルキーの組み合わせは、「戻る」、「ホーム」、「APPスイッチャー」、「音声アシスタントの呼び出し」などの操作に使用されます。

ウェブ閲覧モード

ウェブ閲覧モードにおいて、数字キーはウェブページ上のさまざまな要素を移動するために使用されます。また、＊キーと同時押しで同じ要素で逆送りに移動する事ができます。

＊キーと＃キーでローターの設定を調整し、上下キーで選択したローター制御で移動することもできます。呼び方が異なりますが、この操作はiOSでもAndroidでも有効です。

文字入力モード

文字入力モードでは、テキストはT9方式で入力し、上下左右キーのナビゲーションは従来のテキストナビゲーションとして使用します。iOSでオプションを使う組み合わせはメニューキーで、CMDキーを使う操作はデリートキーで行います。いずれもAndroidではControlが主に使われますが、AndroidとBrailleSenseではiOSと同じスマートコネクトのナビゲーションキーが使われます。

スマートコネクト時の文字入力モードで日本語を入力する場合、キャンセルキーが漢字変換（スペース）として動作します。

スマートコネクトが有効な場合、音声コントロールボタンは、センスプレーヤーの「主音量」と接続したデバイスの「ボリューム」を切り替えます。ボリュームに切り替えたら、＋－でデバイスのボリュームを調節してください。

他の音声コントロールの操作と同様に5秒間操作しないと音声コントロールを終了します。

すべてのキーストロークがこれらのパターンに当てはまるわけではありませんが、上記の一般的な操作方法を覚える事で、スマートコネクトで使用されるコマンドを簡単に記憶し、操作するのに役立つものと思います。各OSの各モードに対応するコマンドは、以下に紹介します。

注意：接続する端末の機種や設定によりスマートコネクトによる操作が本取扱説明書通りに動作しない場合がございます。ご了承ください。

## iOS向けスマートコネクトコマンド

### ナビゲーションモード

注意：画面を上下左右にスクロールさせるコマンドキーは、クイックナビゲーションがオンになっている必要があります。これはコマンドリストで\*RQN, (requires Quick Nav)と表記されています。その他のキーは、クイックナビゲーションのオン/オフに関係なく動作します。

また、以下のコマンドはホームボタンのないタイプのiOS端末でのコマンドです。ホームボタンを搭載した端末でご利用の場合はホームボタンでの操作が必要です。

次の項目へ移動：右キー

前の項目へ移動：左キー

5項目進む：メニューキーと右キー同時押し

5項目戻る：メニューキーと左キー同時押し

選択した項目をアクティブにする：OK

選択した項目をタッチしたままにする：OKを長押し

次のローターの値：下キー

前のローターの値：上キー

次のローター選択：＃キー

前のローター選択：＊キー

最初の項目に移動：１キー

最後の項目に移動：７キー

クイックナビゲーションオン/オフの切り替え：左右キー同時押し

1画面分上にスクロール：３キー \*RQN

1画面分下にスクロール：９キー \*RQN

1画面分左にスクロール：４キー \*RQN

1画面分右にスクロール：６キー \*RQN

上から順に読み上げ：２キー

現在位置から読み上げ：０キー

読み上げを一時停止/再開：５キー

検索：８キー

戻る：キャンセルキー

ホーム：メニューキー長押し

電源ボタン：デリートキー

APPスイッチャー：メニューキーとデリートキー同時押し

次に開いているアプリに移動：メニューキーと下キー同時押し

前に開いていたアプリに移動：メニューキーと上キー同時押し

ステータスバーに移動：メニューキーと１キー同時押し

通知センターを開く：メニューキーと２キー同時押し

コントロールセンターを開く：メニューキーと３キー同時押し

VoiceOver設定を開く：メニューキーと４キー同時押し

VoiceOverヘルプをオンにする：メニューキーと５キー同時押し

VoiceOverヘルプをオフにする：キャンセルキー

最後にVoiceOverが読み上げた文章をクリップボードにコピー：メニューキーと６キー同時押し

読み上げのオン/オフの切り替え：メニューキーと７キー同時押し

項目セレクタを開く：メニューキーと８キー同時押し

スクリーンカーテンオン/オフ切り替え：メニューキーと９キー同時押し

前のトラック：メニューキーと＊キー同時押し

次のトラック：メニューキーと＃キー同時押し

２本指でダブルタップ：メニューキーと０キー同時押し

VoiceOverのオン/オフを切り替える（ホームキーの無い機種）：デリートキーを3回押す

VoiceOverをオフにする（ホームキーのある機種）： デリートキーとキャンセルキー同時押し

Siriを呼び出す：デリートキー長押し

### ウェブ閲覧モード

ウェブ閲覧モードで、数字キーが関連する要素で移動するためには、クイックナビと1文字クイックナビの両方がオンになっている必要があります。また、＃キーと＊キーでローターの設定を調整し、上下キーでクイックナビのオン/オフに関係なく、選択したローターの設定で移動することも可能です。

クイックナビのオン/オフの切り替え：左右キー同時押し

1文字クイックナビの切り替え：＃キーと＊キー同時押し

次の見出しへ移動：１キー

次のリンクへ移動：２キー

次のテキストへ移動：３キー

次のテーブルへ移動：４キー

次のテキストフィールドへ移動：５キー

次のエリアのランドマークへ移動：６キー

次のリストへ移動：７キー

次のボタンへ移動：８キー

次のフォームコントロールへ移動：０キー

上記要素の逆移動：上記の数字キーと＊同時押し

次の番号付き見出しに移動：メニューキーと見出し番号のキー同時押し

前の番号付き見出しへ移動：デリートキーと見出し番号のキーを同時押し

次の項目へ移動：右キー

前の項目へ移動：左キー

選択した項目をアクティブにする：OK

選択した項目をタッチしたままにする：OKを長押し

次のローターの値：下キー

前のローターの値：上キー

次のローター選択：＃キー

前のローター選択：＊キー

ホームへ移動：メニューキー長押し

### 文字入力モード

文字入力は数字キーパッドを使用しT9方式で入力します。テキスト入力方法の設定にかかわらずスマートコネクト機能ではT9方式での入力が必要です。また、iOSでテキストを入力・編集する場合は、すべてのクイックナビゲーションオプションをオフに設定する必要がありますのでご注意ください。テキストのナビゲーションと編集には、以下のキーストロークを使用します。

次の文字へ移動：右キー

前の文字へ移動：左キー

前の行へ移動：上キー

次の行へ移動：下キー

行頭へ移動：デリートキーと左キー同時押し

行末に移動：デリートキーと右キー同時押し

段落の先頭または前の段落に移動：メニューキーと上キー同時押し

段落の末尾または次の段落に移動：メニューキーと下キー同時押し

テキストフィールドの先頭に移動：デリートキーと上キー同時押し

テキストフィールドの末尾に移動：デリートキーと下キー同時押し

テキスト選択：＊キーを押しながら上記コマンドを同時押し

すべて選択：デリートキーと１キー同時押し

コピー：デリートキーと２キー同時押し

切り取り：デリートキーと３キー同時押し

貼り付け：デリートキーと４キー同時押し

取り消し（undo）：デリートキーと５キー同時押し

再実行(redo)：デリートキーと６キー同時押し

入力：OK

Option（ALT）+Enter：OKとメニューキー同時押し

スペース：キャンセルキー

削除：デリートキー

言語切り替え：＊キーと＃キー同時押し

## Android向けスマートコネクトコマンド

### ナビゲーションモード

Androidのアプリケーションや画面を操作するには、次のコマンドを使用します。

次の項目へ移動：右キー

前の項目へ移動：左キー

上の項目へ移動：メニューキーと上キー同時押し

下の項目へ移動：メニューキーと下キー同時押し

次のウィンドウへ移動：メニューキーと右キー同時押し

前のウィンドウへ移動：メニューキーと左キー同時押し

クリックを実行：OK

長押しクリックを実行：OKを長押し

読み上げコントロール選択順送り：＃キー

読み上げコントロール選択逆送り：＊キー

設定した読み上げコントロールごとに戻る：上キー

設定した読み上げコントロールごとに進む：下キー

最初の項目へ移動：１キー

最後の項目へ移動：７キー

上から順に連続読み：２キー

次の項目から連続読み：０キー

検索：８キー

戻る：キャンセルキー

ホーム：メニューキー長押し

最近使ったアプリ表示：デリートキーとメニューキー同時押し

操作画面表示：メニューキーと１キー同時押し

通知画面表示：メニューキーと２キー同時押し

インストールされている言語を表示：メニューキーと３キー同時押し

TalkBackメニューを表示：メニューキーと４キー同時押し

前のトラックへ移動：メニューキーと＊キー同時押し

次のトラックへ移動：メニューキーと＃キー同時押し

メディアを再生／一時停止：メニューキーと０キー同時押し

デフォルトのブラウザを開く：デリートキーと１キー同時押し

デフォルトの連絡先を開く：デリートキーと２キー同時押し

デフォルトのメールアプリを開く：デリートキーと３キー同時押し

Gmailアプリを開く：デリートキーと４キー同時押し

デフォルトのカレンダーを開く：デリートキーと５キー同時押し

デフォルトの音楽プレーヤーを開く：デリートキーと６キー同時押し

デフォルトのメッセージアプリを開く：デリートキーと７キー同時押し

デフォルトのインスタントメッセンジャーアプリを開く：デリートキーと８キー同時押し

YouTubeを開く：デリートキーと９キー同時押し

トークバックを一時停止/再開：デリートキーとキャンセルキー同時押し

Googleアシスタントを呼び出す：デリートキー長押し

### ウェブ閲覧モード

テンキーを使ってウェブページのさまざまな要素にアクセスするには、以下のキー操作で移動できます。

また「読み上げコントロール」を＊キーと＃キーで調整し、選択したコントロールによって上下キーを使用して移動することも可能です。

次の見出しへ移動：１キー

次のリンクへ移動：２キー

次のグラフィックへ移動：３キー

次のテーブルへ移動：４キー

次のテキストフィールドへ移動：５キー

次のエリアのランドマークへ移動：６キー

次のリストへ移動：７キー

次のボタンへ移動：８キー

次のコンボボックスへ移動：９キー

次のコントロールへ移動：０キー

番号付き見出しに移動：メニューキーと見出し番号のキー同時押し

上記移動コマンドの逆送り：デリートキーと上記コマンドを同時押し

次の項目へ移動：右キー

前の項目へ移動：左キー

クリックを実行：OK

長押しクリックを実行：OKを長押し

読み上げコントロール選択順送り：＃キー

読み上げコントロール選択逆送り：＊キー

設定した読み上げコントロールごとに戻る：上キー

設定した読み上げコントロールごとに進む：下キー

### 文字入力モード

数字キーパッドで、従来のT9入力を使って文字を入力します。カーソル移動や編集には、以下のコマンドを使用します。

次の文字へ移動：右キー

前の文字へ移動：左キー

前の行へ移動：上キー

次の行へ移動：下キー

前の段落に移動：メニューキーと上キー同時押し

次の段落に移動：メニューキーと下キー同時押し

行頭へ移動：デリートキーと左キー同時押し

行末に移動：デリートキーと右キー同時押し

テキストフィールドの先頭に移動：デリートキーと上キー同時押し

テキストフィールドの末尾に移動：デリートキーと下キー同時押し

テキスト選択：＊キーを押しながら上記コマンドを同時押し

すべて選択：デリートキーと１キー同時押し

コピー：デリートキーと２キー同時押し

切り取り：デリートキーと３キー同時押し

貼り付け：デリートキーと４キー同時押し

元に戻す（undo）：デリートキーと５キー同時押し

やり直し（redo）：デリートキーと６キー同時押し

入力：OK

スペース：キャンセルキー

削除：デリートキー

言語の切り替え：＊キーと＃キー同時押し

## ブレイルセンス用スマートコネクトコマンド

ブレイルセンスはスマートコネクトを使わなくとも、触覚で操作可能な機器ですがスマートコネクトを使うことで、リモコンのように使用できます。

例えば、ブレイルセンスをHDMIに接続して家族でNetflixを見る場合や、Envision AIなどのアプリをブレイルセンスに入れ、カメラの位置をずらさずにもっと簡単にOCRを操作できるようにしたい場合です。

またはEthernet接続、USBウェブカメラ、AC電源でZoom会議に接続している場合など有線で外部デバイスに接続している状態で本体を動かさずに操作したい場合も考えられます。

ブレイルセンスは点字キーボードを搭載しているため、より高度な操作や文字入力は本体で行うことが一般的です。そのため、スマートコネクトのキーマップには、本機で利用できるすべてのショートカットを登録しているわけではありません。一般的な機能を使用できるようにしています。

ブレイルセンス接続時にウェブ閲覧モードはありません。

ブレイルセンスの各アプリケーションについては、メニューでその機能に移動し、OKを押すことでアクセスすることができます。

また、特に長いリストや追加アプリの場合、テキスト入力モードを使用して頭文字ナビゲーションを利用することも可能です。

スマートコネクトの機能はOSが異なっても同一の操作ができるように設定していますが、上下左右キーの操作は、AndroidやiOSのスマートコネクト操作ではなく、センスプレーヤーの基本操作に合わせた方が、ブレイルセンスの操作としてわかりやすいと考えています。

注意：ブレイルセンスのBluetooth接続からセンスプレーヤーに接続すると、センスプレーヤーはヘッドセットとプリンターの2つのBluetoothサービスを選択可能ですが、ヘッドセット接続を選択してください。キーボードも認識されます。

### ナビゲーションモード

前のメニューやリスト項目へ移動：上キー

次のメニューやリスト項目へ移動：下キー

前のメニューやディレクトリへ移動：左キー

次のメニューやディレクトリへ移動：右キーまたはOK

現在の項目をアクティブにする：OKまたは右キー

先頭へ移動：１キー

末尾へ移動：７キー

ページアップまたは32件か20件ずつ前へ移動：３キー

ページダウンまたは32件か20件ずつ次へ移動：９キー

32マスの点字ディスプレイの場合32件ずつ、20マスの点字ディスプレイの場合20件ずつ移動

前のタブへ移動（Space-F3）：６キー

次のタブへ移動（F3）：４キー

先頭から連続読み：２キー

カーソルから連続読み：０キー

読み上げを中断する：５キー

検索：８キー

プログラムのメニューを開く（F2）：＊キー

削除：デリートキー

戻る/キャンセル（F4）：キャンセルキー

プログラムを閉じる（Space-z）：キャンセルキー長押し

ホームメニューに移動（F1）：メニュー長押し

タスク管理を開く：メニューキーとデリートキー同時押し

次のアプリに移動：メニューキーと下キー同時押し

前のアプリに移動：メニューキーと上キー同時押し

オプション設定を開く：メニューキーと１キー同時押し

通知を開く：メニューキーと２キー同時押し

バッテリー状態確認：メニューキーと３キー同時押し

ネットワークの状態確認：メニューキーと４キー同時押し

スリープタイマー：メニューキーと５キー同時押し

マイクのミュート切り替え：メニューキーと６キー同時押し

音声のオン／オフ：メニューキーと７キー同時押し

点字のオン／オフ：メニューキーと８キー同時押し

スピーカーのミュート切り替え：メニューキーと９キー同時押し

前のトラックへ移動：メニューキーと＊キー同時押し

次のトラックへ移動：メニューキーと＃キー同時押し

メディアを再生／一時停止：メニューキーと０キー同時押し

すべて選択：デリートキーと１キー同時押し

コピー：デリートキーと２キー同時押し

カット：デリートキーと３キー同時押し

貼り付け：デリートキーと１キー同時押し

範囲指定開始（Enter-B）：デリートキーと５キー同時押し

カレント(スペース)を選択：デリートキーと６キー同時押し

開く（Enter-o）：デリートキーと７キー同時押し

新規作成(Enter-n) ：デリートキーと８キー同時押し

保存／送信（Enter-s）：デリートキーと９キー同時押し

情報/ファンクション（Enter-i）：デリートキーと０キー同時押し

Googleアシスタントを呼び出す：デリートキー長押し

### 文字入力モード

テキストを入力する場合は、標準のT9入力を使用します。テキストのナビゲーションと編集には、以下の追加キーストロークを使用します。

次の文字へ移動：右キー

前の文字へ移動：左キー

前の行へ移動：上キー

次の行へ移動：下キー

前の段落に移動：メニューキーと上キー同時押し

次の段落に移動：メニューキーと下キー同時押し

行頭へ移動：デリートキーと左キー同時押し

行末に移動：デリートキーと右キー同時押し

テキストフィールドの先頭に移動：デリートキーと上キー同時押し

テキストフィールドの末尾に移動：デリートキーと下キー同時押し

テキスト選択：＊キーを押しながら上記コマンドを同時押し

すべて選択：デリートキーと１キー同時押し

コピー：デリートキーと２キー同時押し

切り取り：デリートキーと３キー同時押し

貼り付け：デリートキーと４キー同時押し

入力：OK

スペース：キャンセルキー

削除：デリートキー

スマートコネクト機能によりセンスプレーヤーをスマートフォンやタブレット端末のBluetoothキーボードとして使用することができます。

スマートコネクトが有効な場合、スマートフォンやタブレットの音声をセンスプレーヤーから出力する設定が可能です。

現在、スマートコネクトはiOSとAndroidに対応しています。また、センスプレーヤーをリモコンとしてブレイルセンスを操作するための特定のキーマップを使用することができます。オプション設定で「スマートコネクト時のオーディオ」と「スマートコネクトキーマップ」を設定できます。デフォルトでは、「スマートコネクト時のオーディオ」はオン、「スマートコネクトキーマップ」はiOSに設定されています。

注意：スマートコネクトキーマップを接続先のOSに合わせて設定することは非常に重要です。設定が合っていないと以降のセクションにあるコマンドのほとんどが正しく動作しなかったり、意図しない機能を実行したりする可能性があります。

また、接続を完了する前にオプション設定で必要な設定を行う事をおすすめします。スマートコネクトの接続後にオプション設定を行うには一旦スマートコネクトを終了し再接続する必要があります。

# コマンド 一覧

## 共通コマンド

上キー：リストやメニューの項目を一つ上に移動。

下キー：リストやメニューの項目を一つ下に移動。

左キー：サブメニューまたはサブフォルダを終了。コンボボックスの値やエディットボックスの文字を1つ前に移動。

右キー：現在のサブフォルダ、サブメニュー、またはプログラムを開く。コンボボックスの値やエディットボックスの文字を１つ次に移動。

OK：現在のサブメニューまたはプログラムを開くか、現在の機能を実行。長押しでヘルプモードのオン/オフ切り替え。

キャンセルキー：現在のサブメニューまたはプログラムを終了。長押しで取扱説明書を開く。

メニューキー：実行中のプログラム固有のメニューを開く。長押しでオプション設定を開く。

ホームキー：ホームメニュー先頭の「ファイル管理」に移動。

デリートキー：エディットボックス内の現在の文字、またはリスト内の現在のファイル/フォルダ/アイテムを削除。長押しでエディットボックスの全データをクリア、電卓をクリア、終了マークのない文書/書籍/メディアの再生を終了。

＊キー：長押しでスリープタイマーを表示。

＃キー：テキスト入力時に入力キーボードの切り替え。長押しでテンキーのロックとロック解除。

音声コントロールボタン：音量/音声/再生調整オプションを切り替え。長押して、現在のコンテキストまたはプログラムの設定を初期化。

＋ボタン：音声コントロールボタンで設定した項目の値を増やす。長押しで日付と時刻を読み上げる。

－ボタン：音声コントロールボタンで設定した項目の値を減らす。長押しで電池の充電状態を読みあげる。

録音ボタン：最後に録音したデータの再生を開始。長押しで新規録音を開始。

モードキー：浅く押すと現在起動中のプログラムを通知、深く押すと登録済みのプログラムを切り替え、長押しでモードキーで切り替え可能なプログラムの登録。

Wi-Fiキー：浅く押すとWi-fiの状態を通知、深く押すとWi-fiのオンとオフを切り替え、長押しでWi-fiの設定を開く。

Bluetoothキー：浅く押すとBluetoothの状態を通知、深く押すとBluetoothのオンとオフを切り替え、長押しでBluetoothの設定を開く。

スマートコネクトキー：浅く押すと直近の接続と再接続、深く押すとスマートコネクトのペアリングモードを起動、長押しでスマートコネクトのペアリングリストを表示。

## ホームメニューコマンド

上キー：項目を前に移動。

下キー：項目を次に移動。

左キー：サブメニューを終了。

右キー：現在のサブメニューまたはプログラムを開く。

OK：現在のサブメニューまたはプログラムを開く。

キャンセルキー：現在のサブメニューまたはプログラムを終了。

メニューキー：現在のソフトウェアバージョンと更新日を通知。

１キー：ファイル管理を起動。

２キー：DAISYプレーヤーを起動。

３キー：DAISYオンラインを起動。

４キー：OCRを起動。（ライトではメディアプレーヤーを起動）

５キー：メディアプレーヤーを起動。（ライトでは文書リーダーを起動）

６キー：文書リーダーを起動。（ライトではラジオを起動）

７キー：ラジオを起動。（ライトはウェブラジオを起動）

８キー：ウェブラジオを起動。（ライトではポッドキャストを起動）

９キー：ポッドキャストを起動。（ライトではユーティリティメニューを起動）

０キー：ユーティリティメニューを起動。（ライトでは不使用）

## ファイル管理コマンド

上キー：前のファイル、フォルダ、またはメニュー項目に移動。

下キー：次のファイル、フォルダ、またはメニュー項目に移動。

左キー：フォルダから出る。

右キー：現在のフォルダを開く。

OK：現在のファイルまたはフォルダを再生するか、現在のメニュー項目を実行。

キャンセルキー：現在の機能をキャンセルするか、現在のファイル/フォルダの選択をキャンセルします。アクティブな機能または選択された項目がない場合、キャンセルするとファイル管理を終了します。

メニューキー：ファイル管理のメニューを表示。

デリートキー：現在の項目、または選択されたファイルやフォルダを削除。

１キー：ファイルまたはフォルダリストの先頭に移動。

２キー：カレントディレクトリのファイルとフォルダのリストの間をジャンプ。

３キー：現在の位置から1ページ分上に項目を移動。

４キー：現在のファイル名またはフォルダ名の前の文字を読みあげる。

５キー：ファイル名やフォルダ名に含まれる現在の文字を詳細読み。

６キー：現在のファイル名またはフォルダ名の次の文字を読みあげる。

７キー：リストの末尾に移動。

８キー：ファイル検索ダイアログを開く。長押しで「数字で移動」ダイアログを開く。

９キー：現在の位置から1ページ下の項目に移動。

０キー：選択と非選択を切り替え。

長押しする度に以下の選択モードが切り替え。

すべて選択、現在位置から末尾まで選択、現在位置から先頭で選択、選択開始。

＊キー：情報ダイアログを開く。

＃キー：ドライブリストへジャンプ。長押しでテンキーのロック/アンロック。

## DAISY プレーヤーコマンド

上キー：移動単位を逆送りで選択。ページ、フレーズ、段落、レベル、見出し、マーク、文書先頭または末尾などから選択。

下キー：移動単位を順送りで選択。ページ、フレーズ、段落、レベル、見出し、マーク、文書先頭または末尾などから選択。

左キー：上下キーで選択した移動単位ずつ文書内を戻る。音声再生中に長押しで時間単位の巻き戻し。

右キー：上下キーで選択した移動単位ずつ文書内を進む。音声再生中に長押しで時間単位の早送り。

OK：再生/一時停止の切り替え。

キャンセルキー：DAISYプレーヤーを終了。

メニューキー：DAISYプレーヤーのメニューを表示。

デリートキー：長押しでマークをつけずに終了。

１キー：最初のフレーズに移動。長押しで手動読み上げモードと自動読み上げモードを切り替え。

２キー：「時間移動」ダイアログを開く。 長押しで音量ブーストオン/オフの切り替え。

３キー：前ページに移動（※ページ設定がある場合）。長押しで音声とテキストの再生切り替え（※マルチメディアDAISYで音声とテキスト情報が両方ある場合）。

４キー：「見出し移動」ダイアログを開く。

５キー：「パーセント移動」ダイアログを開く。

６キー：「指定ページ移動」ダイアログを開く。

７キー：最後のフレーズへ移動。

８キー：検索ダイアログを開く。

９キー：次のページに移動（※ページ設定がある場合）。

０キー：書籍情報ダイアログを開く。長押しでエクスプローラーを開く。

＊キー：DAISY設定ダイアログを開く。

＃キー：マーク管理ダイアログを開く。長押しでテンキーのロック/アンロック切り替え。

## DAISYオンラインコマンド

上キー：前のコントロールに移動。

下キー：次のコントロールに移動。

左キー：コンボボックスでは1項目分、エディットボックスでは1文字分戻る。

右キー：コンボボックスでは1項目分、エディットボックスでは1文字分進む。

OK：入力した内容の確認。ダウンロード実行。

キャンセルキー：DAISYオンラインを終了。

メニューキー：プログラムメニューを開く。

デリートキー：エディットボックスの現在の文字を削除。長押しで入力した文字を全て消去。

１キー：ブックリストの先頭に移動。

２キー：ブックリストからネット閲覧室へ登録。

３キー：ブックリストの項目を1ページ分戻る。

４キー：現在のタイトルを１文字ずつ戻りながら読みあげる。

５キー：タイトルの文字を読みあげる。2回押すと詳細読み。

６キー：現在のタイトルを１文字ずつ進みながら読みあげる。

７キー：ブックリストの末尾に移動。

８キー：次ページの検索結果を表示。

９キー：ブックリストの項目を1ページ分進める。

０キー：現在の書籍の詳細情報を表示。

## メディアプレーヤーコマンド

上キー：移動単位を逆送りで選択。トラックや時間の移動は、いくつかのオプションから選択。

下キー：移動単位を順送りで選択。トラックや時間の移動がいくつかのオプションから選択。

左キー：選択した移動単位ずつ戻る。長押しで時間単位の巻き戻し。

右キー：選択した移動単位ずつ進む。長押しで時間単位の早送り。

OK：再生/一時停止の切り替え。

キャンセルキー：メディアプレーヤーを終了。

メニューキー：メディアプレーヤーのメニューを表示。

デリートキー：長押しでマークを削除して終了。

１キー：現在のプレイリストの最初の項目に移動し、再生。

２キー：「時間移動」ダイアログを開く。

３キー：プレイリストの現在位置から5トラック前に移動。

４キー：シャッフル再生のオン/オフ切り替え。

５キー：パーセント移動ダイアログを開く。

６キー：リピートモードの切り替え。ファイルをリピート、プレイリストをリピート、リピートオフ。

７キー：プレイリストの最後の項目へ移動し、再生。

８キー：「トラック移動」ダイアログを開く。

９キー：プレイリストの現在位置から5つ先に移動。

０キー：メディアの情報ダイアログを開く。長押しでエクスプローラーを開く。

＊キー：メディア設定を開く。

＃キー：マーク管理ダイアログを開く。長押しでテンキーのロック/アンロック切り替え。

## 文書リーダーコマンド

上キー：移動単位を逆送りで選択。ページ、段落、文、行、文字、詳細読み、マーク、文書先頭または末尾などから選択。

下キー：移動単位を順送りで選択。ページ、段落、文、行、文字、詳細読み、マーク、文書先頭または末尾などから選択。

左キー：上下キーで選択した移動単位ずつ文書内を戻る。

右キー：上下キーで選択した移動単位ずつ文書内を進む。

OK：再生/一時停止の切り替え。

キャンセルキー：文書リーダーを終了。

メニューキー：文書リーダーのメニューを表示。

デリートキー：長押しでマークをつけずに文書リーダーを終了。

１キー：最初のフレーズに移動。長押しで手動読み上げモードと自動読み上げモードを切り替え。

３キー：前のページに移動。

５キー：「パーセント移動」ダイアログを開く。

６キー：「指定ページ移動」ダイアログを開く。

７キー：最後のフレーズへ移動。

８キー：検索ワードダイアログを開く。

９キー：次のページに移動

０キー：文書情報ダイアログを開く。長押しでエクスプローラーを開く。

＊キー：音声設定ダイアログを開く。

＃キー：マーク管理ダイアログを開く。長押しでテンキーのロック/アンロック切り替え。

## ラジオコマンド

上キー：プリセットを逆送りで移動。

下キー：プリセットを順送りで移動。

左キー：0.05MHz単位で前の周波数に移動。長押しで前の周波数へ向かってオートスキャン実行。

右キー：0.05MHz単位で次の周波数に移動。長押しで次の周波数へ向かってオートスキャン実行。

OK：ラジオのミュート/ミュート解除の切り替え。

キャンセルキー：ラジオを終了。

メニューキー：ラジオメニューを開く。

デリートキー：現在のプリセットを削除。

１キー：プリセット1へ移動。長押しで現在の周波数をプリセット1として保存。

２キー：プリセット2に移動。長押しで現在の周波数をプリセット2として保存。

３キー：プリセット3に移動。長押しで現在の周波数をプリセット3として保存。

４キー：プリセット4に移動。長押しで現在の周波数をプリセット4として保存。

５キー：プリセット5に移動。長押しで現在の周波数をプリセット5として保存。

６キー：プリセット6に移動。長押しで現在の周波数をプリセット6として保存。

７キー：チャンネル管理を開く。

８キー：「周波数移動」エディットボックスを開く。

９キー：外部スピーカー出力のオン/オフを切り替え。

０キー：自動チャンネルサーチを実行。

＃キー：ラジオの録音中にマークを挿入。長押しでテンキーのロック/解除。

## ウェブラジオコマンド

上キー：リスト内の前のチャンネルに移動。

下キー：リスト内の次のチャンネルに移動。

左キー：現在のチャンネル名を１文字ずつ前に向かって読みあげる。

右キー：現在のチャンネル名を１文字ずつ次に向かって読みあげる。

OK：チャンネルリストで選んだチャンネルを再生。検索結果から、選択したチャンネルをチャンネルリストに追加。

キャンセルキー：ウェブラジオを終了。

メニューキー：ウェブラジオのメニューを開く。

デリートキー：チャンネルリストから選択したチャンネルを削除。

１キー：リスト先頭のチャンネルに移動。

３キー：現在の位置からチャンネルを1ページ分前へ移動。

４キー：現在のチャンネル名を１文字ずつ戻りながら読みあげる。

５キー：チャンネル名の現在の文字を読みあげる。2回押すと、その文字を詳細読み。

６キー：現在のチャンネル名を１文字ずつ進みながら読みあげる。

７キー：リスト末尾のチャンネルに移動。

８キー：チャンネル検索ダイアログを開く。

９キー：現在の位置からチャンネルを1ページ分次へ移動。

０キー：検索結果一覧のチャンネルの選択/未選択を切り替え。

＃キー：長押しでテンキーのロック/ロック解除切り替え。

## ポッドキャストコマンド

上キー：ポッドキャストまたはエピソードのリストにて項目を逆送りに移動。

下キー：ポッドキャストまたはエピソードのリストにて項目を順送りに移動。

左キー：エピソードリストからポッドキャストリストに戻る。

右キー：ポッドキャストのエピソードリストへ移動。

OK：現在のフィードを更新、または現在のエピソードをダウンロード/再生。

キャンセルキー：再生からエピソード一覧に戻る、またはポッドキャストを終了。

メニューキー：ポッドキャストメニューを開く。

デリートキー：現在のフィードを削除。

１キー：ポッドキャストまたはエピソードリストの先頭に移動。

３キー：現在の位置から1ページ前の項目へ移動。

４キー：現在のポッドキャスト名またはエピソード名を１文字ずつ戻りながら読みあげる。

５キー：ポッドキャスト名やエピソード名の現在の文字を読みあげる。2回押すと詳細読み。

６キー：現在のポッドキャスト名またはエピソード名を１文字ずつ進みながら読みあげる。

７キー：リストの末尾に移動。

８キー：「ポッドキャストの検索」ダイアログを開く。

９キー：現在の位置から1ページ次の項目へ移動。

０キー：選択/非選択を切り替え。長押しで以下の選択モード切り替え。すべて選択、下まで選択、上まで選択、連続選択開始。

＊キー：現在のエピソードの説明文を開く。

＃キー：長押しでテンキーのロック/ロック解除。

## メモコマンド

上キー：前のメモまたはメニュー項目に移動。

下キー：次のメモまたはメニュー項目に移動。

左キー：メモやタイトルを１文字ずつ戻りながら読み上げ。

右キー：メモやタイトルを１文字ずつ進みながら読み上げ。

OK：選択したメモを修正するか、現在のメニュー項目を選択。

キャンセルキー：現在の機能をキャンセルするか、現在の選択項目をクリア。選択した項目や機能がない場合は、メモを終了。

メニューキー：メモのメニューを表示。

デリートキー：現在のメモ、またはテキストを編集しているときに現在の文字を削除。

１キー：リスト先頭のメモに移動。

３キー：現在の位置から1ページ前の項目へ移動。

４キー：メモを１文字ずつ戻りながら読み上げ。

５キー：現在の文字を読みあげる。素早く2回押すと、文字と詳細読み両方を読みあげる。

６キー：メモを１文字ずつ進みながら読み上げ。

７キー：リスト末尾のメモに移動。

８キー：検索ダイアログを開く。

９キー：現在の位置から1ページ次への項目へ移動。

０キー：選択と非選択の切り替え。2秒間の長押しで、選択モードが切り替わります。全選択、カーソルから下を選択、カーソルから上を選択、連続選択開始。

## 電卓コマンド

上キー長押し：乗算演算子（×）を入力。計算履歴表示中は、前の項目へ移動。

下キー長押し：除算演算子（÷）を入力。計算履歴表示中は、次の項目へ移動。

左キー：計算行の前の文字に移動。長押しで減算演算子（－）を入力。

右キー：計算行の次の文字に移動。長押しで加算演算子（＋）を入力。

OK：計算を実行。

キャンセルキー：電卓を終了。

メニューキー：電卓のメニューを表示。

デリートキー：現在の文字を削除。長押しで電卓に入力した値を全て削除。

１キー：数字の1を入力。長押しでカッコ開き（（）を入力。

２キー：数字の2を入力。長押しで乗算演算子（×）を入力。

３キー：数字の3を入力。長押しで閉じ括弧（））を入力。

４キー：数字の4を入力。長押しで減算演算子（ー）を入力。

５キー：数字の5を入力。

６キー：数字の6を入力。長押しで加算演算子（＋）を入力。

７キー：数字の7を入力。長押しで％演算子を入力。

８キー：数字の8を入力。長押しで除算演算子（÷）を入力。

９キー：数字の9を入力。長押しで小数点を入力。

０キー：数字の0を入力。長押しで指数演算子（累乗）を入力します。

## モバイルスクリーンリーダーのコマンド

上キー：現在位置より上の項目に移動。

下キー：現在位置より下の項目に移動。

左キー：前のオブジェクトまたはコントロールに移動。

右キー：次のオブジェクトまたはコントロールに移動。

OK：現在の機能を実行する。長押しでキーヘルプモードを終了。

キャンセルキー：「戻る」ボタン。長押しでユーザーマニュアルを開く。

ホームキー：メインメニューに戻る。

メニューキー：長押しでオプション設定を開く。

デリートキー：編集ボックス内の文字を削除、長押しで全テキストを消去。

１キー：現在の画面の一番上に移動。

３キー：リストエリアで1ページ上にスクロール。

７キー：現在の画面の一番下に移動。

８キー：リストエリアでの情報更新

９キー：リストエリアで1ページ下にスクロール。

０キー：短押しでホールドの開始／停止。長押しで長押し機能を実行。OKと同時に押すとメディアを再生/一時停止。

＊キー：短押しでラベル作成。長押しでスリープタイマーを開く。OKと同時に押すと前のメディアに移動。

＃キー：長押しでナンバーパッドのロック/ロック解除。OKと同時押しで次のメディアに移動。

音声コントロール：音声ボリューム/音声速度/音声トーンを切り替える。

＋・―ボタン：スライダー調整。

# お問い合わせ

センスプレーヤーまたはセンスプレーヤーライトに関するお問い合わせは以下の有限会社エクストラセンスサポート窓口へご連絡ください。

有限会社エクストラ

センスサポート

電話番号：

054-368-6897

※電話の受付時間は平日10時-12時、13時-16時です。

Eメール：

sense-support@extra.co.jp

〒424-0886

静岡県静岡市清水区草薙一丁目19-11

URL：https://www.extra.co.jp/